



長崎市公共施設マネジメント 高島・伊王島・ 香焼・深堀地区計画



長崎市 令和3年8月
(令和6年6月改訂)

【目次】

1 高島・伊王島・香焼・深堀地区の特性	1
2 高島・伊王島・香焼・深堀地区の将来推計人口	1
3 高島・伊王島・香焼・深堀地区の公共施設配置図	3
4-1 高島エリアの公共施設の情報	5
4-2 伊王島・香焼・深堀エリアの公共施設の情報	9
5 将来の方向性	13
(1) 市民利用型施設	14
①レクリエーション施設（飛島磯釣り公園、高島海水浴場及び高島ふれあいキャンプ場、伊王島海水浴場交流施設、伊王島ふれあい広場、伊王島ゲートボール場）	14
②養護老人ホーム（高砂園）	20
③博物館等（高島石炭資料館、深堀貝塚遺跡資料館）	22
④市営宿泊施設（しまの宿五平太）	26
⑤スポーツ施設（深堀体育館）	28
⑥コミュニティ活動施設（高島ふれあいセンター、深堀地区ふれあいセンター、香焼公民館、老人憩の家香焼ひまわり、伊王島開発総合センター、ヴィラ・オリンピカ伊王島）	32
⑦学校（高島小学校、伊王島小学校、香焼小学校、深堀小学校、高島中学校、伊王島中学校、香焼中学校、深堀中学校）	43
⑧保育所・幼稚園（高島幼稚園）	46
⑨放課後児童クラブ（ちびっ子ハウス、香焼学童クラブきらりキッズ）	49
⑩保健施設（高島国民健康保険診療所、伊王島国民健康保険診療所）	53
⑪健康増進・入浴施設（いやしの湯）	56
⑫商業振興施設（市設高島市場）	58
⑬図書館（香焼図書館）	60
⑭ながさき暮らし体験施設（高島地区中長期型滞在施設、伊王島交流滞在型宿泊施設）	62
⑮その他（伊王島地区活性化交流拠点施設）	64
(2) 都市基盤施設	65
①水産業振興施設（水産センター高島事業所、南風泊漁港水産会館）	65
②港湾施設（高島港ターミナル、伊王島港ターミナル）	67
③市営住宅（本町第1住宅、本町第2住宅、百万住宅、高島光町住宅、西浜住宅、日吉岡住宅、先の谷住宅、尾浜住宅、仲山住宅、田ノ浦住宅、深浦住宅、恵里上住宅、本村住宅、多尾住宅、瀬戸屋敷住宅、塩町住宅）	69
(3) 公用施設	74
①学校給食施設（香焼学校給食共同調理場、伊王島学校給食共同調理場）	74
②庁舎等（高島地域センター、伊王島地域センター、香焼地域センター、深堀地域センター、高島地域センター第1別館）	78
③消防施設（南消防署高島出張所）	84
④職員住宅（本町教職員住宅、高島地域センター所長宿舍、高島国民健康保険診療所医師宿舍、伊王島国民健康保険診療所所長宿舍、伊王島国民健康保険診療所看護師宿舍）	86

(4) 公園施設	89
①公園施設（総合公園、地区公園、近隣公園、街区公園）	89
(5) その他の施設	93
①倉庫（香焼ペーロン船格納庫）	93
②遊休資産（旧伊王島生活支援ハウス、旧山中職員住宅、旧多尾教職員住宅1号、旧多尾教職員住宅2号、旧馬込教職員住宅、旧職員住宅（浦下1・2号））	95
(6) 計画策定後に新設した施設	
①子育て関連施設（深堀地区子育て支援センター「ふるさと」）	98
6 地区計画のロードマップ（再掲）	99
参考 市民対話の実施	103

1 高島・伊王島・香焼・深堀地区の特性

高島・伊王島・香焼・深堀地区は、長崎港の南西部に位置し、長崎港の入り口に面しています。東は土井首地区、南は三和地区に隣接しています。平地が少なく、中央部には山林が広がり、海岸線は変化に富んでいます。主要地方道香焼江川線沿道には、住商混在地が形成され、その背後の斜面地に住宅地を形成しています。

高島は、「炭鉱の島」として日本の産業発展に貢献してきましたが、炭鉱閉山により人口が激減し、過疎化が進行しました。高島炭鉱（北溪井坑跡）や端島炭鉱（軍艦島）は、平成 27 年 7 月に「明治日本の産業革命遺産」の構成遺産として世界遺産に登録されており、注目を集めています。

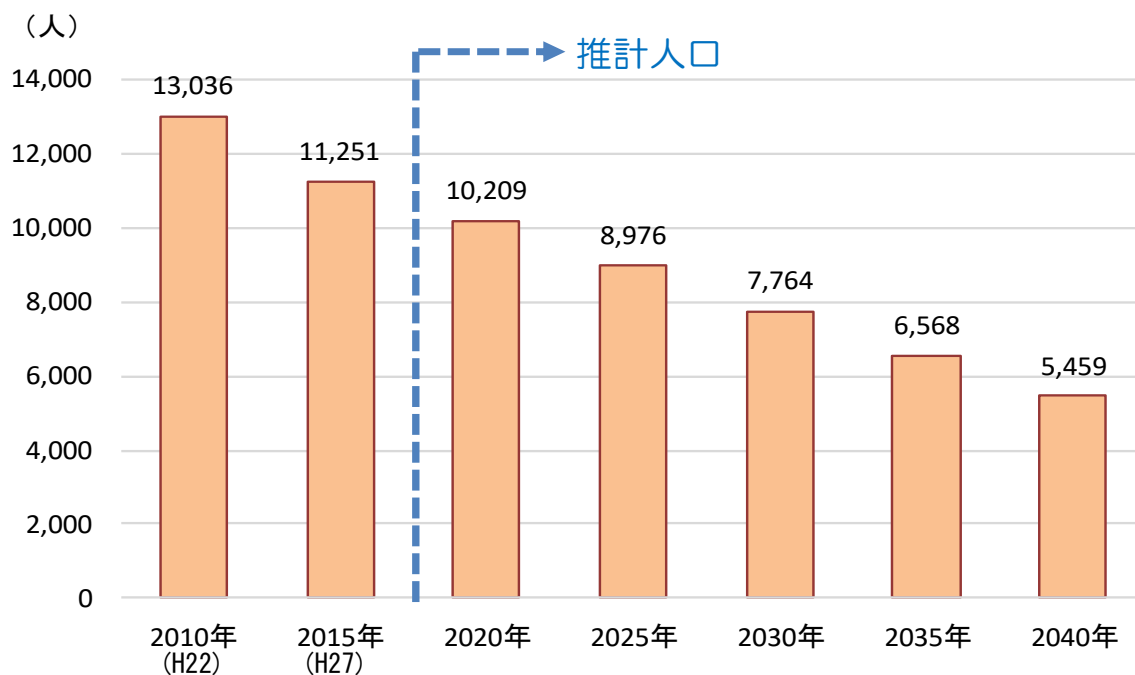
伊王島は、かつては「炭鉱の島」でしたが、現在は、海の玄関口である伊王島港を中心として、教会や灯台などの歴史性と相まった滞在型リゾート地となっています。また、平成 23 年 3 月に伊王島大橋の架橋により、交通アクセスが大きく改善されました。

香焼は、埋立部を中心として大手造船所が立地し、関連企業の進出もあって、長崎都市圏の臨海工業地域となっています。また、都市近郊という地理的条件や豊かな海と緑に恵まれた自然条件から、ベッドタウンとしての役割も担っています。

深堀は、長崎市唯一の城下町の佇まいを残す風情ある港町です。市街地内においては武家屋敷跡などの歴史的街並みが残っています。さらに、角刀灘に面して深堀漁港があることから、水産業関連と工業地としての土地利用が行われています。

2 高島・伊王島・香焼・深堀地区の将来推計人口

平成 27 年(2015 年)に実施された国勢調査では、高島・伊王島・香焼・深堀地区の人口は約 11,000 人でしたが、国の研究機関の将来推計を基にした地区別の推計では、2040 年には約 5,500 人に減少すると予測されています。



※ 2015 年までは国勢調査による実績値

※ 2020 年以降は、2010 年の国勢調査を基礎とした国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口を基に算出

また、今後の高島・伊王島・香焼・深堀地区の年齢層別人口構成は、2040 年にかけて次のようになると予測されています。

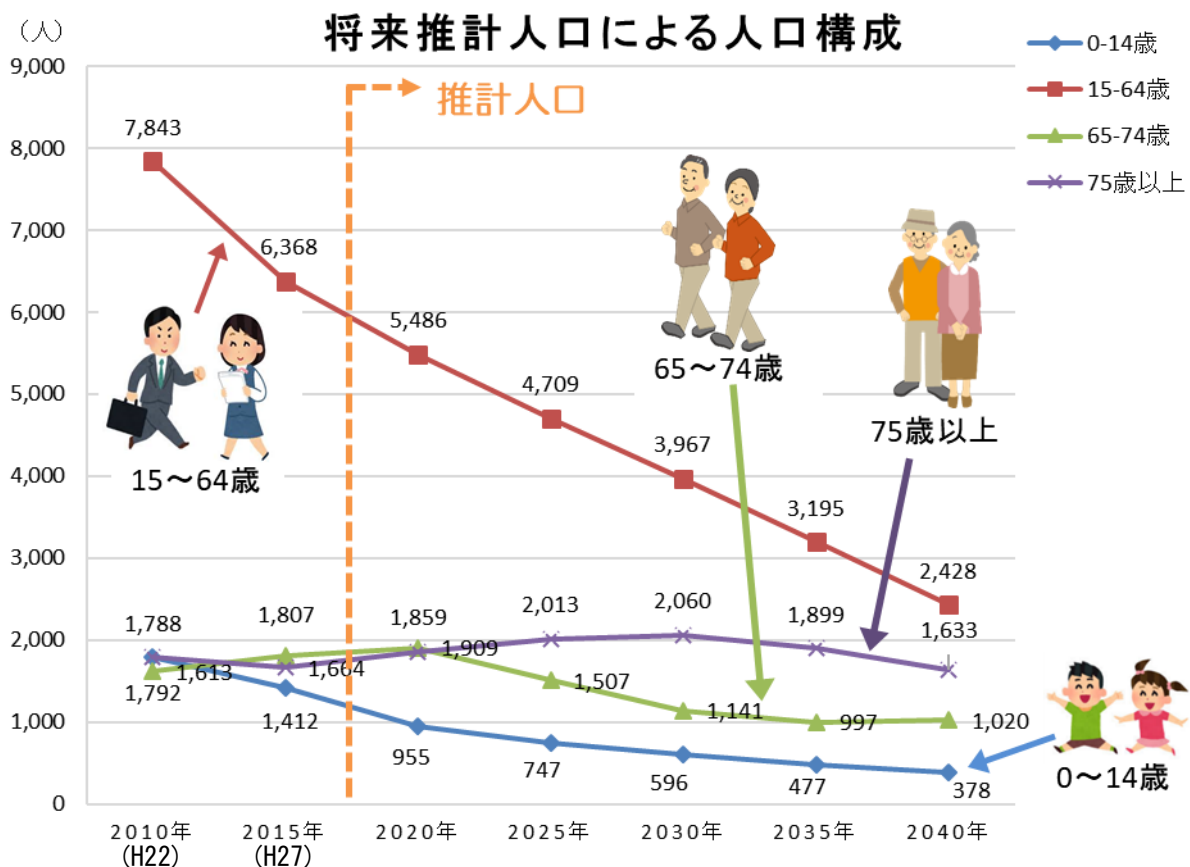
0 歳から 14 歳までの年少人口（青色）は、今後も減少傾向が続くと予測されています。

15 歳から 64 歳までの生産年齢人口（赤色）は、減少傾向が著しいと予測されています。

老年人口のうち 65 歳から 74 歳までの層（緑色）は、2020 年までは増加傾向を示しますが、それ以降は減少に転じると予測されています。

老年人口のうち 75 歳以上の層（紫色）は、2030 年までは増加傾向を示しますが、それ以降は減少に転じると予測されています。

また、2015 年は、地区の総人口のうち 15 歳から 64 歳の生産年齢人口が占める割合が約 6 割、65 歳以上（緑色と紫色の合計）が占める割合が約 3 割でしたが、2040 年には 15 歳から 64 歳の生産年齢人口が占める割合が約 4 割、65 歳以上（緑色と紫色の合計）が占める割合が約 5 割となり、総人口に占める割合が逆転すると予測されています。

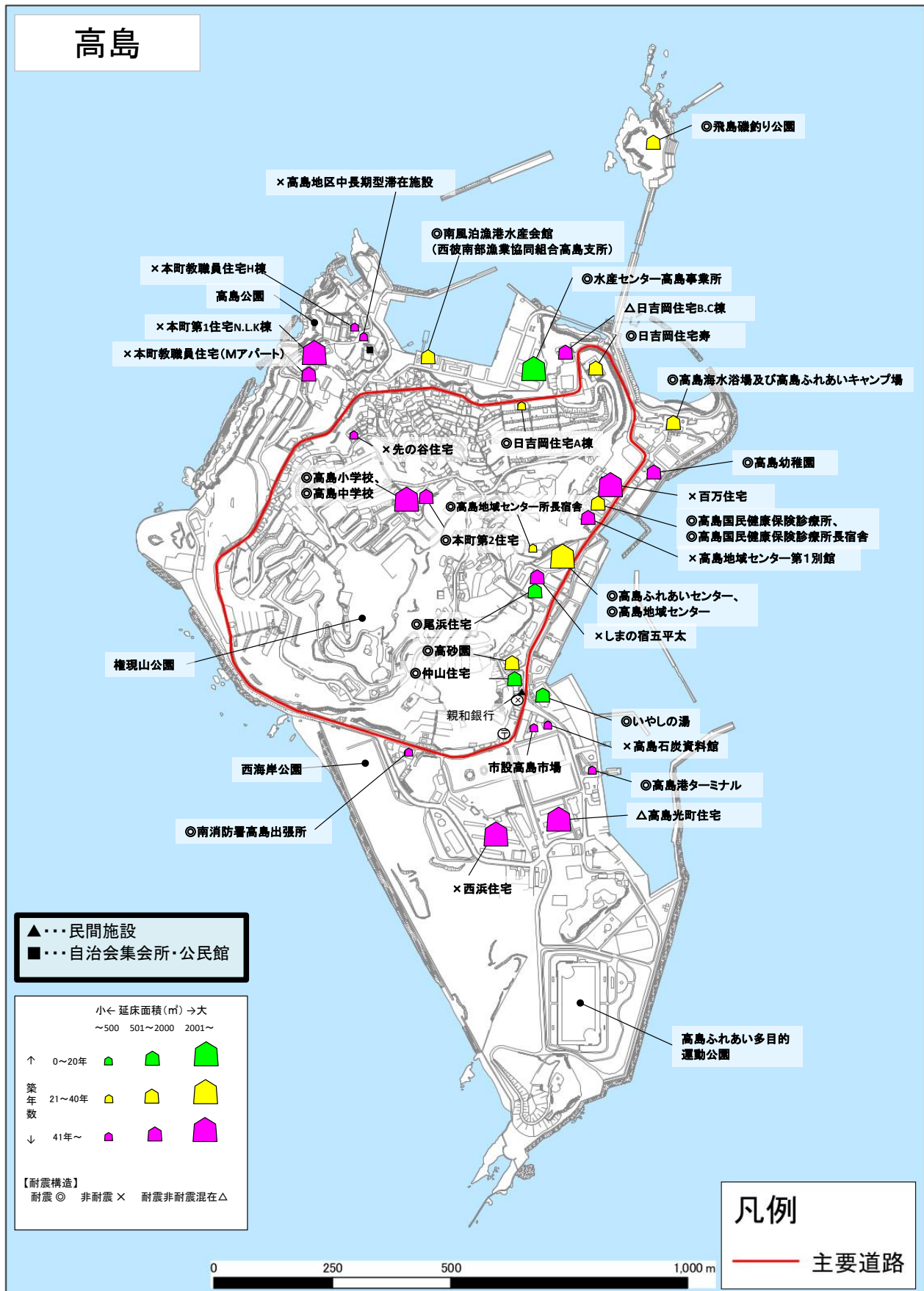


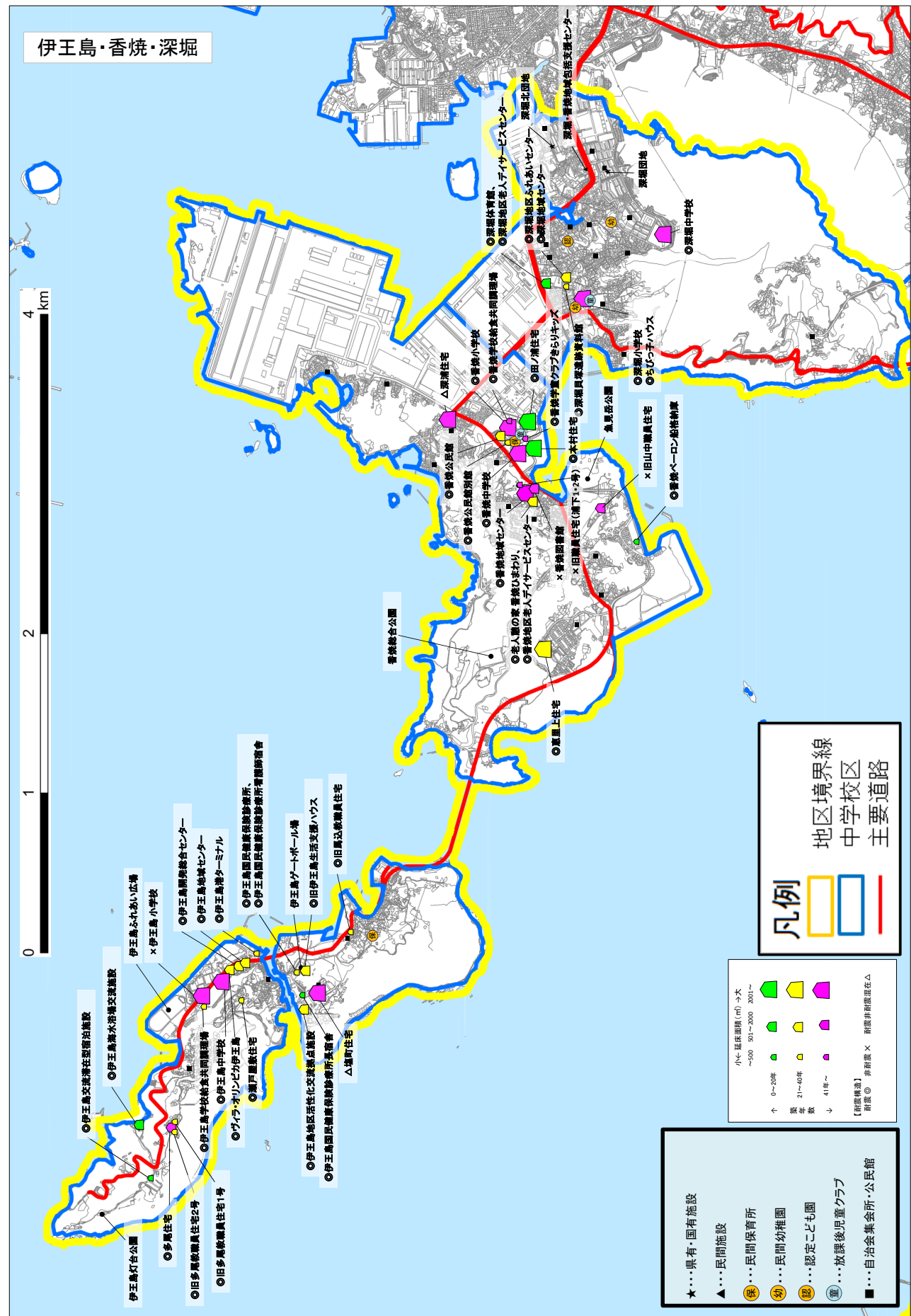
※ 2015 年までは国勢調査による実績値

※ 2020 年以降は、2010 年の国勢調査を基礎とした国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口を基に算出

3 高島・伊王島・香焼・深堀地区の公共施設配置図

平成 31 年 3 月 31 日現在





4-1 高島エリアの公共施設の情報

(1) 市民利用型施設

平成31年3月31日現在

サービス 圏域	種類	施設の名称	施設の機能	床面積	建築 年月 (※1)	経過 年数	避難 所	耐震 性	使って いない 部屋	スロ ープ	多目 的 トイレ	エレベ ーター (※2)	H29年度利用状況			施設にかかる費用 (※3)		
													日数	貸室の 稼働率	利用者数	H27	H28	H29
市域 全体	レクリ エーショ ン	飛鳥磯釣り公園	交流 スポーツ 観光・レジャー	828㎡	1997.4	21	-	○	なし	○	×	-	349	-	7,406	×	×	×
		高島海水浴場及び 高島ふれあいキャンプ場	交流 スポーツ 観光・レジャー	1,115㎡	1997.4	21	-	○	なし	×	○	-	61	-	16,746	○	○	○
	高齢者福祉	高砂園	高齢者	1,505㎡	1989.3	30	-	○	なし	○	×	×	365	-	158(※4)	-	-	-
	博物館等	高島石炭資料館	学習 文化	329㎡	1961.4	57	-	×	なし	×	×	×	365	-	82,739	○	○	○
	宿泊	しまの宿五平太	宿泊	1,134㎡	1973.3	46	○	×	なし	×	×	○	359	-	1,114	×	×	×
地区	コミュニティ	高島ふれあいセンター	交流 学習 本の貸出	1,360㎡	1997.4	21	-	○	なし	○	×	○	200	10.2%	4,760	×	×	×
	学校 複合	高島小学校	教育	1,616㎡	1961.3	58	-	○	なし	×	×	×	243	-	107(※5)	×	×	○
		高島中学校	教育	3,943㎡	1961.3	58	-	○	なし	×	×	×	243	-	47	○	○	○
地区 (特定地区)	幼稚園	高島幼稚園	子ども	633㎡	1975.3	44	-	○	なし	×	×	×	223	-	72(※4)	×	×	×
	保健	高島国民健康保険診療所	医療	922㎡	1980.4	38	-	○	なし	○	×	×	244	-	2,369	×	×	×
	入浴	いやしの湯	入浴	1,096㎡	2002.4	16	-	○	なし	○	×	×	319	98.0%	27,474	×	×	×
	商業	市設高島市場	産業	456㎡	1971.4	47	-	-	なし	×	×	-	-	-	-	○	○	○
	ながさき 暮らし	高島地区中長期型滞在施設	その他	114㎡	1961.4	57	-	×	なし	×	×	×	365	100.0%	4	○	○	○

貸室の稼働率を記載している施設の部屋別の稼働率は次のとおりです。

種類	施設の名称	区分	稼働率	平均 稼働率
コミュニティ	高島ふれあいセンター	ホール	26.4%	10.2%
		講座室	4.0%	
		視聴覚室	0.0%	

(2) 都市基盤施設

サービス 圏域	種類	施設の名称	施設の機能	床面積	建築 年月 (※1)	経過 年数	避難 所	耐震 性	使って いない 部屋	スロ ープ	多目 的 トイレ	エレベ ーター (※2)	H29年度利用状況		施設にかかる費用 (※3)			
													日数	利用者数	H27	H28	H29	
市域 全体	水産	水産センター高島事業所	産業	5,449㎡	2000.4	18	-	○	なし	×	×	-	-	-	○	○	○	
		南風泊漁港水産会館	産業	661㎡	1997	22	-	○	なし	×	×	×	-	-	○	○	○	
	港湾	高島港ターミナル	交通	417㎡	1972.3	47	-	○	なし	○	○	×	365	304,337	○	○	○	
													管理 戸数	入居率	入居戸数 ※H30.4			
	市営住 宅	本町第1住宅	住まい	3,126㎡	1967	52	-	×	なし	×		×	66	募集停 止	17	○	○	○
		本町第2住宅	住まい	557㎡	1969	50	-	○	なし	×		×	12	25.0%	3	○	○	×
		百万住宅	住まい	6,537㎡	1965	54	-	×	なし	×		×	112	募集停 止	2	○	○	○
		高島光町住宅(※6)	住まい	12,382㎡	1965	54	-	△	なし	×		×	198	52.0%	103	×	×	○
		西浜住宅	住まい	8,818㎡	1970	49	-	×	なし	×		×	168	募集停 止	33	○	○	○
		日吉岡住宅(※6)	住まい	2,613㎡	1971	48	-	△	なし	×		×	39	35.9%	14	×	○	○
		先の谷住宅	住まい	87㎡	1978	41	-	×	なし	×		-	3	募集停 止	2	○	×	○
		尾浜住宅	住まい	924㎡	2008	11	-	○	なし	○		×	12	91.7%	11	○	○	×
	仲山住宅	住まい	770㎡	2008	11	-	○	なし	○	×	10	90.0%	9	○	○	○		

(3) 公用施設

サービス 圏域	種類	施設の名称	施設の機能	床面積	建築 年月 (※1)	経過 年数	避難 所	耐震 性	使っ てい ない 部屋	スロ ープ	多目 的 トイレ	エレベ ーター (※2)	H29年度利用状況			施設にかかる費用 (※3)		
													日数	貸室の 稼働率	利用者数	H27	H28	H29
地区	行政	高島地域センター	手続き・相談	2,730㎡	1997.9	21	-	○	○	○	×	○	-	-	-	○	○	○
		高島地域センター第1別館	その他	743㎡	1969.2	50	-	×	なし	○	×	×	-	-	-	○	○	○
	消防	南消防署高島出張所	消防	173㎡	1975.5	43	-	○	なし	×	×	-	-	-	-	×	×	×
		本町教職員住宅(Mアパート)	その他	524㎡	1969	50	-	×	なし	×	×	×	-	-	-	○	○	○
	職員住宅	本町教職員住宅(H棟)	その他	74㎡	1969	50	-	×	なし	×	×	×	-	-	-	×	○	○
		高島国民健康保険診療所長 宿舎	その他	178㎡	1980.4	38	-	○	なし	×	×	×	-	-	-	○	○	○
		高島地域センター所長宿舎	その他	104㎡	1983	36	-	○	なし	×	×	×	-	-	-	○	○	○

(4) 公園施設

サービス 圏域	種類	施設の名称	施設の機能	敷地面積	開設 年月 (※1)	経過 年数	避難 場所	耐震 性	使っ てい ない 部屋	スロ ープ	多目 的 トイレ
地区	公園 (※7)	高島ふれあい多目的運動公園(地区公園)	レクリエーション憩い	66,230㎡	2003.4	15					○
		権現山公園(地区公園)	レクリエーション憩い	70,037㎡	1962.4	56					-
		中ノ島公園(地区公園)	レクリエーション憩い	42,460㎡	1962.4	56					-
		西海岸公園(近隣公園)	レクリエーション憩い	24,320㎡	1976.4	42					-
		高島公園(近隣公園)	レクリエーション憩い	13,306㎡	1961.4	57					-

※1…主たる建物が複数ある場合は、最も古い建物の建築年月を記載しています。

※2…1階のみの建物は、「-」と記載しています。

※3…市全体で同じ用途の建物と比較したときに利用者1人当たりの費用が平均より低い場合は○、高い場合は×（利用者数を把握していない施設については、床面積1㎡当たりの費用で比較）と表記しています。

※4…高砂園、高島幼稚園の利用者数は、毎月の利用者の延べ人数です。

※5…学校の利用者数は、平成30年5月1日現在の児童・生徒数です。

※6…高島光町住宅はD棟、日吉岡住宅はB棟が非耐震基準の建物です。

※7…公園は、比較的規模の小さい街区公園を除き、地区公園、近隣公園のみを記載しています。

- 地区公園…住民のレクリエーション等の拠点となる公園です。
- 近隣公園…近隣に居住する住民の日常における憩いの場や避難場所等防災の拠点となる公園です。
- 街区公園…街区内に居住する住民に利用されている公園です。

公共施設を見直すときのポイント（7つの視点）

(1) 市民利用型施設

サービス 圏域	種類	施設の名称	建築後 30年以上	地震に 弱い	あまり利用 されていない	未使用の 部屋がある	バリアフリー ではない	地区内に 類似施設がある	費用が多く かかっている	合計
市域 全体	レクリエーション	飛島磯釣り公園			✓		✓		✓	3
		高島海水浴場及び高島ふれあいキャンプ場					✓			1
	高齢者福祉	高砂園	✓				✓			2
	博物館等	高島石炭資料館	✓	✓			✓			3
	宿泊	しまの宿五平太	✓	✓	✓		✓		✓	5
地区	コミュニティ	高島ふれあいセンター			✓		✓		✓	3
	学校	複合 高島小学校	学校施設は、児童生徒によりよい教育環境を提供する視点で、教育委員会が検討を進めております。							0
		高島中学校								0
地区 (特定地区)	幼稚園	高島幼稚園	✓		✓		✓		✓	4
	保健	高島国民健康保険診療所	✓		✓		✓		✓	4
	入浴	いやしの湯			✓		✓		✓	3
	商業	市設高島市場	✓				✓			2
	ながさき暮らし	高島地区中長期型滞在施設	✓	✓	✓		✓			4

(2) 都市基盤施設

サービス 圏域	種類	施設の名称	建築後 30年以上	地震に 弱い	あまり利用 されていない	未使用の 部屋がある	バリアフリー ではない	地区内に 類似施設がある	費用が多く かかっている	合計
市域 全体	水産	水産センター高島事業所					✓			1
		南風泊漁港水産会館					✓			1
	港湾	高島港ターミナル	✓				✓			2
	市営住宅	本町第1住宅	✓	✓	✓		✓	✓		5
		本町第2住宅	✓		✓		✓	✓		4
		百万住宅	✓	✓	✓		✓	✓		5
		高島光町住宅	✓		✓		✓	✓	✓	5
		西浜住宅	✓	✓	✓		✓	✓		5
		日吉岡住宅	✓		✓		✓	✓		4
		先の谷住宅	✓	✓	✓		✓	✓		5
		尾浜住宅					✓	✓		2
		仲山住宅					✓	✓		2

(3) 公用施設

サービス 圏域	種類	施設の名称	建築後 30年以上	地震に 弱い	あまり利用 されていない	未使用の 部屋がある	バリアフリー ではない	地区内に 類似施設がある	費用が多く かかっている	合計
地区	行政	高島地域センター				✓	✓			2
		高島地域センター第1別館	✓	✓			✓			3
	消防	南消防署高島出張所	✓				✓		✓	3
	職員住宅	本町教職員住宅(Mアパート)	✓	✓			✓	✓		4
		本町教職員住宅(H棟)	✓	✓			✓	✓		4
		高島国民健康保険診療所長宿舎	✓				✓			2
		高島地域センター所長宿舎	✓				✓			2

(4) 公園施設

サービス 圏域	種類	施設の名称	建築後 30年以上	地震に 弱い	あまり利用 されていない	未使用の 部屋がある	バリアフリー ではない	地区内に 類似施設がある	費用が多く かかっている	合計
地区	公園	高島ふれあい多目的運動公園(地区公園)					✓			1
		権現山公園(地区公園)					✓			1
		中ノ島公園(地区公園)					✓			1
		西海岸公園(近隣公園)					✓			1
		高島公園(近隣公園)					✓			1

【7つの視点のチェックについて】

- 1…建てられてからの年数が30年以上のものに✓
- 2…耐震性がない建物に✓
- 3…市全体で同じ種類の建物と比較したときに平均より貸室の稼働率または入居率が低い場合に✓
貸室の稼働率または入居率がない施設は、1日当たりの利用者数が平均より低い場合に✓
- 4…使われていない部屋などがある場合に✓
- 5…入口にスロープ、2階以上の建物にエレベーター、多目的トイレのいずれか1つでもなければ✓
- 6…地区内に同じような使い方ができる施設がある場合に✓
- 7…施設にかかる費用が3か年のうち2か年以上×の場合に✓

※地区計画に記載している公共施設配置図、公共施設の情報及び利用者数などのグラフは、地区関係者の皆さまへ計画（案）のご意見等をお伺いした時点（令和2年10月）のものです。

4-2 伊王島・香焼・深堀エリアの公共施設の情報

(1) 市民利用型施設

平成 31 年 3 月 31 日現在

サービス 圏域	種類	施設の名称	施設の機能	床面積	建築年月 (※1)	経過 年数	避難 所	耐震 性	使っ てい ない 部屋	スロー プ	多目的 トイレ	エレ ベーター (※2)	H29年度利用状況			施設にかかる 費用(※3)			
													日数	貸室の 稼働率	利用者数	H27	H28	H29	
市域全体	レクリ エーション	伊王島海水浴場交流施設	観光・レジャー	1,230㎡	2000.6	18	-	○	なし	○	○	-	365 (夏季47)	-	20,093	○	○	○	
		伊王島ふれあい広場	観光・レジャー	3,850㎡ (敷地面積)	2011.3 (供用開始)	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		伊王島ゲートボール場	レクリエーション	720㎡ (敷地面積)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	博物館等	深堀貝塚遺跡資料館	学習 文化	167㎡	1987.2	32	-	○	なし	×	×	×	359	-	1,037	○	×	○	
複数地区	スポーツ	深堀体育館	スポーツ	948㎡	2001.8	17	○	○	なし	○	○	○	302	6.0%	16,248	○	○	○	
地区	コミュニ ティ	深堀地区ふれあいセンター	交流 学習 本の貸出	638㎡	1980.3	39	○	○	なし	○	○	○	290	8.3%	10,983	×	○	×	
		香焼公民館	交流 学習	1,519㎡	1983.3	36	○	○	なし	○	○	×	294	9.3%	15,291	×	×	×	
		香焼公民館別館	交流 学習	464㎡	1987.4	31	-	○	○	○	○	×	-	-	-	-	-	-	
		老人憩の家 香焼ひまわり	高齢者 交流 入浴	703㎡	1997.3	22	○	○	なし	×	○	○	301	13.3%	13,758	○	○	○	
		伊王島開発総合センター	交流 学習	1,188㎡	1980.10	38	○	○	なし	○	×	×	162	5.8%	4,654	×	×	×	
		ヴィラ・オリンピック伊王島	交流 学習 本の貸出	1,599㎡	1993.10	25	-	○	なし	×	○	-	305	20.2%	9,228	○	×	○	
		学校	伊王島小学校	教育	3,619㎡	1960.3	59	-	×	なし	×	×	×	243	-	17	○	○	○
			香焼小学校	教育	4,646㎡	1973.3	46	○	○	なし	×	×	×	243	-	168	○	○	○
	深堀小学校		教育	5,703㎡	1967.1	52	-	○	なし	○	×	×	243	-	215	○	×	×	
	伊王島中学校		教育	2,492㎡	1964.11	54	-	○	なし	×	×	×	243	-	9	○	○	×	
	香焼中学校		教育	5,292㎡	1963.5	55	○	○	なし	×	×	×	243	-	85	○	○	○	
	深堀中学校		教育	5,913㎡	1972.10	46	○	○	なし	×	×	×	243	-	121	×	○	×	
	放課後 児童クラブ	ちびっ子ハウス(深堀小)	子ども	130㎡	1967.1	52	-	○	なし	×	×	-	293	-	600	○	○	○	
		香焼学童クラブきらりキッズ (香焼小)	子ども	114㎡	1975.3	44	-	○	なし	×	×	-	291	-	528	○	○	○	
	図書館	香焼図書館	学習 本の貸出	644㎡	1972.4	46	-	×	なし	○	×	×	281	-	10,618	×	○	-	
	その他	伊王島地区活性化交流拠点施設	その他	1,049㎡	1990.7	28	-	○	なし	○	×	-	-	-	-	-	-	-	
地区 (特定地区)	保健	伊王島国民健康保険診療所	医療	250㎡	1987.3	32	-	○	なし	○	×	-	237	-	7,388	○	○	○	
	ながさき 暮らし	伊王島交流滞在型宿泊施設	その他	135㎡	2006.8	12	-	○	○	×	×	×	365	7.3%	64	×	×	×	

貸室の稼働率を記載している施設の部屋別の稼働率は次のとおりです。

種類	施設の名称	区分	稼働率	平均 稼働率
コミュニ ティ	深堀地区ふれあいセンター	講堂	1.0%	8.3%
		大会議室	15.9%	
		第1会議室	13.9%	
		第2会議室	10.5%	
		研修室	15.3%	
		調理実習室	0.6%	
		和室	1.1%	
	香焼公民館	第1会議室	27.1%	9.3%
		第2会議室	6.9%	
		第3会議室	7.7%	
		第4会議室(別館)	5.9%	
		和室	8.6%	
		ホール	6.0%	
		調理室	7.4%	
		舞台	5.0%	

種類	施設の名称	区分	稼働率	平均 稼働率
コミュニ ティ	老人憩の家 香焼ひまわり	大広間	33.1%	13.3%
		研修室	7.3%	
		和室1	20.9%	
		和室2	1.7%	
		福祉情報室(予備室)	3.3%	
	伊王島開発総合センター	会議室1	16.6%	5.8%
		会議室2	3.7%	
		研修室1	4.5%	
		研修室2	1.2%	
		和室	5.9%	
ヴィラ・オリンピック伊王島	多目的ホール	多目的ホール	33.0%	20.2%
		フィットネスルーム	7.4%	

(2) 都市基盤施設

サービス 圏域	種類	施設の名称	施設の機能	床面積	建築年月 (※1)	経過 年数	避難 所	耐震 性	使っ てい ない 部屋	スロー プ	多目的 トイレ	エレ ベーター (※2)	H29年度利用状況			施設にかかる 費用(※3)		
													日数	貸室の 稼働率	利用者数	H27	H28	H29
市域全体	港湾	伊王島港ターミナル	交通	325㎡	1989.7	29	-	○	なし	○	○	-	365	-	126,451	○	○	○
													管理戸数	入居率	入居戸数 ※H30.4			
	市営住宅	田ノ浦住宅	住まい	3,733㎡	2005	14	-	○		○		○	54	100.0%	54	×	×	×
		深浦住宅(※5)	住まい	11,470㎡	1971	48	-	△		×		×	242	88.4%	214	○	○	○
		恵里上住宅	住まい	8,290㎡	1986	33	-	○		×		×	119	79.0%	94	×	×	×
		本村住宅	住まい	4,006㎡	2012	7	-	○		○		○	60	98.3%	59	×	○	○
		多尾住宅	住まい	892㎡	1965	54	-	○		○		×	13	53.8%	7	×	×	×
		瀬戸屋敷住宅	住まい	469㎡	1995	24	-	○		○		×	6	100.0%	6	×	×	×
		塩町住宅(※5)	住まい	10,500㎡	1974	45	-	△		×		×	218	62.4%	136	○	○	○

(3) 公用施設

サービス 圏域	種類	施設の名称	施設の機能	床面積	建築年月 (※1)	経過 年数	避難 所	耐震 性	使っ てい ない 部屋	スロー プ	多目的 トイレ	エレ ベーター (※2)	H29年度利用状況			施設にかかる 費用(※3)		
													日数	貸室の 稼働率	利用者数	H27	H28	H29
地区	行政	伊王島地域センター	手続き・相談	1,557㎡	1981.4	37	-	○	○	○	○	×				○	○	○
		香焼地域センター	手続き・相談	2,710㎡	1978.3	41	-	○	○	○	○	○				○	○	○
		深堀地域センター	手続き・相談	300㎡	1980.3	39	-	○	なし	○	○	-				○	○	○
複数地区	学校給食	香焼学校給食共同調理場	その他	326㎡	1974.3	45	-	○	なし	×	-	-				○	○	○
		伊王島学校給食共同調理場	その他	242㎡	1998.3	21	-	○	なし	×	-	-				○	×	×
地区 (特定地区)	職員住宅	伊王島国民健康保険診療所長 宿舍	その他	239㎡	1998.4	20	-	○	なし	×	×	×				○	○	○
		伊王島国民健康保険診療所看護 師宿舍	その他	82㎡	1987.3	32	-	○	○	○	×	×				○	○	○

(4) 公園施設

サービス 圏域	種類	施設の名称	施設の機能	敷地面積	開設 年月	経過 年数	避難 場所	耐震 性	使っ てい ない 部屋	スロー プ	多目的 トイレ
市域全体	公園 (※6)	香焼総合公園(総合公園)	レクリエーション	15.19ha	1980.5	38	○				○
地区		魚見岳公園(近隣公園)	レクリエーション	2.19ha	1999.3	20	－				×
		伊王島灯台公園(近隣公園)	レクリエーション	0.62ha	1984.3	35	－				○

(5) その他の施設

サービス 圏域	種類	施設の名称	施設の機能	床面積	建築年月 (※1)	経過 年数	避難 所	耐震 性	使っ てい ない 部屋	スロー プ	多目的 トイレ	エレ ベーター (※2)
地区	倉庫	香焼ペーロン船格納庫	その他	300㎡	2004.12	14	-	○	なし	○	×	-
-	遊休資産	旧伊王島生活支援ハウス		1,199㎡	1992.6	26	-	○	○	×	○	×
		旧山中職員住宅		658㎡	1973.5	45	-	×	○	×	×	×
		旧多尾教職員住宅1号(2戸のうち1戸)		126㎡	1995.4	23	-	○	○	×	×	×
		旧多尾教職員住宅2号		149㎡	1982.4	36	-	○	○	×	×	×
		旧馬込教職員住宅		75㎡	1984.4	34	-	○	○	×	×	×
		旧職員住宅(浦下1・2号)		123㎡	1975.3	44	-	×	○	×	×	×

※1…主たる建物が複数ある場合は、最も古い建物の建築年月を記載しています。

※2…1階のみの建物は、「一」と記載しています。

※3…市全体で同じ種類の建物と比較したときに利用者1人当たりの費用が平均より低い場合は○、高い場合は×(利用者数を把握していない施設については、床面積1㎡当たりの費用で比較)と表記しています。

※4…学校の利用者数は、平成30年5月1日現在の児童・生徒数です。

※5…塩町住宅は4棟が非耐震基準の建物です。

※6…公園は、比較的規模の小さい街区公園を除き、総合公園、近隣公園のみを記載しています。

- 総合公園…平和公園(平和発信の拠点)、長崎東公園や野母崎総合運動公園(スポーツの拠点)、稲佐山公園(都市景観の保全やレクリエーションの拠点)、金比羅公園、唐八景公園及び川原大池公園(自然とのふれあいの拠点)など、それぞれの公園において地形や特性を活かし、住民に総合的に利用されている公園です。
- 近隣公園…近隣に居住する住民の日常における憩いの場や避難場所等防災の拠点となる公園です。
- 街区公園…街区内に居住する住民に利用されている公園です。

公共施設を見直すときのポイント（7つの視点）

(1) 市民利用型施設

サービス 圏域	種類	施設の名称	建築後 30年以上	地震に 弱い	あまり利用 されていない	未使用の 部屋がある	バリアフリー ではない	地区内に 類似施設がある	費用が多く かかっている	合計
市域全体	レクリ エーション	伊王島海水浴場交流施設								0
		伊王島ふれあい広場								0
		伊王島ゲートボール場								0
複数地区	博物館等	深堀貝塚遺跡資料館	✓		✓		✓			3
		深堀体育館			✓					1
地区	コミュニティ	深堀地区ふれあいセンター	✓		✓			✓	✓	4
		香焼公民館	✓		✓		✓	✓	✓	5
		香焼公民館別館					✓			
		老人憩の家 香焼ひまわり			✓		✓	✓		3
		伊王島開発総合センター	✓		✓		✓	✓	✓	5
		ヴィラ・オリムピカ伊王島			✓		✓	✓		3
	学校	伊王島小学校	学校施設は、児童生徒によりよい教育環境を提供する視点で、 教育委員会が検討を進めております。							0
		香焼小学校								0
		深堀小学校								0
		伊王島中学校								0
		香焼中学校								0
		深堀中学校								0
	放課後 児童クラブ	ちびっ子ハウス(深堀小)	✓				✓	✓		3
		香焼学童クラブきらりキッズ(香焼小)	✓		✓		✓	✓		4
	図書館	香焼図書館	✓	✓			✓			3
	その他	伊王島地区活性化交流拠点施設					✓			1
地区 (特定地区)	保健	伊王島国民健康保険診療所	✓		✓		✓			3
	ながさき 暮らし	伊王島交流滞在型宿泊施設					✓		✓	2

(2) 都市基盤施設

サービス 圏域	種類	施設の名称	建築後 30年以上	地震に 弱い	あまり利用 されていない	未使用の 部屋がある	バリアフリー ではない	地区内に 類似施設がある	費用が多く かかっている	合計
市域全体	港湾	伊王島港ターミナル								0
	市営住宅	田ノ浦住宅						✓	✓	2
		深浦住宅	✓	✓			✓	✓		4
		恵里上住宅	✓				✓	✓	✓	4
		本村住宅						✓		1
		多尾住宅	✓		✓		✓	✓	✓	5
		瀬戸屋敷住宅					✓	✓	✓	3
		塩町住宅	✓		✓		✓	✓		4

(3) 公用施設

サービス 圏域	種類	施設の名称	建築後 30年以上	地震に 弱い	あまり利用 されていない	未使用の 部屋がある	バリアフリー ではない	地区内に 類似施設がある	費用が多く かかっている	合計
地区	行政	伊王島地域センター	✓			✓	✓	✓		4
		香焼地域センター	✓			✓		✓		3
		深堀地域センター	✓					✓		2
	学校給食	香焼学校給食共同調理場	✓				✓	✓		3
		伊王島学校給食共同調理場					✓	✓	✓	3
地区 (特定地区)	職員住宅	伊王島国民健康保険診療所長宿舍					✓			1
		伊王島国民健康保険診療所看護師宿舍	✓				✓			2

(4) 公園施設

サービス 圏域	種類	施設の名称	建築後 30年以上	地震に 弱い	あまり利用 されていない	未使用の 部屋がある	バリアフリー ではない	地区内に 類似施設がある	費用が多く かかっている	合計
市域全体	公園	香焼総合公園(総合公園)								0
地区		魚見岳公園(近隣公園)					✓			1
		伊王島灯台公園(近隣公園)								0

(5) その他施設

サービス 圏域	種類	施設の名称	建築後 30年以上	地震に 弱い	あまり利用 されていない	未使用の 部屋がある	バリアフリー ではない	地区内に 類似施設がある	費用が多く かかっている	合計
地区	倉庫	香焼ペーロン船格納庫					✓			1
-	遊休資産	旧伊王島生活支援ハウス					✓			1
		旧山中職員住宅	✓	✓			✓			3
		旧多尾教職員住宅1号(2戸のうち1戸)					✓			1
		旧多尾教職員住宅2号	✓				✓			2
		旧馬込教職員住宅	✓				✓			2
		旧職員住宅(浦下1・2号)	✓	✓			✓			3

【7つの視点のチェックについて】

- 1…建てられてからの年数が30年以上のものに✓
- 2…耐震性がない建物に✓
- 3…市全体で同じ種類の建物と比較したときに平均より貸室の稼働率または入居率が低い場合に✓
貸室の稼働率または入居率がない施設は、1日当たりの利用者数が平均より低い場合に✓
- 4…使われていない部屋などがある場合に✓
- 5…入口にスロープ、2階以上の建物にエレベーター、多目的トイレのいずれか1つでもなければ✓
- 6…地区内に同じような使い方ができる施設がある場合に✓
- 7…施設にかかる費用が3か年のうち2か年以上×の場合に✓

※地区計画に記載している公共施設配置図、公共施設の情報及び利用者数などのグラフは、地区関係者の皆さまへ計画(案)のご意見等をお伺いした時点(令和2年10月)のものです。

5 将来の方向性

≪「5 将来の方向性」の見方≫

〇〇施設の 施設配置の 基本的な考え方	※将来の長崎の姿（2040 年）を踏まえた行政サービスの方向性と、施設配置についての、市の基本的な考え方を記載しています。
---------------------------	---

ア 現状及び課題

(個別施設名)	
写真及び イメージ画像	【建築年】 【開館時間】 【休館日】 【年間利用者数】 【1 日当たりの利用者数】 【概要】 施設の経緯や、現状、使われ方などを記載しています。
【現状及び課題】 - ハード、ソフト面における現状・課題を記載しています。 - 市民対話で出された主な意見などを記載しています。	

イ 施設のあり方や見直しの方向性

※施設配置についての基本的な考え方と、市民対話で頂いた意見・アイデア等を踏まえて検討した、当該施設の今後のあり方や方向性を記載しています。

ウ ロードマップ

施設名称	前期	後期	次期計画	備考
	～2022	2023～2029	2030 以降～	
(A 施設)	→			施設のあり方を検討する
(B 施設)				適正管理を行う

今後見直しの検討が必要と判断した施設については、その実施期間を矢印で示しています。

当面、現施設を維持すると判断した施設については、矢印の記載を省略しています。

「施設のあり方や見直しの方向性」はロードマップにも簡潔に記載しています。

(1) 市民利用型施設

①レクリエーション施設（飛島磯釣り公園、高島海水浴場及び高島ふれあいキャンプ場、伊王島海水浴場交流施設、伊王島ふれあい広場、伊王島ゲートボール場）

レクリエーション
施設の施設配置の
基本的な考え方

レクリエーション（余暇活動）は、日常生活における心身の疲れを癒し、活力を養うことができる重要なものであり、今後もその重要性は変化することがないため、余暇活動を行える場を提供し、市民の豊かな生活を支援します。

余暇活動は、多種多様であり、レクリエーション施設は、その活動にあわせ、官民間問わず設置されているところです。

民間のレクリエーション施設は、時代の流行に合わせて、利潤を生むものが設置されており、市として設置するレクリエーション施設は、市民の豊かな生活を支援するため、世代を問わず誰もが利用できる場を長期的に継続して提供する必要があります。

ただし、体育施設や公園等もレクリエーションを行う場となるため、専用施設として設置するものは、長崎市の豊かな自然環境を活用することで、市内外から多くの方を地域に呼び込むことができ、市全体や地域の活性化に資することができることを条件とします。

また、同様な機能を持つ施設との役割分担や機能の集約化、市民の満足度の把握による施設の充実を進めるとともに、民間での運営の可能性や維持管理費の軽減についても検討を行います。

海洋型施設については、長崎市の貴重な資源である美しい海を活かして、家族等で安心して海水浴等ができ、市内外から多くの方を地域に呼び込み、市全体や地域の活性化に資することができる施設は存続することとしますが、それ以外の施設は用途廃止とします。

広場施設については、現状の利用状況から将来の利用の増加が一定見込める施設や、スポーツや地元のイベント等で地域の住民の方々に利用されており、今後も同様の利用の継続が見込まれる施設は、存続させることとしますが、それ以外は用途廃止とします。

ア 現状及び課題

飛島磯釣り公園



【建築年】1997 年

【利用時間】7 : 00～17 : 00 (11～3 月)

6 : 30～18 : 00 (4～10 月)

【休所日】1 月 1 日、12 月～翌年 2 月の毎週火曜日

【年間利用者数】7,406 人

【1 日当たりの利用者数】21 人 ※利用者数は平成 29 年度実績

【概要】

- 釣り具の貸出なども行われており、初心者や家族連れでも気軽に釣りが楽しめます。

【現状及び課題】

- 建築後 20 年を経過しており、海上施設であることも加わり、グレーチング部分など、施設の老朽化が進んでいます。
- 近年は、自然海岸や堤防での釣りの意向が高くなっています。
- 市民対話では、
「釣り公園の利用料金が安くなれば、利用が増えるのではないかな。」
「危険な箇所は除いたうえで、イカダを設置して魚を集め、釣り客の増加につなげる取り組みをしてはどうか。」
「長崎市全体として、施設のメンテナンスについては、予算を積み立てによって用意し、計画的に行ってほしい。また、施設を造る段階でメンテナンスしやすいようにするべきではないかな。」
「公共施設を廃止する場合、そこで働いている方はどうなるのだろうか。」
という意見が出されました。

高島海水浴場及び高島ふれあいキャンプ場



【建築年】1997 年

【開館時間】海水浴場 8 : 30～18 : 00

キャンプ場 10 : 00～翌 10 : 00 (宿泊)

8 : 30～17 : 00 (日帰り)

【営業期間】海水浴場 7 月中旬～8 月末

キャンプ場 7 月中旬～8 月末、9～10 月の土日祝日

【年間利用者数】16,746 人

【1 日当たりの利用者数】275 人 ※利用者数は平成 29 年度実績

【概要】

- サングを観察できる希少な場所であり、海水浴場とキャンプ場が一体となった施設です。

【現状及び課題】

- 市民対話では、
「海水浴場は賑わっているのに、備品を取り替える費用に充てるために、入場料を取ったらいけないのではないか。」
「大雨のときのキャンプ場利用客の一時的な避難場所について配慮してほしい。」
という意見が出されました。

伊王島海水浴場交流施設



【建築年】2000 年

※開館時間は平成 30 年度

【開館時間】9 : 00～18 : 00 (7 月 14 日～8 月 15 日)

9 : 00～17 : 00 (8 月 16 日～9 月 2 日)

【年間利用者数】20,093 人

【1 日当たりの利用者数】428 人 ※利用者数は平成 29 年度実績

【概要】

- 長さが 340m ある広い砂浜があり、約 600 人収容の桟敷があります。また、子ども用プールを併設しています。

【現状及び課題】

- 伊王島大橋の架橋により、陸路からのアクセスが可能になり、利用者が増加しました。

伊王島ふれあい広場



【開場時間】 常設駐車場 9 : 00～22 : 00

【敷地面積】 38,521 m²

【概要】

- 多目的グラウンド及び駐車場で構成されています。
- 常設の駐車場が 80 台分あり、臨時的にはさらに 390 台の駐車が可能です。

【現状及び課題】

- 伊王島大橋開通にあわせて、地域の活性化や観光振興のためのイベントの開催などを目的に整備しましたが、現状では夏場の海水浴客の臨時駐車場としての利用にとどまっており、効果的な利用が図られていません。
- 市民対話では、「テニスコートにして、交流人口を呼び込んでほしい」という意見が出されました。

伊王島ゲートボール場 (2020 年 2 月_用途廃止済)



【敷地面積】 720 m²

【概要】

- ゲートボール場ですが、現在は利用されていません。

【現状及び課題】

- 市民対話では、
「伊王島診療所の駐車場が少ないので、伊王島ゲートボール場の敷地を診療所の駐車場にしてはどうか。」
「テニスコートにして、交流人口を呼び込んでほしい。」
という意見が出されました。

イ 施設のあり方や見直しの方向性

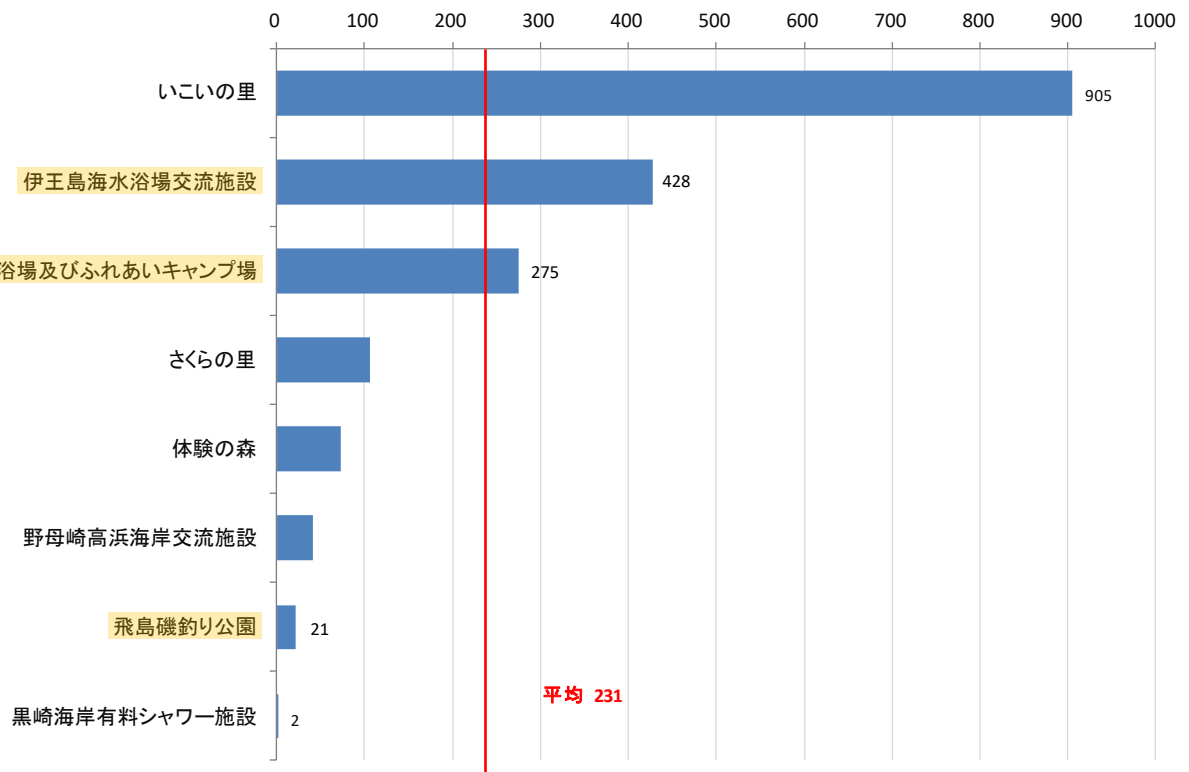
- 飛島磯釣り公園については、地域活性化の役割を果たしており、今後新たなニーズの創出や開拓が期待されることから存続させることとしますが、北側釣り台については、施設の集約の観点及び経費節減の観点から、用途を廃止します。なお、釣り公園全体のあり方については、今後の利用者の推移、施設の耐用年数等をみながら検討します。
- 高島海水浴場及び高島ふれあいキャンプ場については、今後も一定の利用が見込めること、また高島地区の地域活性化の役割を果たしていることから、現在の施設を引き続き適正に管理していきます。
- 伊王島海水浴場交流施設については、伊王島地区の交流人口を増やす目的があります。運営については、民間のアイデアや創意工夫で、より魅力的な施設となるよう、現在の海水浴場の機能を残し、誰もが利用できることを条件として、民間移譲を検討します。
- 伊王島ふれあい広場については、広場の設置目的や、利用状況、将来的な活用予定等を踏まえたうえで、今のイベント広場や駐車場としての機能を維持し、地域の活性化につながる場合は民間移譲を検討します。
- 伊王島ゲートボール場については、現在、活用されていないため、ゲートボール場としての用途を廃止します。市民対話でのご意見を踏まえ、敷地を一部伊王島国民健康保険診療所の駐車場として使用することも含め、売却等による有効活用を検討します。

ウ ロードマップ

施設名称	前期	後期	次期計画	備考
	～2022	2023～2029	2030以降～	
飛島磯釣り公園				北側釣り台は、2027年度を目途に、用途を廃止する 釣り公園全体については、利用者の推移等をみながらあり方を検討する
高島海水浴場及び 高島ふれあいキャンプ場				適正管理を行う
伊王島海水浴場交流施設				2024年度までに、民間移譲を検討する
伊王島ふれあい広場				2026年度までに、民間移譲を検討する
伊王島ゲートボール場				ゲートボール場としては廃止し、売却等による有効活用を検討する

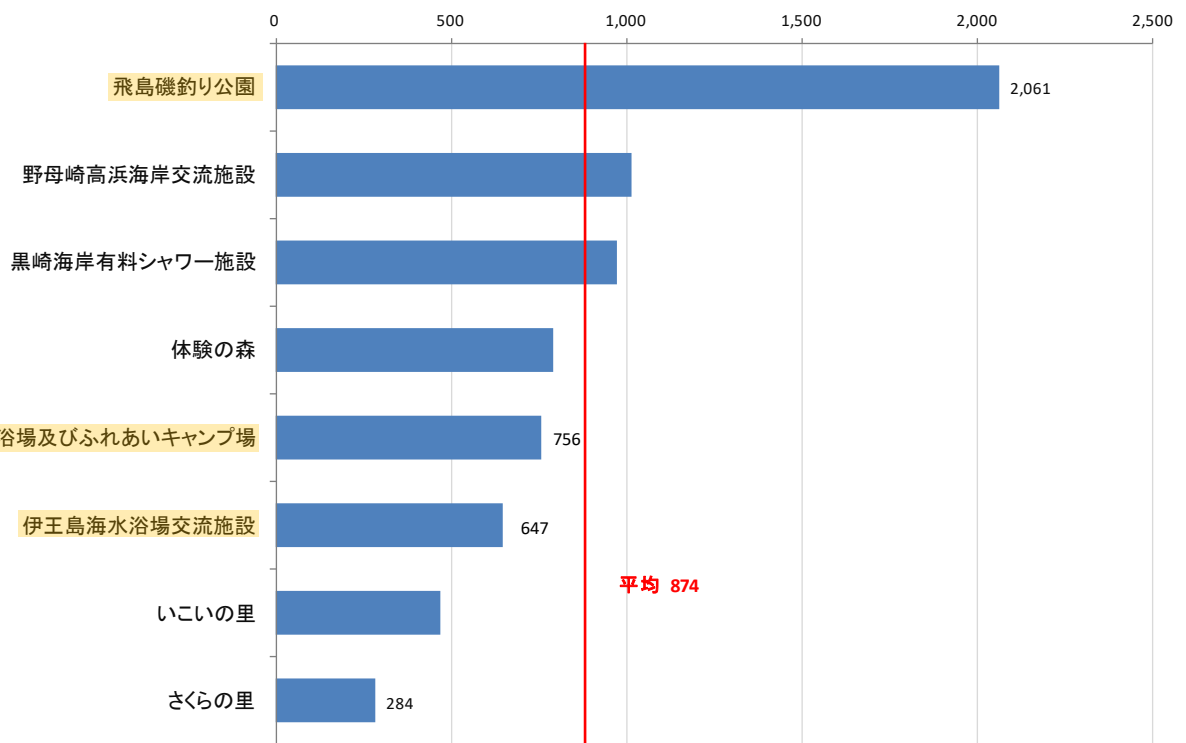
レクリエーション施設の営業1日当たりの利用者数(H29年度実績)

(単位:人)



レクリエーション施設の利用者1人当たりのコスト(H29年度実績)

(単位:円)



②養護老人ホーム（高砂園）

養護老人ホームの 施設配置の 基本的な考え方	養護老人ホームは、65 歳以上の方で環境上の理由及び経済的理由により、家庭で養護を受けられない方について市が入所を措置する施設で、市内に 8 施設、定員 390 人分が設置されています。現状の定員数で必要数は充足していることから、施設の新設は行わないこととしております。高島地区においては、現在、介護サービス事業所はデイサービスしかなく、島外の介護サービス利用においても時間帯や船舶の運航状況など交通事情による制約があるため、重度の要介護者は島外の介護施設等を利用している状況です。人口減少や高齢化が進むなかで、介護が必要になってもできる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、介護サービスを確保する必要があります。
---------------------------------------	--

ア 現状及び課題

高砂園（2022 年 9 月_用途廃止済）

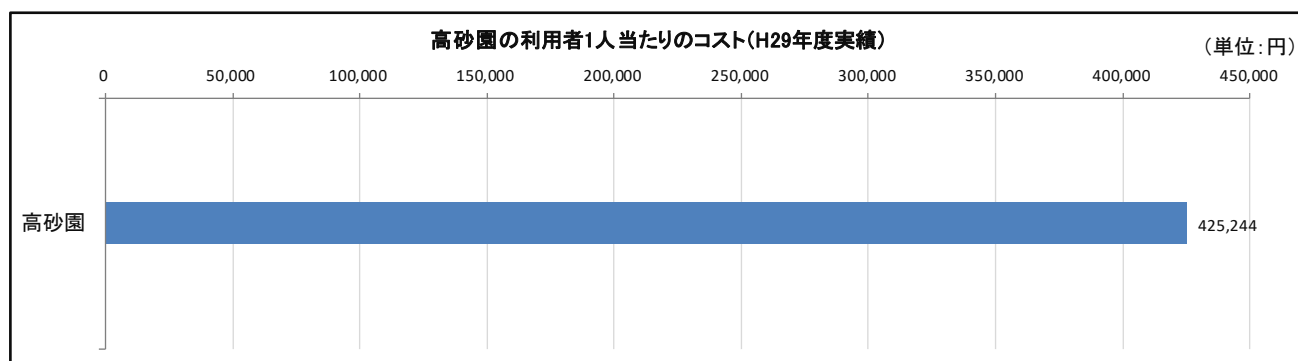
	【建築年】1989 年 【種 別】入所施設 【休館日】なし 【月平均入所者数】13 人（年間入所者数 延 158 人） 【定員】40 人 【入所率】32.5% ※入所者数は平成 29 年度実績 【概要】 ● 高齢者が自立した日常生活を営むための必要な援助を行うために設置しています。
【現状及び課題】 ● 重度の要介護者は、島外の施設等を利用しなければならず、住み慣れた地域で暮らし続けたという住民ニーズに対応できていません。 ● 建築後 30 年を経過しており、老朽化が進行しています。 ● 多目的トイレやエレベーターがありません。 ● 市民対話では、 「小規模多機能型居宅介護施設にして、グループホームを併設してはどうか。」 「2 部屋をつないで 1 部屋にして広くすれば、利用が増えるのではないか。」 「高島国民健康保険診療所を高砂園に移してはどうか。」 「高砂園の 2 階を宿泊施設にして、1 階に入所する高齢者の見舞いに訪れた人が家族連れて泊まれるようにしてはどうか。」 という意見が出されました。	

イ 施設のあり方や見直しの方向性

高砂園は、利用入所者の数が少ないことや他の養護老人ホーム7施設の空き状況で必要数は充足していること、島内の将来的な介護ニーズに対応できないこと、バリアフリー対応でないことなどから、令和4年9月末に廃止します。なお、高島地区における介護サービスについては、高齢者が住み慣れた高島でできる限り暮らし続けられるよう、将来に向けて必要な介護サービスを提供するため、通い、訪問、泊まりの3つのサービスを一体的に提供する小規模多機能型居宅介護事業所を整備（令和2年7月）しました。

ウ ロードマップ

施設名称	前期	後期	次期計画	備考
	～2022	2023～2029	2030以降～	
高砂園				小規模多機能型居宅介護のサービス提供開始後、高砂園は廃止する



③博物館等（高島石炭資料館、深堀貝塚遺跡資料館）

博物館の 施設配置の 基本的な考え方	博物館等は、関連する資料を収集、保管、展示し、併せてこれらの資料に関する調査研究を行うことで、教育の振興や、学術及び文化の発展に寄与することなどを目的に設置しています。 また、地域の特徴的な歴史文化遺産を明らかにし、顕在化することで、自分の街への誇りや愛着の涵養や、ひいては地域活性化にもつなげます。 今後とも、貴重な資料を保存し、研究していくとともに地域独自の文化、歴史を適切な場所から発信していく必要があり、さらに観光資源としても活用し、交流人口の拡大につなげます。 一方、展示物の老朽化等により設置当初の機能を果たせていないものや、展示物の移転・集約が可能な施設もあるため、全体として見直しを図ります。
--------------------------	--

ア 現状及び課題

高島石炭資料館



【建築年】1961 年

【開館時間】9 : 00～17 : 00

【休館日】年末年始

【年間利用者数】82,739 人

【1 日当たりの利用者数】227 人 ※利用者数は平成 29 年度実績

【概要】

- 旧高島炭鉱の歴史や、石炭に関する資料を保存・展示しています。
- 入場料は無料です。

【現状及び課題】

- 建築後 57 年を経過し、老朽化が進行しており、耐震性も確保されていません。
- 多目的トイレやエレベーターが設置されていません。
- 市民対話では、「百万住宅が廃止になった後、減築して耐震性を確保して、宿泊施設とともに高島石炭資料館等を入れてはどうか。」という意見が出されました。

深堀貝塚遺跡資料館



【建築年】1987 年

【開館時間】9 : 00～17 : 00

【休館日】年末年始

【年間利用者数】1,037 人

【1 日当たりの利用者数】3 人 ※利用者数は平成 29 年度実績

【概要】

- 市内の貴重な遺跡の 1 つである深堀貝塚遺跡を紹介する施設です。
- 深堀地区で出土した縄文、弥生、古墳各時代の土器や石器を展示しています。

【現状及び課題】

- 現在の施設は、建築後 32 年を経過しており、また白蟻の被害により、階段を含めて 2 階の利用を制限しています。
- 市民対話では、
 「縄文、弥生から現代までの深堀の 2500 年の歴史を伝えるため、展示資料を整理、拡充し、貝塚遺跡だけでなく現代のあり様まで含めた民俗資料館としてもらいたい。できれば、複合施設にして、2 階を多目的に使えるように作ってくれば一番いい。」
 「深堀には多くの歴史があるので、資料館で近世も現代も含めて系統的に展示してはどうか。」
 「建替えも補修もせず、施設を無くしてしまうということは良くない。」
 「資料館のある場所から発掘された出土品を、別の場所で展示しても意味がない。資料館は、現在地にあることに意味がある。」
 「バリアフリーになっておらず、また老朽化し、エアコンも効かない。白蟻の被害もあるため見直しが必要である。深堀地区老人デイサービスセンターの撤退後のスペースに移設してはどうか。」
 「資料館が移転された場合、施設を改修し、図書館と児童館の複合施設にしてはどうか。または、跡地を駐車場にしてはどうか。」
 「デイサービスセンターの跡地において、児童館、図書室と一緒にすれば、子どもから大人まで幅広い世代に見てもらえる。建物よりも、資料の中身を見てもらって、勉強する機会を増やした方がいいのではないか。」
 という意見が出されました。

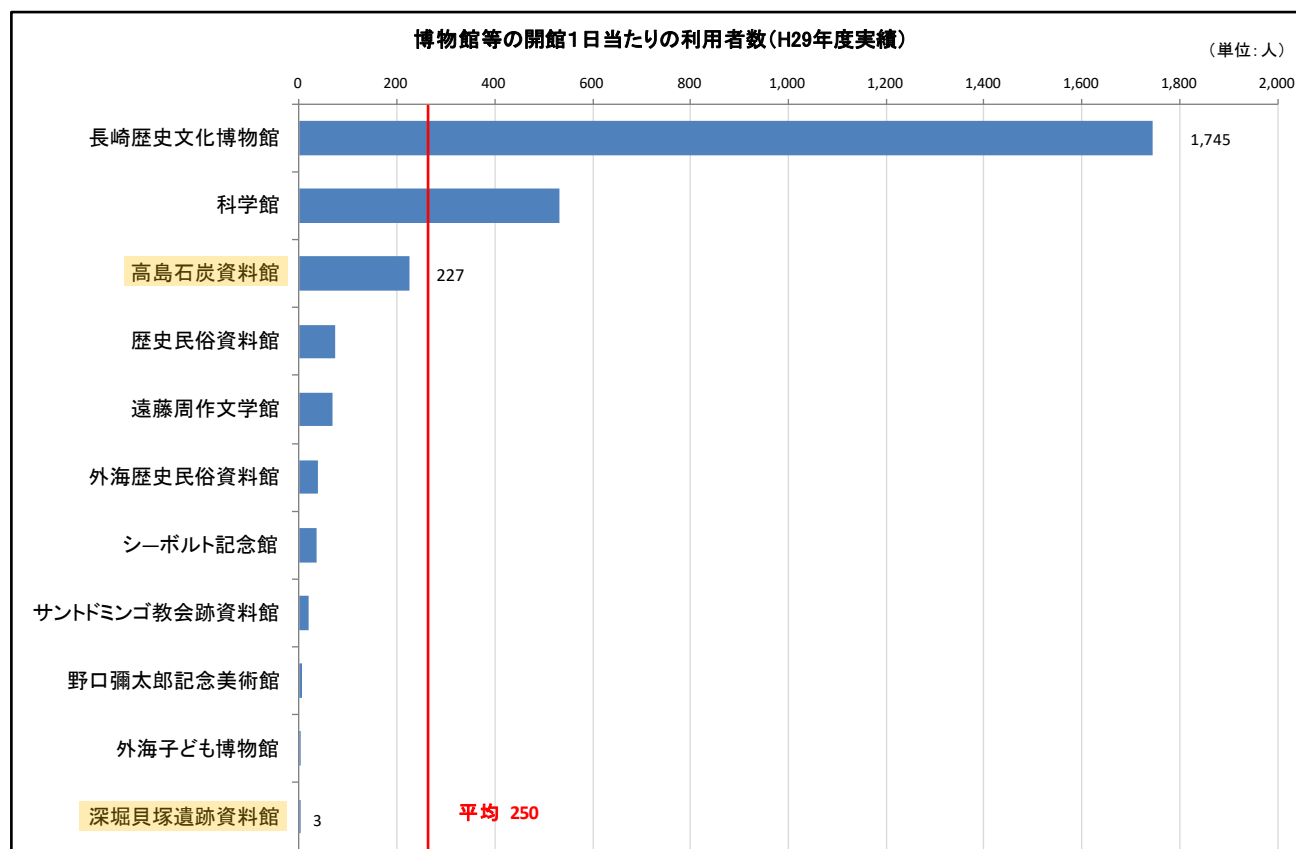
イ 施設のあり方や見直しの方向性

- 高島石炭資料館については、旧高島炭鉱の歴史及び石炭に関する資料を展示する施設であり、観光資源としての入館者が見込まれるため、引き続き島内に配置しますが、建物の老朽化が進んでおり、耐震性もないことから、将来的に他の施設への移転等を検討します。
- 深堀貝塚遺跡資料館は、地域の歴史をたどる“まち歩き”の動線上にあることから、地域の成り立ちを知っていただくための重要な施設です。現在の施設は老朽化や白蟻の被害があるため、当面は応急的な修繕等により現施設を維持していくこととしますが、将来的には現在地での配置を原則とし、周辺に配置されている公共施設を含めた再編整備についても検討していくこととします。

また、深堀の歴史を紹介する資料については、地域のご意見もお聞きしながら、適宜、展示替えを行うなど、皆さんに喜んでいただける展示を目指していきます。

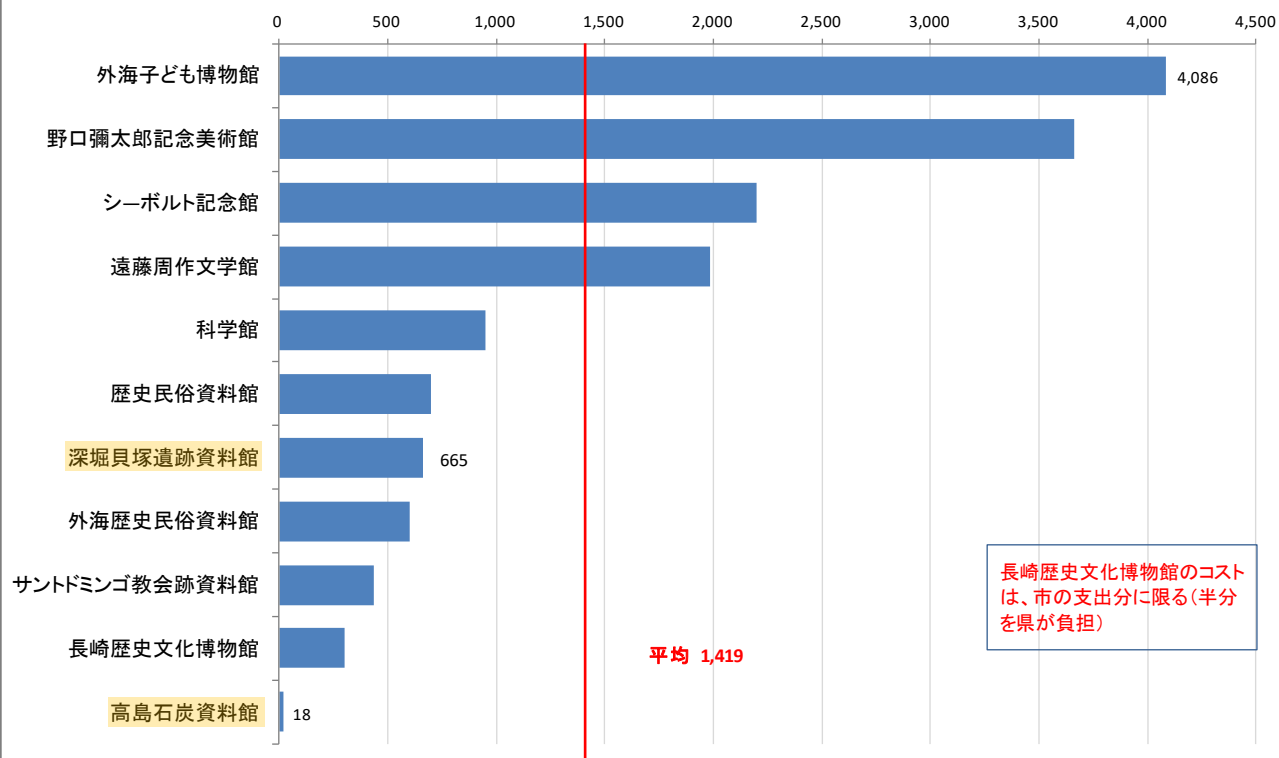
ウ ロードマップ

施設名称	前期	後期	次期計画	備考
	～2022	2023～2029	2030以降～	
高島石炭資料館				他の施設への移転等を検討する
深堀貝塚遺跡資料館				適正管理を行うとともに、将来的に周辺施設との再編整備を検討する



博物館等の利用者1人当たりのコスト(H29年度実績)

(単位:円)



④市営宿泊施設（しまの宿五平太）

市営宿泊施設の施設配置の基本的な考え方	観光客の中でも特に経済効果が見込まれる宿泊者を、今後更に増加させるためには、宿泊施設の確保は必要ですが、宿泊施設の運営は本来、民間事業者に任せる分野であり、原則として既設の市営宿泊施設は将来的に廃止若しくは民間移譲を行います。
---------------------	---

ア 現状及び課題

しまの宿五平太（2023 年 9 月_用途廃止予定）



【建築年】1973 年

【開館時間】15:00～翌 10:00

【休館日】年末年始

【年間利用者数】1,114 人

【1 日当たりの利用者数】3 人 ※利用者数は平成 29 年度実績

【概要】

- 主に観光客、帰省客及び工事業者などに利用されています。
- 8 室の客室と、食堂、大広間があります。

【現状及び課題】

- 建築後 46 年を経過し、老朽化が進行しており、耐震性も確保されていません。
 - 市民対話では、
 - 「バリアフリー化が必要である。」
 - 「利用者を増やすため、今までの取組みについての検証が必要である。」
 - 「いやしの湯とともに旅行商品へ組み込むなど、利用者を増やす取り組みの余地があるのではないか。」
 - 「避難所に指定されているが、耐震性がないので、他の場所を避難所として考えてはどうか。」
 - 「五平太の大広間は地域の会合等で利用している。施設を無くしたら、今後飲食を伴う会合ができる場所をどのように維持していくのか。」
 - 「市が設備投資をして建物を建て、運営を民間に委託する方法を取るしかないと思う。」
 - 「地域センターの建物に幼稚園を移転し、空いた幼稚園の建物を改修して合宿施設にしてはどうか。」
 - 「民間移譲ができない場合、そのまま廃止するのか。」
- という意見が出されました。

イ 施設のあり方や見直しの方向性

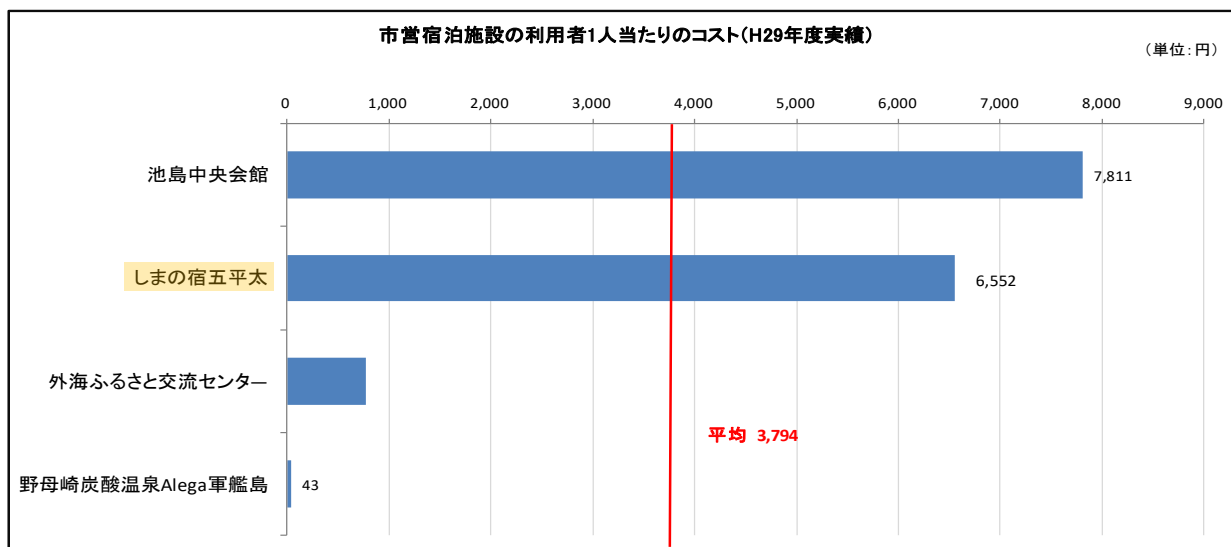
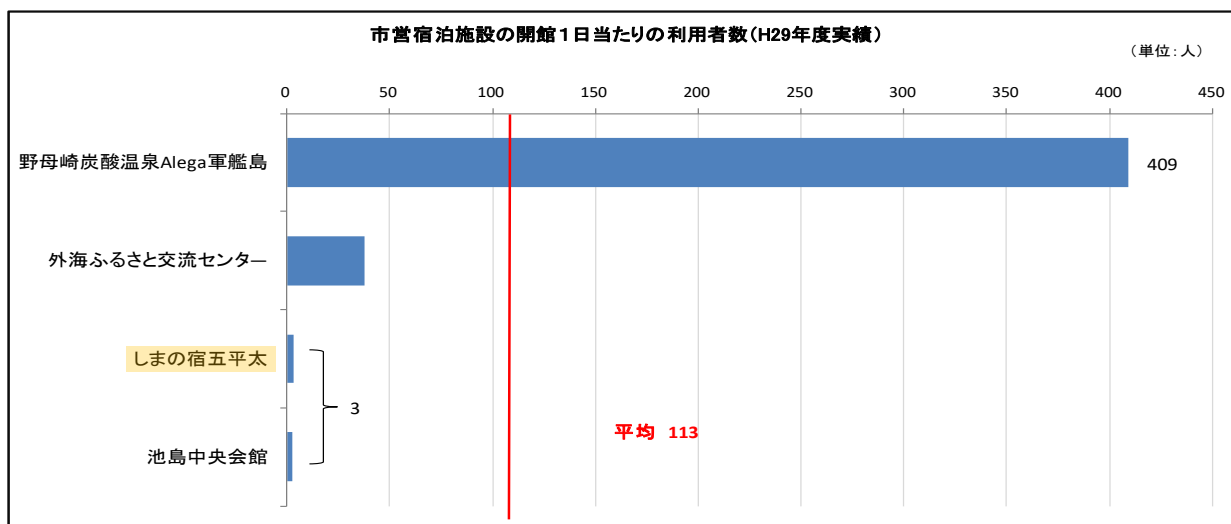
しまの宿五平太は、施設の老朽化が進んでおり、耐震性もないことから、このまま継続していくことは困難です。今後は、高島全体でどのように宿泊の受け入れ態勢を整えるかを見極めながら、他の施設での機能の代替も含めて、施設のあり方を検討していきます。

なお、避難所については、島内に所在する他の公共施設へ指定替えすることを検討します。

また、各種の交流会や親睦会などの会合については、ふれあいセンターなどの利用ができるよう調整していきます。

ウ ロードマップ

施設名称	前期	後期	次期計画	備考
	～2022	2023～2029	2030以降～	
しまの宿五平太				民間も含め、他の施設での代替を図れないか検討を行う



⑤スポーツ施設（深堀体育館）

スポーツ施設の 施設配置の 基本的な考え方	市民が生涯にわたってスポーツに関わることにより、健康で豊かな生活を送ることができ、また、競技力の向上を図ることにより、地元選手がスポーツ大会で活躍することを目指しており、その活動の場として、スポーツ施設は重要な役割を担っています。 そのためには、市民が身近な場所でスポーツができる施設、スポーツ大会を開催するための機能を備えた施設など、配置場所や利用形態に応じた施設を配置する必要がありますが、スポーツの種類は多種多様であり、すべてを同じ条件で配置することはできないことから、施設の廃止、集約を検討するとともに、県立や民間のスポーツ施設も利用しながら、維持していくことが必要な施設については、可能な限り、施設の機能の質の向上を図ります。 施設の配置にあたっては、サービスを提供する範囲（サービス圏域）による施設分類（全市施設、複数地区施設、地区施設）と利用形態による施設分類（大規模大会利用施設、市内大会等利用施設、競技練習等利用施設、レクリエーション等利用施設）の2つの分類の組み合わせによる配置とします。 《サービス圏域による施設分類》 (1) 全市施設 市域全体を対象として、都心部及び都心周辺部に配置します。 2040年には、人口減少に伴う競技人口の減少は見込まれるものの、競技種目はこれまで同様存続すると考えられることから、現在と同程度の大会開催が見込まれるため、現在と同程度の施設規模及び数量の施設を配置します。 (2) 複数地区施設 地域の競技練習やレクリエーション等の利用施設として、市内の中央、東部、南部及び北部の各地域内において、各地区からの交通の便がよい場所（地域拠点又は交通結節点）に、体育館、庭球場及びプール（温水）を配置します。プール（温水）については、清掃工場の余熱を利用した施設であることから清掃工場の隣接地に配置します。 なお、近隣に民間施設がある場合は、民間施設を有効に活用していきます。 また、施設の利用状況（稼働率等）などを踏まえ、将来の利用人口に応じて施設の集約化を図り、施設規模の見直しを行います。 (3) 地区施設 普段の生活に必要なサービスを提供することができる場所に配置します。 地区における生涯スポーツの推進及び競技スポーツの競技力向上を図るため、公園機能の一つとして配置されているグラウンドを、継続して配置します。
--------------------------------------	--

また、街区公園等の広場、小・中学校等の体育施設（運動場、体育館、武道場など）、ふれあいセンター等の軽スポーツ室も地区施設として活用します。

《利用形態による施設分類》

区 分	定 義
大規模大会利用施設	・全国、九州、県大会等の大規模な大会に利用するための施設 ・公式大会開催に必要な競技環境（施設規模や設備等）、競技を見るための観客席及び参加者や観覧者のための駐車場を整備している施設
市内大会等利用施設	・大規模大会利用施設の補助会場や練習会場として、また、市内大会や小規模大会の開催に利用するための施設 ・市内大会等開催に必要な競技環境等を整備している施設
競技練習等利用施設	・主に競技練習や健康増進のための運動に利用するための施設 ・競技練習のための競技環境を整備している施設
レクリエーション等利用施設	・運動会やイベント開催などレクリエーション等目的で利用している施設 ・レクリエーション等を開催できるスペースがある施設

ア 現状及び課題

深堀体育館



【建築年】2001 年

【開館時間】9：00～21：00

【休館日】第1日曜日、毎週火曜日（第1日曜日の翌々日を除く）、年末年始

【年間利用者数】16,248 人

【1日当たりの利用者数】54 人 ※利用者数は平成29年度実績

【概要】

- バレーボール、フットサル、バドミントン、卓球、剣道、空手の愛好者の練習に使用されています。
- 同じ建物には、深堀地区子育て支援センター「ふるさと」が併設されています。

【現状及び課題】

- 体育館に併設していた老人デイサービスセンターは、当初、市が公設で老人デイサービス事業を実施するため整備しましたが、民間の介護事業所が充足してきたため公設での事業を廃止したことにより、資産の有効活用として、民間事業者へ貸し付けを行っていました。しかし、設備の老朽化により、既存設備を利用した施設の有効活用が難しくなってきたことから、民間事業者への貸付を2020年3月で終了しました。退去後の空きスペースについて活用方法を検討する必要があります。
- 1日当たりの利用者数（54人）が同種の施設の平均（176人）より少ない状況です。
- 市民対話では、

「深堀地区には、百人単位で集まれる施設がなく、体育館で敬老会などを行っているので、多目的に利用できるように冷暖房設備を整備してほしい。」

また、老人デイサービスセンター退去後の空きスペースの活用として、

「子育て支援センターと児童館にしてはどうか。」

「児童館、深堀貝塚遺跡資料館、深堀地域センター内の図書機能を備えた複合施設にしてはどうか。」

「現在、お遊び教室を深堀中学校の武道場で行っているが、冷暖房がないので、ここで開催してはどうか。」

という意見が出されました。

イ 施設のあり方や見直しの方向性

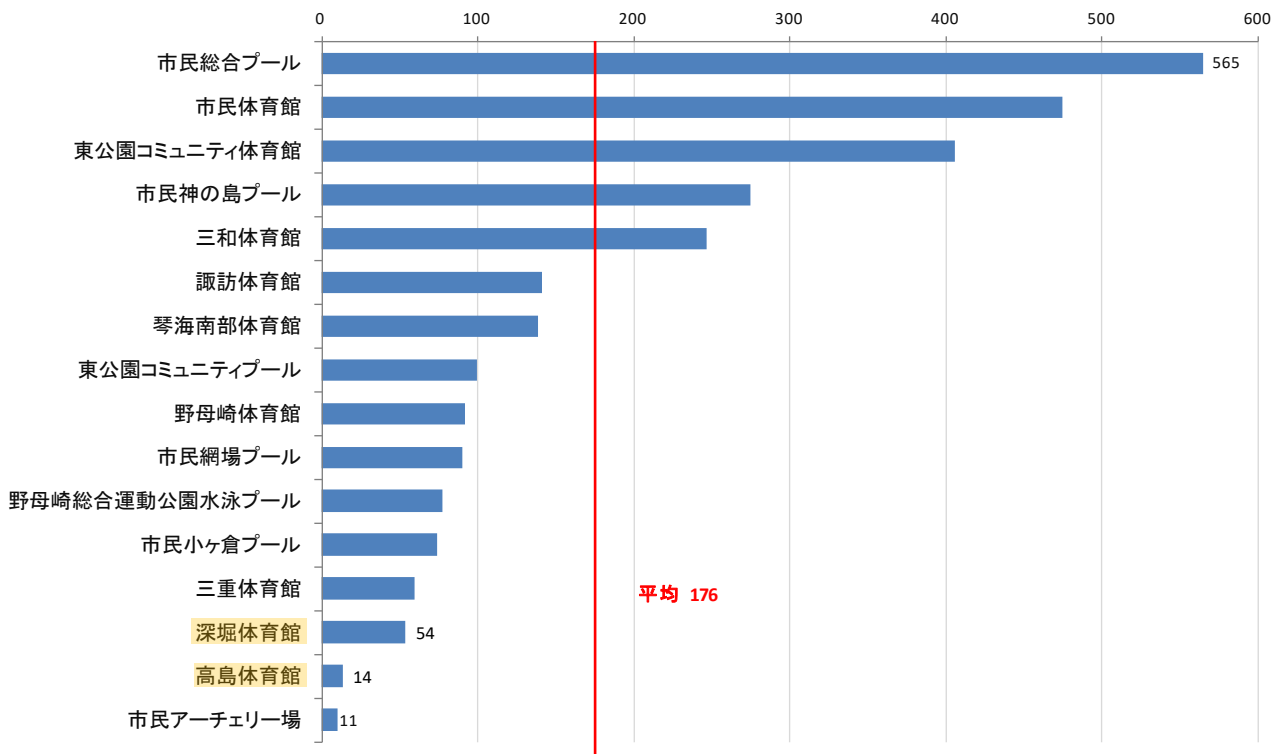
- 深堀体育館は、現在の施設を引き続き適正に管理していきますが、将来、大規模改修や建替えで多額の費用が必要となる場合には、その時点の利用状況も考慮しながら、施設のあり方を見直します。また、通常、スポーツで体育館を利用する場合は、冷暖房は使用しないため、冷暖房設備はありませんが、地域の行事として、敬老会などで多目的に利用している実態もあるため、どのような対応ができるのか、手法を検討していきます。
- 深堀地区老人デイサービスセンター退去後の余剰スペースの活用については、市民対話で出されたご意見を参考にしながら、有効な活用方法を検討していきます。なお、市民対話では、子育て支援センターをはじめ、様々な活用についてのご意見がありました。すでに設置済みの地区を含め、市内16地区に子育て支援センターを設置する予定ですが、伊王島・香焼・深堀地区は子育て支援センターの未設置地区であるため、この場所も候補の1つとして、地域の皆さんのご意見も伺いながら、設置場所の検討を行います。

ウ ロードマップ

施設名称	前期	後期	次期計画	備考
	～2022	2023～2029	2030以降～	
深堀体育館				適正管理を行う デイサービスセンター の貸付終了後の活用を 検討する

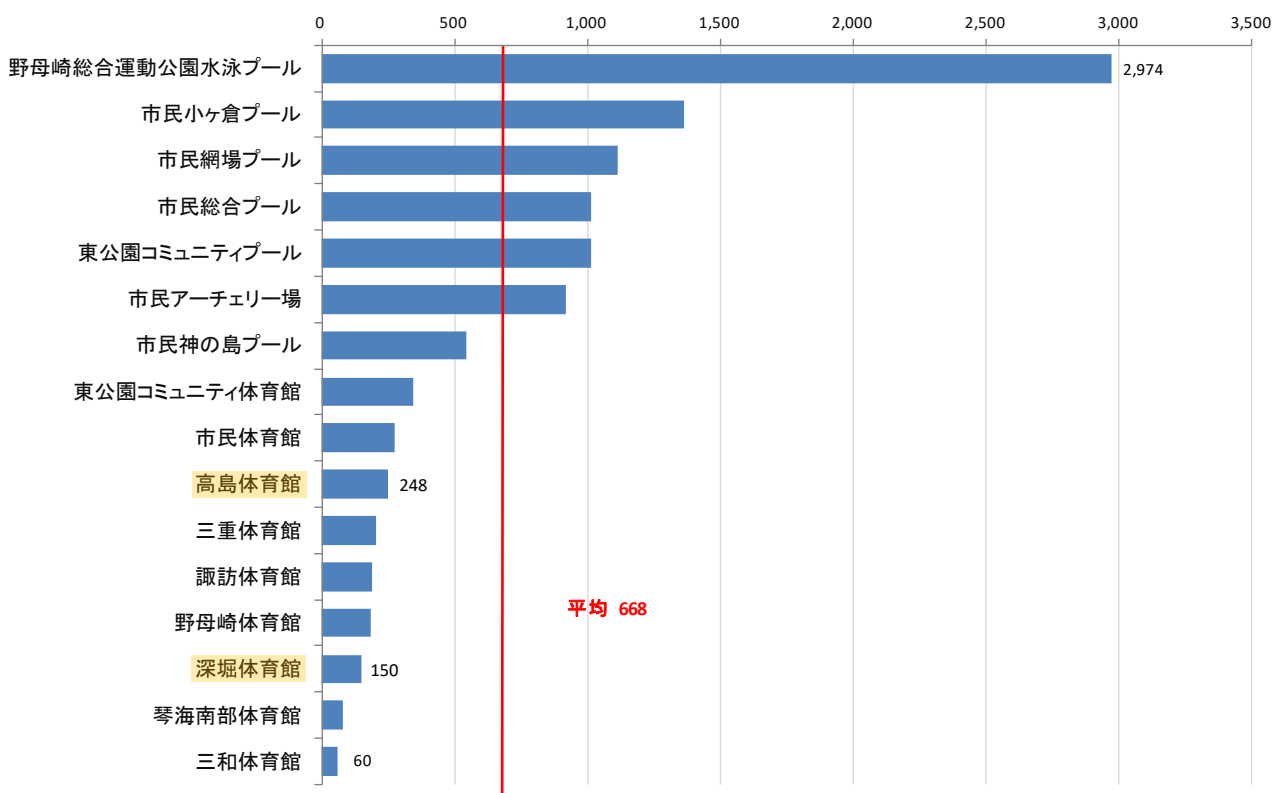
スポーツ施設の営業1日当たりの利用者数(H29年度実績)

(単位:人)



スポーツ施設の利用者1人当たりのコスト(H29年度実績)

(単位:円)

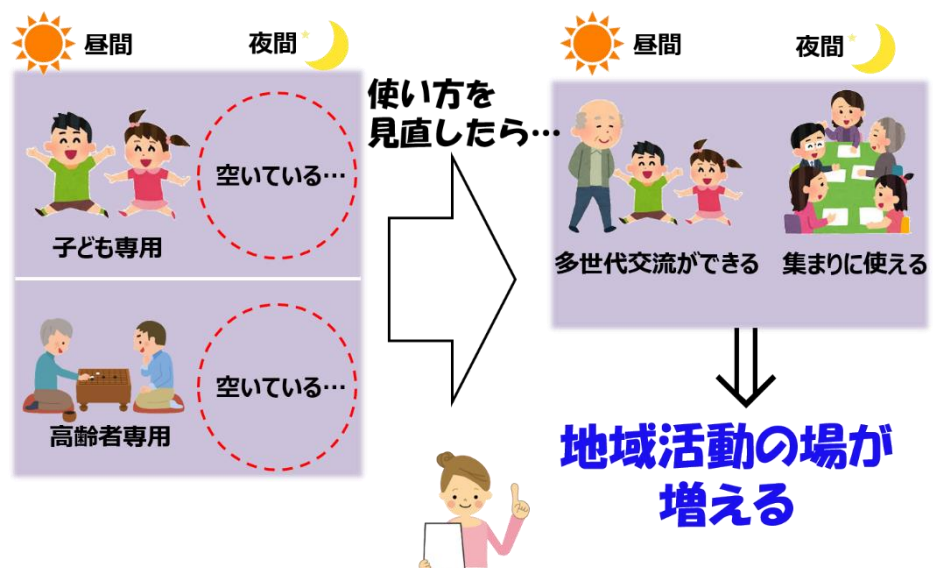


⑥コミュニティ活動施設(高島ふれあいセンター、深堀地区ふれあいセンター、香焼公民館、老人憩の家香焼ひまわり、伊王島開発総合センター、ヴィラ・オリンピカ伊王島)

コミュニティ活動
施設の施設配置の
基本的な考え方

人口減少、少子高齢化が進むなかで、地域住民がふれあい、共に助け合うことで地域の中で心地よく暮らせるような、住みよい地域社会づくりを目指しており、そのためには、住民が気軽に立ち寄れ、地域活動などが行える地域コミュニティの活動の場(「居場所」・「話し合いの場」・「活動の場」・「生涯学習の場」)が必要です。

今後は、ふれあいセンターや地区公民館など、地域の身近な施設に加え、特定年齢層を利用対象とした施設(老人憩の家等や児童厚生施設等)も、将来的に、多世代が利用できる施設へ利用方法や機能を見直し、身近な場所で、地域の子どもから高齢者までの多世代が活動する場を維持していきます。



施設の大規模改修又は建替え時期には、コミュニティの形成状況、人口動態、利用状況及び同地区内にある市の既存施設の状況なども考慮しながら、施設の廃止や施設規模及び機能の見直しを検討します。

(1) 小学校区に配置する施設

コミュニティ活動の場の配置については、市民に最も身近な場所でサービスを提供することができる範囲である、概ね小学校区へ配置します。

(2) 中学校区に配置する施設(兼小学校区施設)

多数の人数が見込まれる等の活動や行事のため、小学校区にある施設よりも広いスペースや特定の設備を備えた施設については、概ね中学校区での配置とします。中学校区に配置する施設は、小学校区に配置する施設を兼ねることとします。

なお、中学校区に配置する施設の標準規模は、延べ床面積 600 ㎡程度とし、集会室、会議室、調理室、図書室などの機能を有する施設を基本として配置することとします。

(3) 広域的利用として配置する施設（兼中学校区施設）

中学校区を超えた大規模な催しや講座等が可能な施設として、中学校区にある施設よりも広いスペースやホールなど特定の設備を備えた施設については、都市計画マスタープランにおける地域拠点または交通の便の良い場所に3か所配置します。広域的利用として配置する施設は、中学校区に配置する施設を兼ねることとします。

(4) 全市的利用として配置する施設（兼広域的施設、兼中学校区施設）

広域的利用として活用する施設と同様に大規模な催しや講座等が可能な施設として、広いスペースやホールなど特定の設備を備えた中央公民館及び北公民館を交通の便利のよい都心部及び都心周辺部に配置します。

ア 現状及び課題

高島ふれあいセンター



【建築年】1997 年

【開館時間】9：00～21：00

【休館日】土日祝日、年末年始

【年間利用者数】4,760 人

【1日当たりの利用者数】24 人 ※利用者数は平成 29 年度実績

【概要】

- 主に地域の行事・会議・グループによる講座等の活動や、行政の催しに使用されています。
- この建物には、高島地域センターが併設されています。

【現状及び課題】

- 中学校区に配置が可能な規模を有しています。
- 多目的トイレが設置されていません。

深堀地区ふれあいセンター



【建築年】1980 年

【開館時間】9 : 00～17 : 00

【休館日】月曜日、祝日、年末年始

【年間利用者数】10,983 人

【1 日当たりの利用者数】38 人 ※利用者数は平成 29 年度実績

【概要】

- 主に地域の行事・会議・グループによる講座等の活動や、行政の催しに使用されています。
- この建物には、深堀地域センターが併設されています。

【現状及び課題】

- 中学校区に配置が可能な規模を有しています。
- 大通りから入った細い道路に面しており、車でのアクセスがやや不便です。
- 建築後 39 年を経過しており、老朽化が進行しています。
- 市民対話では、「もっと便利にして、さらに利用してもらえるようにアピールすることが大事である。」という意見が出されました。

香焼公民館（2023 年 3 月_別館のみ用途廃止済）



本館



別館

【建築年】1983 年（本館）、1987 年（別館）

【開館時間】9 : 00～22 : 00

【休館日】月曜日、祝日、年末年始

【年間利用者数】15,291 人

【1 日当たりの利用者数】52 人 ※利用者数は平成 29 年度実績

【概要】

- 主に地域の行事や集会・学習グループの活動などで使用されています。

【現状及び課題】

- 中学校区に配置が可能な規模を有しています。
- 本館は建築後 36 年、別館は建築後 31 年を経過しており、老朽化が進行しています。
- エレベーターが設置されていません。
- 別館については、ほとんど利用されていないことから、新たな活用策を検討する必要があります。

- 香焼小学校区内に同じような使い方（地域の集まりや趣味教室など）ができる施設（老人憩の家香焼ひまわり）があります。
- 市民対話では、
「空いている部屋が多く、別館もあるので、利用率を上げる見直しをした方がいい。」
また、別館の活用について、
「現在の会議室は広すぎるので、声が響いて聞きづらい。事務室などの小さい部屋を会議室として使ってはどうか。」
「駐車場が広く利用しやすいので、地域コミュニティの場として使ってはどうか。」
「子育て支援センターを設置する。」
「トレーニングジム・高齢者向けの運動などができる場所にする。」
「認知症カフェやエイサーなどの活動は継続させてもらいたい。」
「今、外国人労働者が結構いるので、ボランティアで日本語を教えたり、文化を教えたりできる外国人交流センターにしてはどうか。」
という意見が出されました。

老人憩の家 香焼ひまわり



【建築年】1997 年

【開館時間】10：00～16：30

【休館日】日祝日、年末年始

【年間利用者数】13,758 人

【1 日当たりの利用者数】46 人 ※利用者数は平成 29 年度実績

【概要】

- 老人憩の家は、高齢者の方が入浴を行ったり、談話やグループ活動、サークル活動などを通して健康の増進を図るための施設です。
- 60 歳以上の方が利用できます（60 歳未満の方も必要があると認める場合は、利用することができます）。

【現状及び課題】

- 香焼小学校区内に同じような使い方（地域の集まりや趣味教室など）ができる施設（香焼公民館）があります。
- 市民対話では、
「ご年配の方々をはじめ、若い方に至るまで、使用率が非常によく、地域の方も大変助かっている。」
「増築した建物で、元々の古い部分は建ってから 40 年くらいになると思う。そのためなのかはわからないが、雨漏りがするので、その点が少し残念である。」
という意見が出されました。

伊王島開発総合センター



【建築年】1980 年

【開館時間】9 : 00～21 : 00

【休館日】月曜日、年末年始、8月15日～16日

【年間利用者数】4,654 人

【1日当たりの利用者数】16 人 ※利用者数は平成 29 年度実績

【概要】

- 伊王島における産業及び社会教育の振興、保健福祉の増進並びにコミュニティ活動の推進を図るための施設です。
- 主に集会・会議、並びに公民館講座や各種行事・文化協会活動の会場として使用されています。
- ふるさと資料室では、伊王島炭鉱の歴史を継承するため、炭鉱に関する資料や島の生活道具を展示しています。

【現状及び課題】

- 中学校区に配置が可能な規模を有しています。
- 建築後 38 年を経過しており、老朽化が進行しています。
- 多目的トイレやエレベーターが設置されていません。
- 伊王島小学校区内に同じような使い方（地域の集まりや趣味教室など）ができる施設（ヴィラ・オリンピカ伊王島）があります。
- 市民対話では、「伊王島開発総合センターをバリアフリー化して、使いやすくしてほしい。しかし、そこにお金をかけるより、ヴィラ・オリンピカ伊王島を地域コミュニティの場とした方が使いやすい。」という意見が出されました。

ヴィラ・オリンピカ伊王島（2022 年 3 月_用途廃止及び売却済）



【建築年】1993 年

【開館時間】10 : 00～18 : 30（4～10 月）

10 : 00～18 : 00（11～3 月）

【休館日】月曜日、年末年始

【年間利用者数】9,228 人

【1日当たりの利用者数】30 人 ※利用者数は平成 29 年度実績

【概要】

- 多目的ホール、フィットネスルーム、図書室の複合施設で、住民の皆さん及び観光客の皆さんに使用されています。

【現状及び課題】

- 中学校区に配置が可能な規模を有しています。
- 多目的ホールは、バドミントン・卓球などの軽スポーツなどで使用されています。
- フィットネスルームには、トレーニング機器が設置されており、利用者がトレーニングを行っています。
- 伊王島小学校区内に同じような使い方（地域の集まりや趣味教室など）ができる施設（伊王島開発総合センター）があります。
- 市民対話では、
「現在は、地域で使う場合でも有料なので、地域コミュニティ活動の場としては使いにくい。」
「伊王島開発総合センターをバリアフリー化して、使いやすくしてほしい。しかし、そこに金をかけるより、ヴィラ・オリンピカ伊王島を地域コミュニティの場とした方が使いやすい。」
という意見が出されました。

イ 施設のあり方や見直しの方向性

高島・伊王島・深堀・香焼地区には4つの小学校区があり、それぞれの小学校区ごとに、コミュニティ活動に使える場所が必要と考えます。

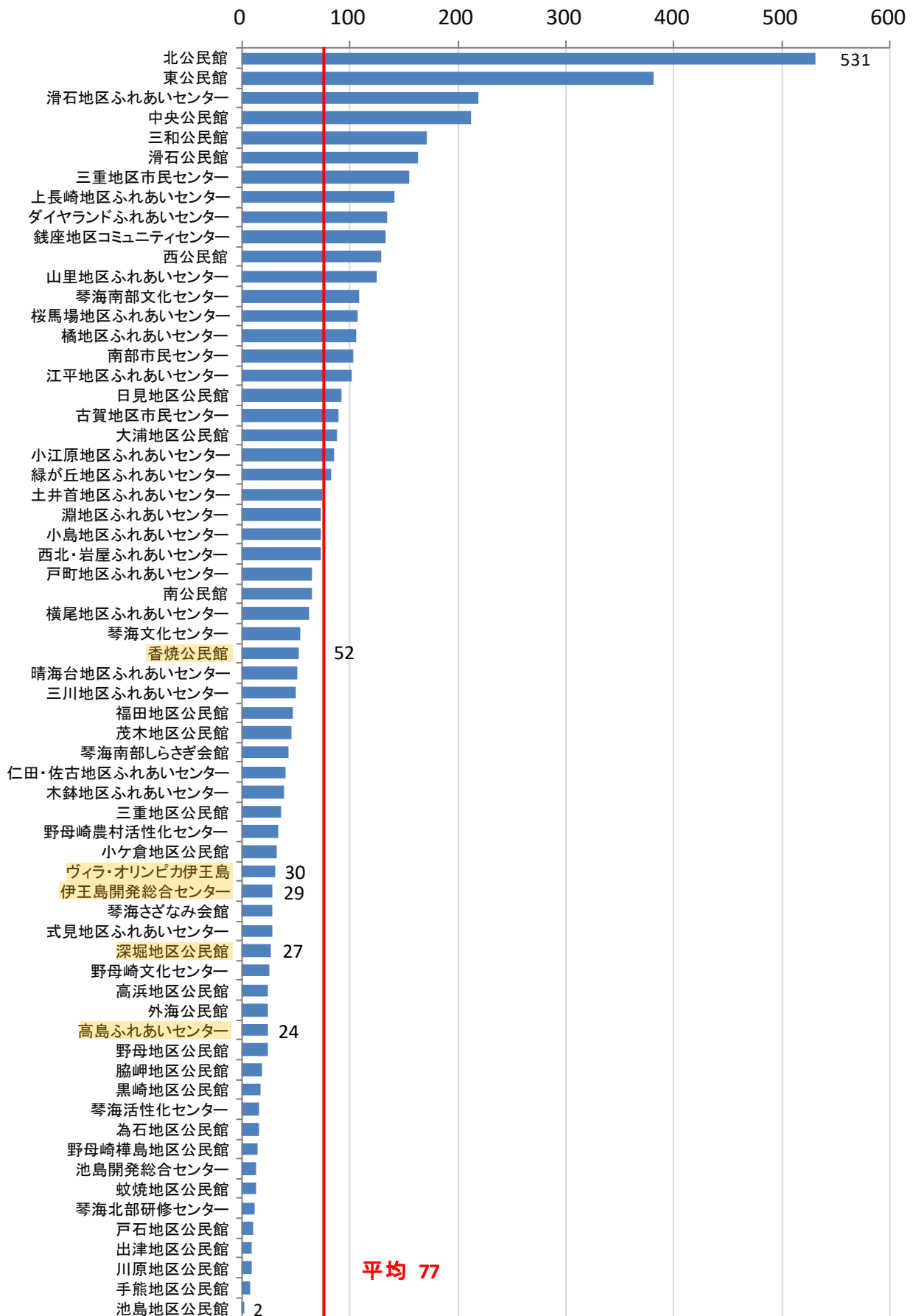
- 高島小学校区にある高島ふれあいセンターは、地域の皆さんのコミュニティ活動に利用できる施設として、現在の施設を引き続き適正に管理していきます。なお、一体の建物となっている高島地域センターとあわせて、市民対話で出されたご意見を参考にしながら、他の施設の機能の集約化も含めて検討します。
- 深堀小学校区にある深堀地区ふれあいセンターは、地域の皆さんのコミュニティ活動に利用できる施設として、現在の施設を引き続き適正に管理していきますが、将来的には、現在地の近くに配置されている公共施設を含めた再編整備についても検討していくこととします。
- 香焼小学校区には、香焼公民館と老人憩の家香焼ひまわりの2つの施設があります。香焼公民館については、地域の皆さんのコミュニティ活動に利用できる施設として、現在の施設を引き続き適正に管理していきます。しかし、別館については、ほとんど利用されていないことから、新たな活用策を検討する必要があります。また、老人憩の家香焼ひまわりについては、施設の老朽化や利用の状況を見ながら、将来は高齢者の方だけではなく、地域の皆さんが使いやすい施設へと使い方を見直していきます。
- 伊王島小学校区には伊王島開発総合センターがありますが、隣接する伊王島地域センターの空きスペースの活用及び施設利用者の利便性の向上を図るため、最適な方法で伊王島地域センターのバリアフリー化（エレベーターの設置等）を実施することを前提に、伊王島開発総合センターの機能を伊王島地域センターへ移転し、機能移転後に伊王島開発総合センターは用途を廃止します。

ウ ロードマップ

施設名称	前期	後期	次期計画	備考
	～2022	2023～2029	2030以降～	
高島ふれあいセンター				適正管理を行う 活用を検討する
深堀地区ふれあいセンター				適正管理を行うとともに、将来的に周辺施設との再編整備を検討する
香焼公民館				適正管理を行う 別館の活用を検討する
老人憩の家 香焼ひまわり				高齢者専用施設としての使い方を見直し、施設のあり方を検討する
伊王島開発総合センター				伊王島地域センターへ機能を移転し、用途を廃止する
ヴィラ・オリムピカ伊王島				図書機能を近隣施設へ移設したうえで、売却等の有効活用を図る

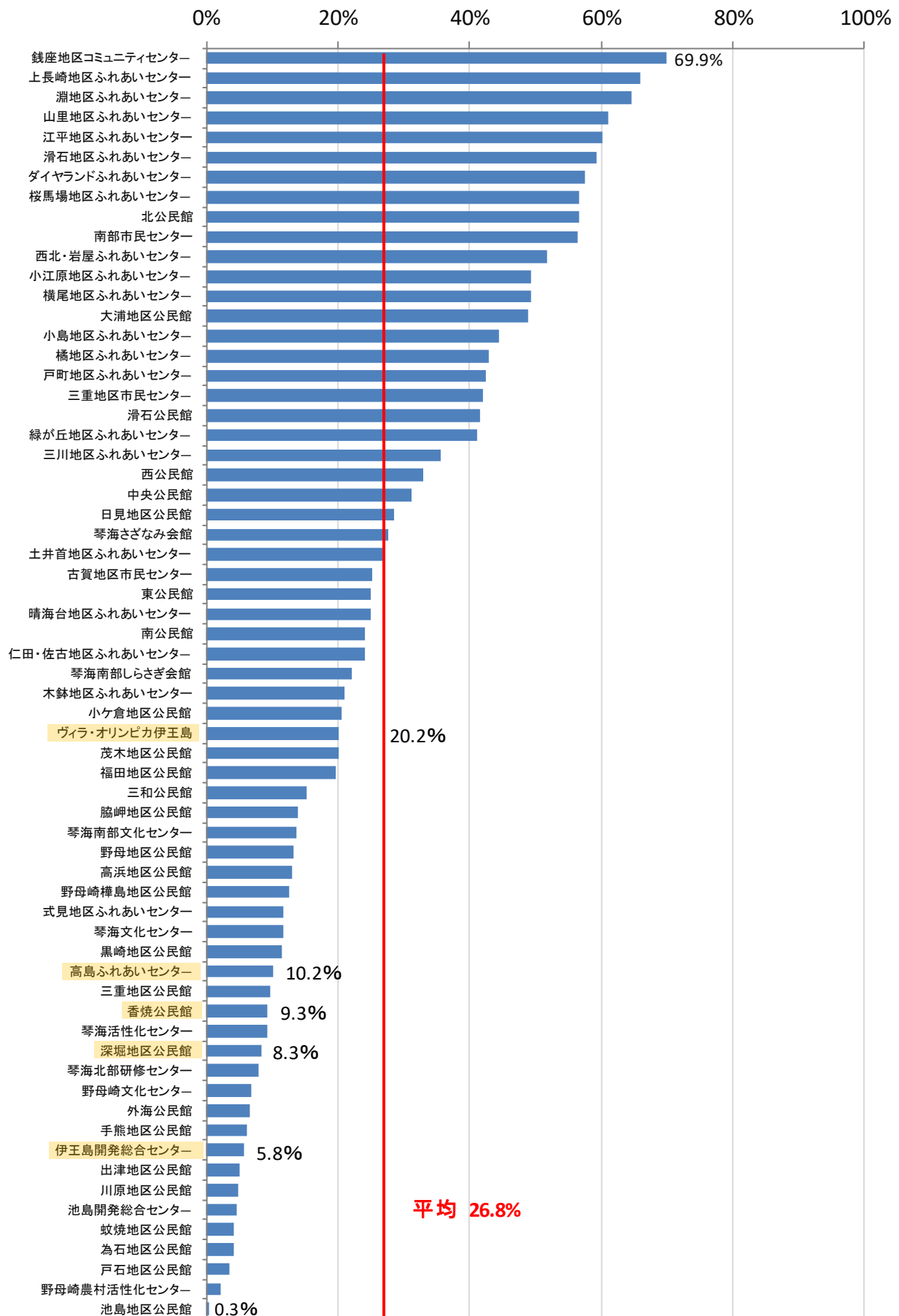
コミュニティ活動施設の開館1日当たりの利用者数(H29年度実績)

(単位:人)



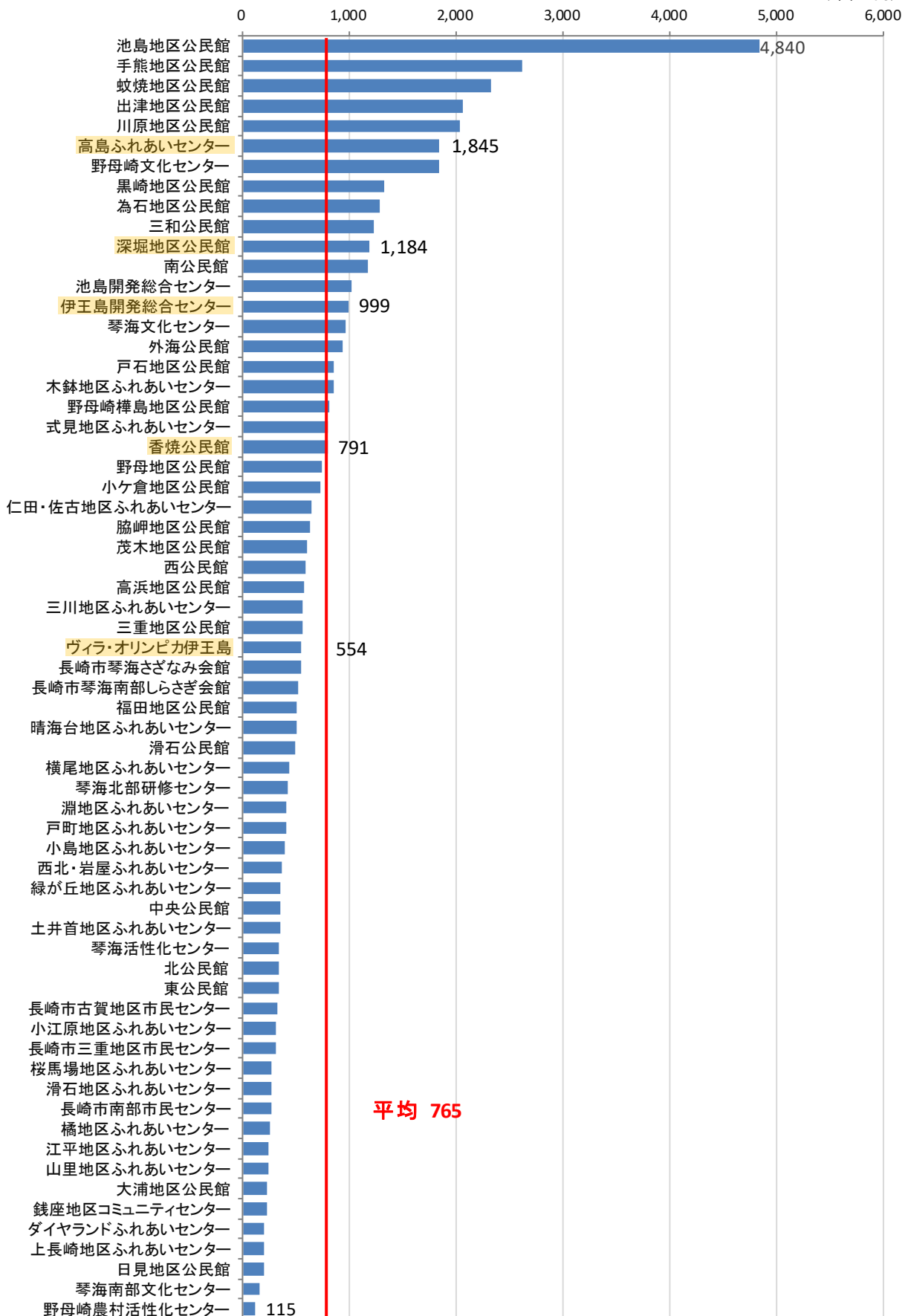
コミュニティ活動施設の貸室の稼働率(H29年度実績)

(単位: %)



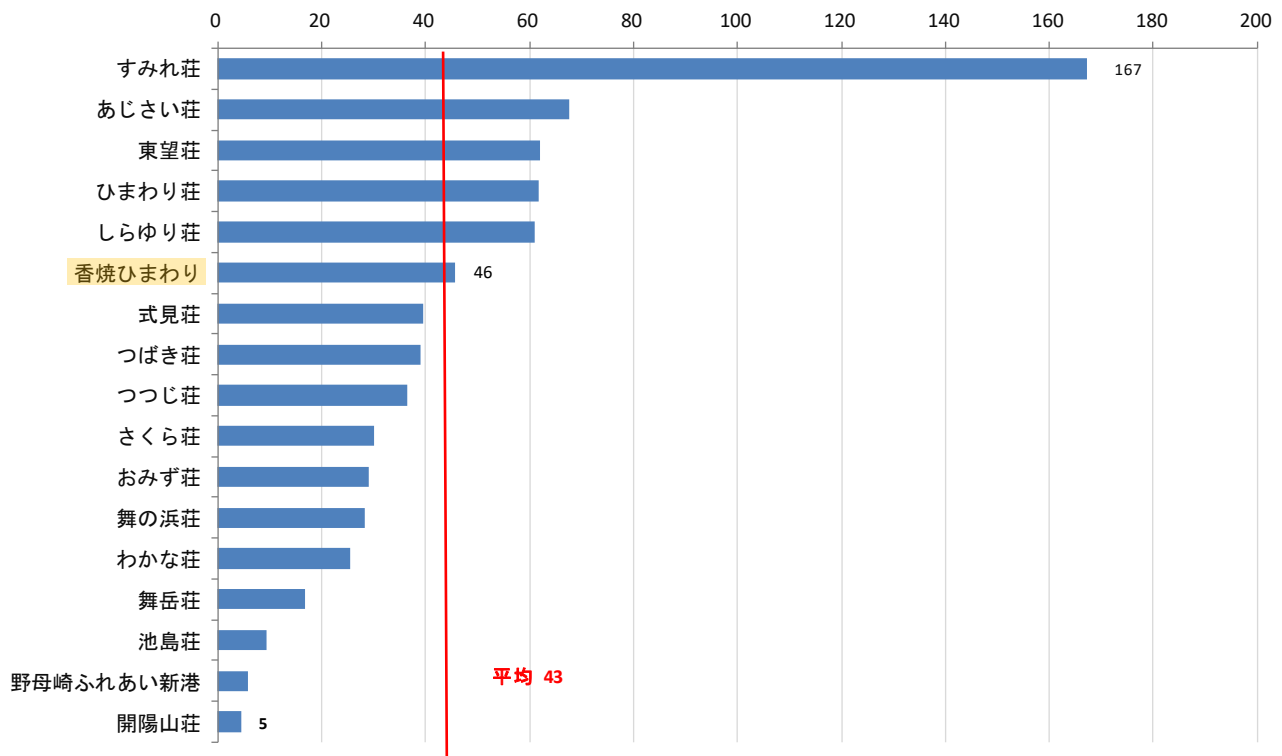
コミュニティ活動施設の利用者1人当たりのコスト(H29年度実績)

(単位: 円)



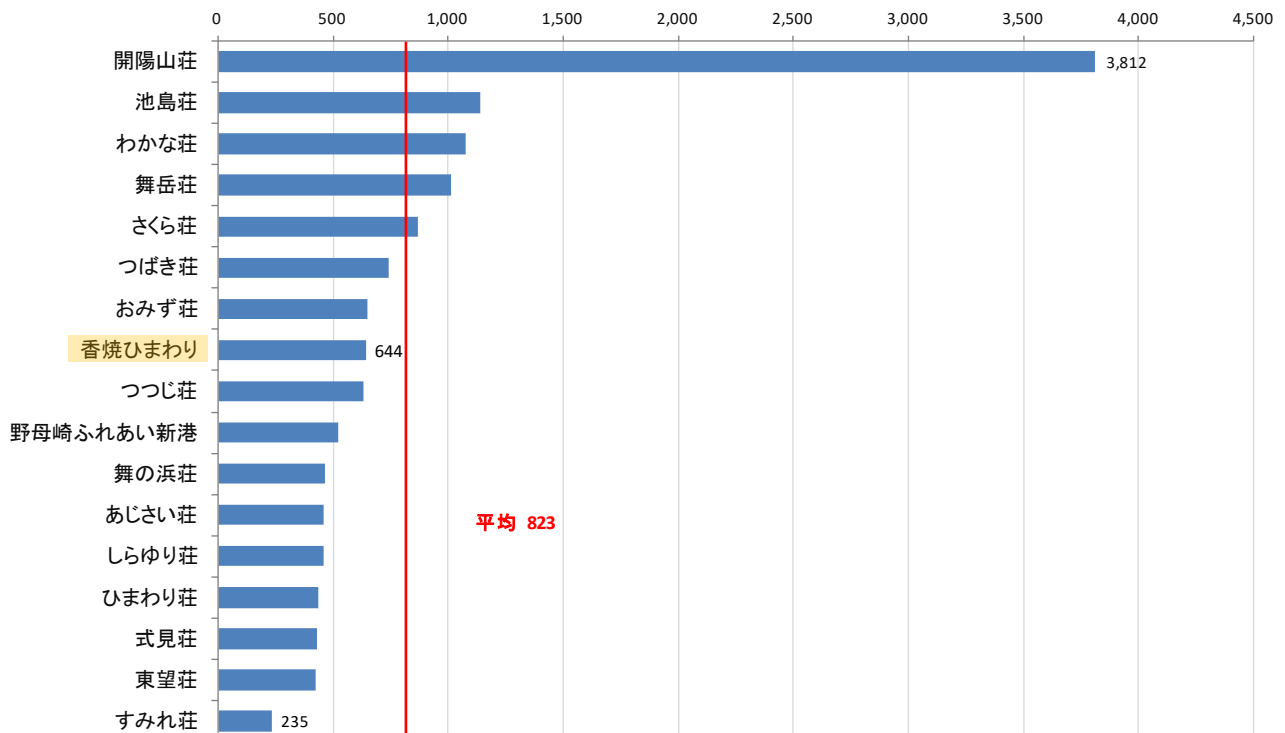
老人憩の家等の開館1日当たりの利用者数(H29年度実績)

(単位:人)



老人憩の家等の利用者1人当たりのコスト(H29年度実績)

(単位:円)



⑦学校（高島小学校、伊王島小学校、香焼小学校、深堀小学校、高島中学校、伊王島中学校、香焼中学校、深堀中学校）

学校の施設配置 の基本的な考え方

学校は、児童生徒が確かな学力を身に付け、集団の中で社会性を育んでいく役割を担っています。また、学校行事や部活動などを通して人間性、協調性を育む場でもあります。

子どもたちは集団生活の中で学習することによって、知的にも社会的にも成長するため、一定の学校規模を確保する必要があります。

長崎市の小中学校の児童生徒数は、昭和 30 年代のピーク時と比較し、約 7 割減少していますが、その一方で、学校の数は大きく変わっておらず、多くの学校で小規模化が進んでいます。

このような中、子どもたちが集団生活の中で活気に満ちた活動ができるような学校規模を確保するため、「望ましい学校規模」として、小学校にあつては、人間関係の固定化を防ぎ、集団の中で多様な考え方にふれ、切磋琢磨できるよう、クラス替えができる 12 から 18 学級としています。

中学校では、これらに加え、全教科に教員配置ができることや、部活動の十分な選択ができることなどの理由により、9 から 18 学級とし、小中学校の規模の適正化と適正配置に取り組みます。

また、児童生徒の通学については、原則徒歩通学としますが、バス等の交通機関の利用を認める場合は小学校においては通学距離 2 km 以上、中学校においては 3 km 以上の際に通学費の一定額を補助しており（小学校で 4 km 以上、中学校で 6 km 以上の場合は全額補助）、自宅から学校までバス等の交通機関の利用を含めて概ね 1 時間以内の範囲で適正配置を行います。

ア 現状及び課題

※児童生徒数は、平成 30 年 5 月 1 日現在

高島小学校		伊王島小学校	
	【建築年】 1961 年 【児童数】 10 人 【概要】 ● 高島中学校と併設しています。		【建築年】 1964 年 【児童数】 17 人 【概要】 ● 平成 31 年 4 月に伊王島中学校へ移転しました。
香焼小学校		深堀小学校	
	【建築年】 1973 年 【児童数】 168 人		【建築年】 1967 年 【児童数】 215 人

高島中学校		伊王島中学校	
	【建築年】 1961 年 【生徒数】 4 人 【概要】 ● 高島小学校と併設しています。		【建築年】 1964 年 【生徒数】 9 人 【概要】 ● 平成 31 年 4 月から伊王島小学校と併設しています。
香焼中学校		深堀中学校	
	【建築年】 1963 年 【生徒数】 85 人		【建築年】 1972 年 【生徒数】 121 人

共通

【現状及び課題】

- 建築後 50 年を超える学校も多く、施設の老朽化が進行しています。
- 市民対話では、
「どこの小学校も老朽化が進んでいて、床などがデコボコなので、見直していく必要がある。」
「伊王島小学校が中学校へ移転した後、小学校の跡地をバスの巡回所にすれば、バスの便が増えるのではないか。」
という意見が出されました。

イ 施設のあり方や見直しの方向性

「長崎市立小学校・中学校における規模の適正化と適正配置の基本方針」に基づく「学校規模の適正化と適正配置にかかる実施計画（案）」において、伊王島小学校、香焼小学校、深堀小学校、及び伊王島中学校、香焼中学校、深堀中学校が規模の適正化が必要な学校として位置付けられています。

今後とも、児童生徒数の推移を注視しながら、施設については、適正な維持管理に努めます。また、老朽化した学校施設については、計画的に改修、建替えを行います。

- 高島小学校、高島中学校については、当分の間、学校を存続することとし、現在の施設を適正に管理していきます。
- 伊王島小学校の校舎は、耐震性がないため、中学校への移転後に解体予定です。解体後の小学校の用地については、当面の間、学校の敷地として保有し、一体的に管理します。

ウ ロードマップ

施設名称	前期	後期	次期計画	備考
	～2022	2023～2029	2030以降～	
高島小学校				適正管理を行う
伊王島小学校				学校規模の適正化と適正配置の協議を行う
香焼小学校				
深堀小学校				
高島中学校				適正管理を行う
伊王島中学校				学校規模の適正化と適正配置の協議を行う
香焼中学校				
深堀中学校				

⑧保育所・幼稚園（高島幼稚園）

保育所・幼稚園の施設配置の基本的な考え方	就労などの理由により、保護者に代わって保育を行う「保育サービス」及び、幼児期における教育を行う「幼児教育サービス」は、人口減少や社会情勢の変化にあっても、安心して子どもを生み育て、地域や社会に見守られながら、子どもたちが健やかに育つ環境を整えるうえでは必要です。 「官から民へ」の流れの中で、行政が果たすべき役割を見極め、民間に事業を委ねることが可能なものについては民間活力を活用しますが、行政においては、「公的幼児教育・保育の確保」（セーフティネット機能）という役割を担う必要があることや、教育・保育への行政による一定の関与を確保する観点から、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ市立の認定こども園が必要です。 配置については、全市的なエリアを対象として、交通の利便性を勘案し、市内中心部に1か所配置します。 また、高島地区においては、民間での幼児教育と保育の機能確保が困難であるため、保育需要を見極めながら、島内に1か所の市立認定こども園を配置することを検討します。
-----------------------------	--

ア 現状及び課題

高島幼稚園



【建築年】1975年

【開園時間】8:00～12:00（預かり保育は 12:00～17:00）

【休業日】 土日祝日、保育年始め休業日（4月1日～5日）、
夏季休業日（7月21日～8月31日）、冬季休業日
（12月25日～翌年1月7日）、保育年末休業日
（3月21日～31日）

【年間利用者数】延72人 ※利用者数は平成29年度実績

【入所率】15.0%

【概要】

- 就学前の児童に保育、教育を提供するために設置されています。

【現状及び課題】

- 建築後44年を経過しており、老朽化が進行しています。
- 市民対話では、
「津波等の安全上の問題を考えて、幼稚園は小中学校へ移転してはどうか。」
「現在の場所だと不審者の心配があるので、地域センターの建物に移転して、空いた幼稚園の建物を改修して合宿施設にしてはどうか。」
という意見が出されました。

イ 施設のあり方や見直しの方向性

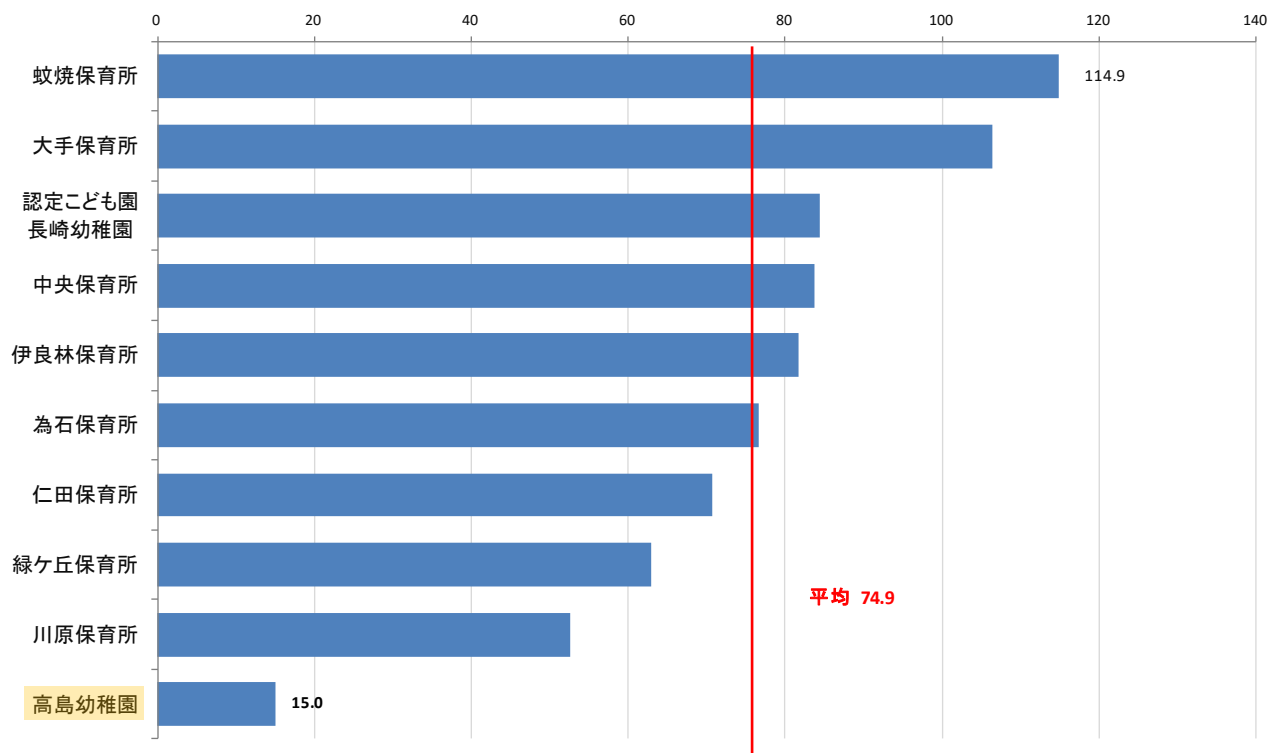
高島地区においては、民間での機能確保は採算性の面から困難であるため、島内の需要を見極めながら、時期や配置場所を含め、将来的には高島幼稚園を保育と幼児教育の機能を併せ持つ認定こども園化することを検討します。

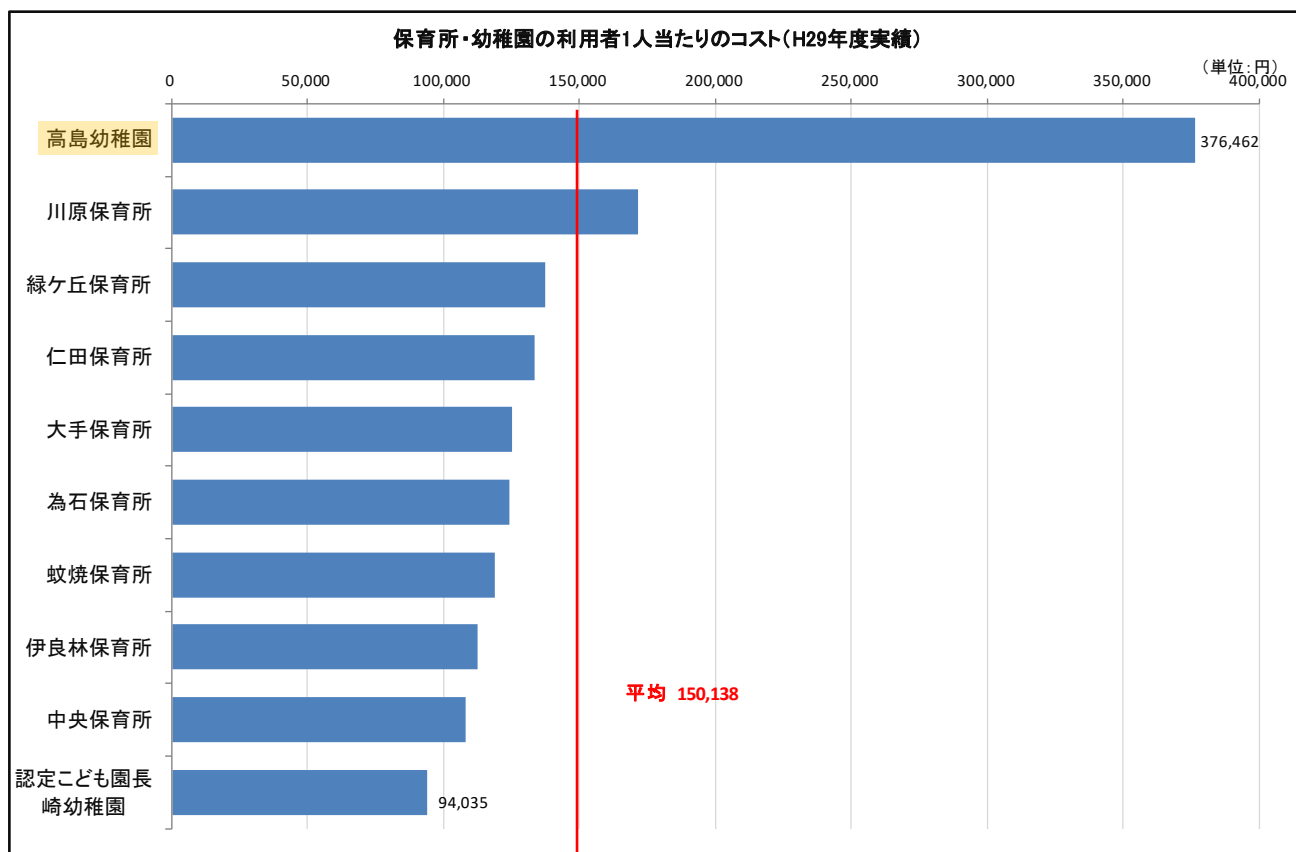
ウ ロードマップ

施設名称	前期	後期	次期計画	備考
	～2022	2023～2029	2030以降～	
高島幼稚園	→			認定こども園化を検討する

保育所・幼稚園の入所率(H29年度実績)

(単位: %)





⑨放課後児童クラブ（ちびっ子ハウス、香焼学童きらりキッズ）

放課後児童クラブ の施設配置の 基本的な考え方	子どもたちの放課後等における安全・安心な居場所の確保を図るために、小学校区ごとに放課後児童クラブを設置します。 児童数は、ほとんどの小学校において減少が見込まれるものの、保護者が安心して働けるよう、子どもたちの放課後等において、適切な遊びや生活ができる場所を提供する必要があるため、基本的には、小学校区ごとに利用見込みに応じた放課後児童クラブを配置することとしています。 放課後児童クラブの子どもの集団の規模は、放課後児童クラブ運営指針に基づき、子どもが相互に関係性を構築し、1つの集団としてまとまりをもって共に生活し、放課後児童支援員が個々の子どもと信頼関係を築くことができる規模として、概ね40人以下とします。 放課後児童クラブの配置については、学校の統廃合と併せて、事業者に対し放課後児童クラブの運営の統合を働きかけていくとともに、1つの事業者が複数の放課後児童クラブの運営を行うよう、調整を図ります。 また、学校の統廃合にかかわらず規模が小さい放課後児童クラブが生じる場合は、子どもたちの環境面や、クラブの運営面における影響を考慮し、特に利用児童数が10人以下の小規模の放課後児童クラブについては、適正な規模となるよう統合を図っていきます。 その際、放課後児童クラブが未設置校区となる児童については、既存の送迎支援に係る補助制度の利用を図りながら、安全面の確保を行っていきます。 新たな施設整備や施設の更新が必要となる場合は、事業者による施設整備を支援することで、子どもたちの放課後等における居場所の確保を図ります。
-------------------------------	---

ア 現状及び課題

ちびっ子ハウス	
	【建築年】1967 年 【月平均登録者数】50 人 ※利用者数は平成 29 年度実績 【概要】 ● 深堀小学校の転用可能教室を活用し設置されています。
【現状及び課題】 ● 運営にあたっては、学校側との管理区分を明確にし、安全性を確保する必要があります。 ● 建築後 52 年を経過しており、老朽化が進行しています。	

香焼学童きらりキッズ



【建築年】1975 年

【月平均登録者数】44 人 ※利用者数は平成 29 年度実績

【概要】

- 香焼保育所の敷地内に設置されています。

【現状及び課題】

- 運営にあたっては、管理区分を明確にし、安全性を確保する必要があります。
- 建築後 44 年を経過しており、老朽化が進行しています。

イ 施設のあり方や見直しの方向性

放課後児童クラブについては、今後も現在の施設を適正に管理していきますが、学校の適正配置が進んだ場合には、学校の統廃合と併せて、事業者に対し放課後児童クラブの運営の統合を働きかけていきます。

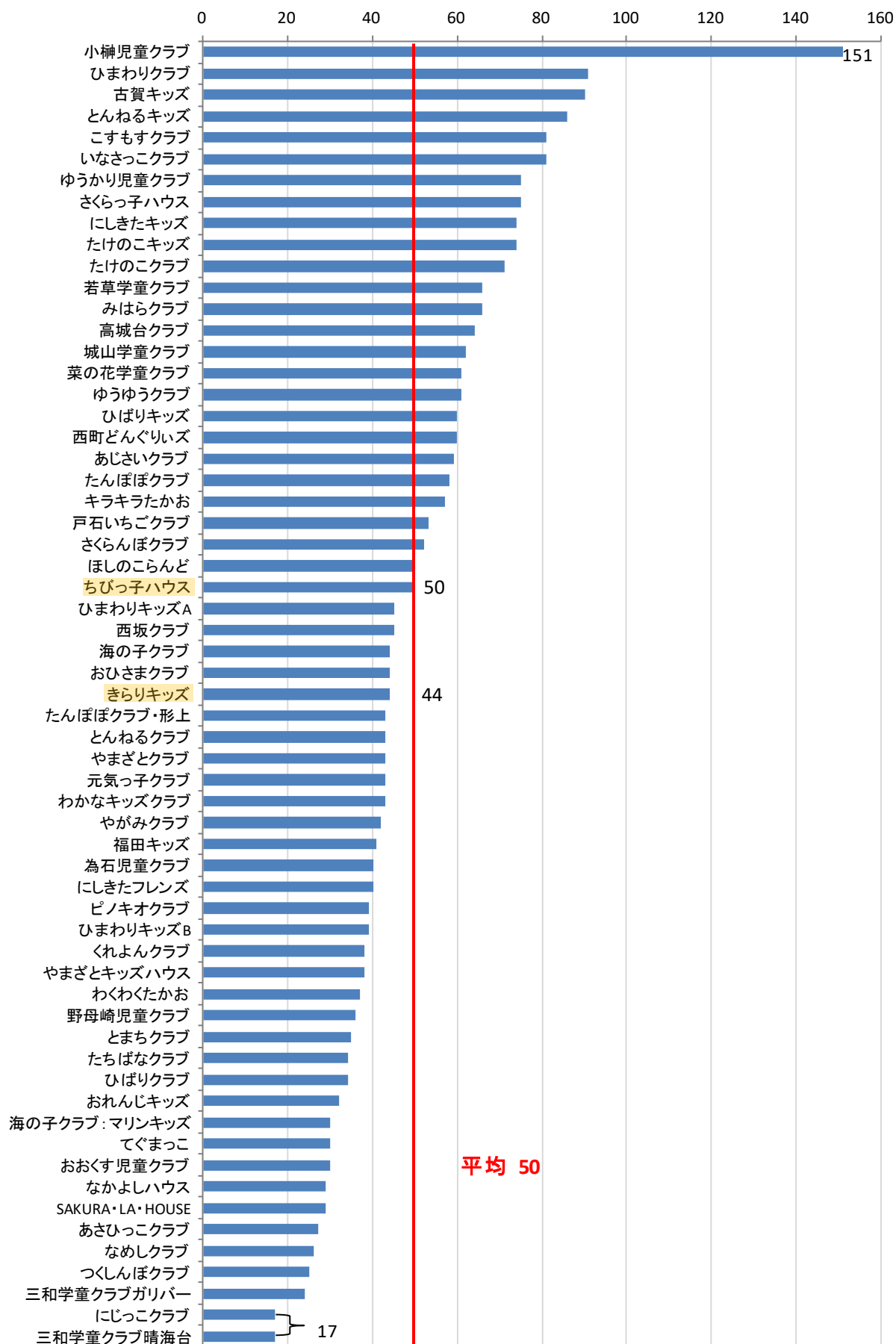
学校の転用可能教室に設置されている施設は、今後も学校側との管理区分を明確にし、安全性を確保しながら運営できるようにしていきます。

ウ ロードマップ

施設名称	前期	後期	次期計画	備考
	～2022	2023～2029	2030 以降～	
ちびっ子ハウス				適正管理を行うとともに、学校の適正配置に併せ、事業者にクラブの統合を働きかけていく
香焼学童きらりキッズ				

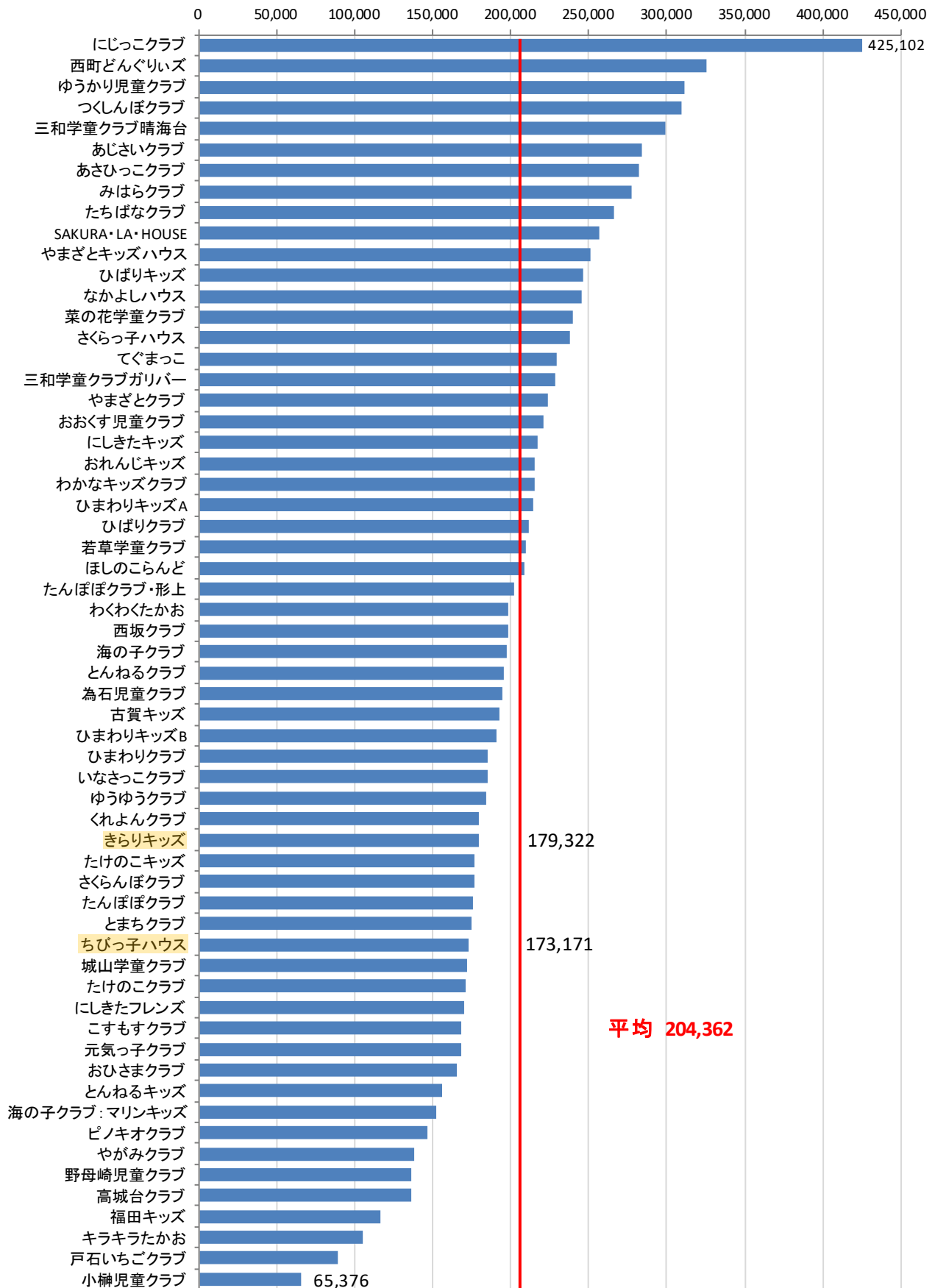
放課後児童クラブの施設別の月平均登録者数(H29年度実績)

(単位:人)



放課後児童クラブの月平均登録者1人当たりの年間コスト(H29年度実績)

(単位:円)



⑩保健施設（高島国民健康保険診療所、伊王島国民健康保険診療所）

保健施設の 施設配置の 基本的な考え方	保健施設では、医療の空白時間帯である夜間や年末年始の診療サービス及び離島やへき地など、民間による医療が不足している地域の診療サービスを行い、市民の健康を維持します。 診療所は、離島やへき地などの医療が不足している地域の診療サービスを行います。民間による代替も採算面から困難であるため、現行どおり、各1か所の配置とし、5か所（伊王島、高島、野母崎、池島、小口）とも配置しますが、他の施設との複合化や、患者数などの状況に応じて診療日数・運営方式の効率化を図っていきます。
------------------------------------	---

ア 現状及び課題

高島国民健康保険診療所	
	【建築年】1980年 【診療時間】8:30～17:00 【休診日】土日祝日、年末年始 【年間利用者数】2,369人 【1日当たりの利用者数】10人 ※利用者数は平成29年度実績 【概要】 ● 内科、歯科の診療科目を備え、地域医療の拠点となっています。 ● この建物は、高島国民健康保険診療所医師宿舎と併設しています。
【現状及び課題】 ● 建築後38年を経過しており、老朽化が進行しています。 ● 多目的トイレやエレベーターが設置されていません。 ● 医療関係者の人材確保が課題です。 ● 市民対話では、「将来的に診療所を高砂園に移転してはどうか。」という意見が出されました。	

伊王島国民健康保険診療所



【建築年】1987 年

【診療時間】

内科 9:00～12:00、13:00～17:00（月～金曜日）

歯科 9:40～12:00、13:00～17:00（金曜日）

【年間利用者数】7,388 人

【1日当たりの利用者数】31 人 ※利用者数は平成 29 年度実績

【概要】

- 内科、歯科の診療科目を備え、地域医療の拠点となっています。
- この建物には、伊王島国民健康保険診療所看護師宿舎が併設されています。

【現状及び課題】

- 建築後 32 年を経過し、老朽化が進行しています。
- 多目的トイレが設置されていません。
- 医療関係者の人材確保が課題です。
- 市民対話では、「伊王島診療所の駐車場が少ないので、伊王島ゲートボール場の敷地を診療所の駐車場にしてはどうか。」という意見が出されました。

イ 施設のあり方や見直しの方向性

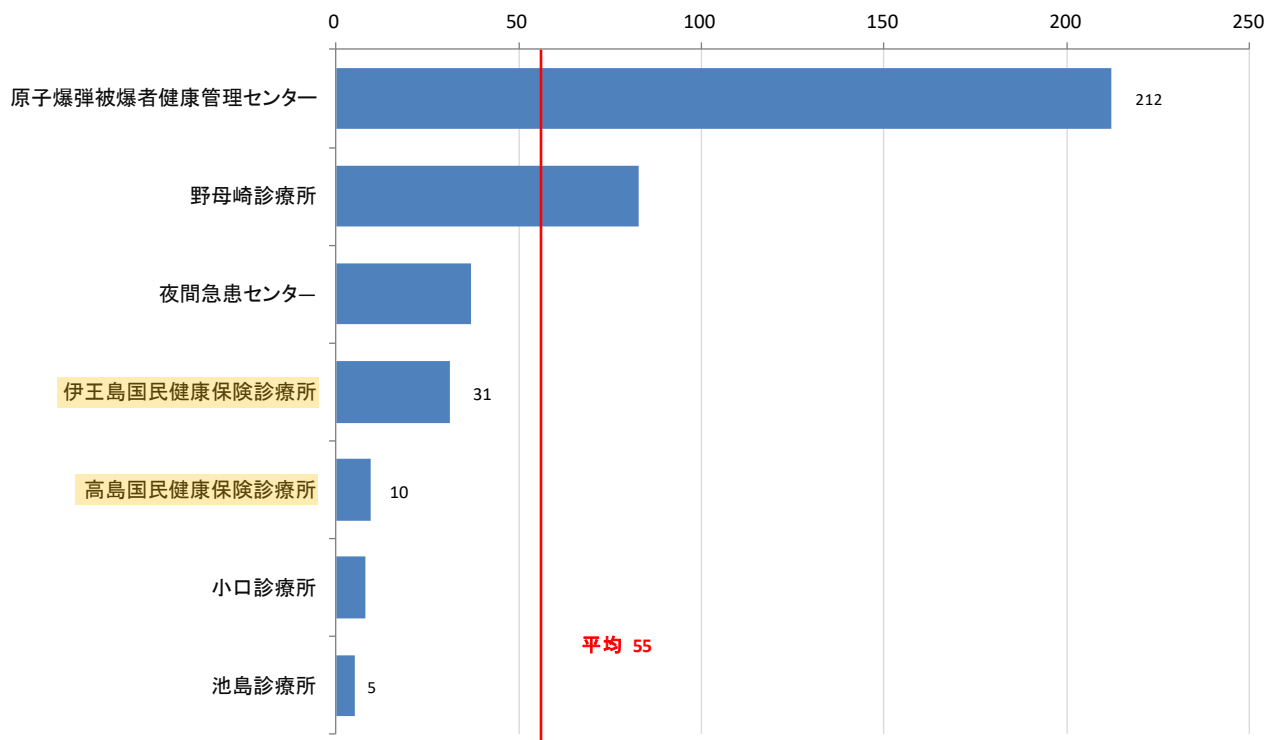
- 高島国民健康保険診療所については、地域医療の確保の観点から、現在の施設を引き続き適正に管理していきます。
- 伊王島国民健康保険診療所については、地域医療の確保の観点から、現在の施設を引き続き適正に管理していきます。なお、駐車場が少ないというご意見を踏まえ、利用状況等を勘案しながら、更なる環境整備が必要かどうか検討してまいります。

ウ ロードマップ

施設名称	前期	後期	次期計画	備考
	～2022	2023～2029	2030以降～	
高島国民健康保険診療所				適正管理を行う
伊王島国民健康保険診療所				適正管理を行う

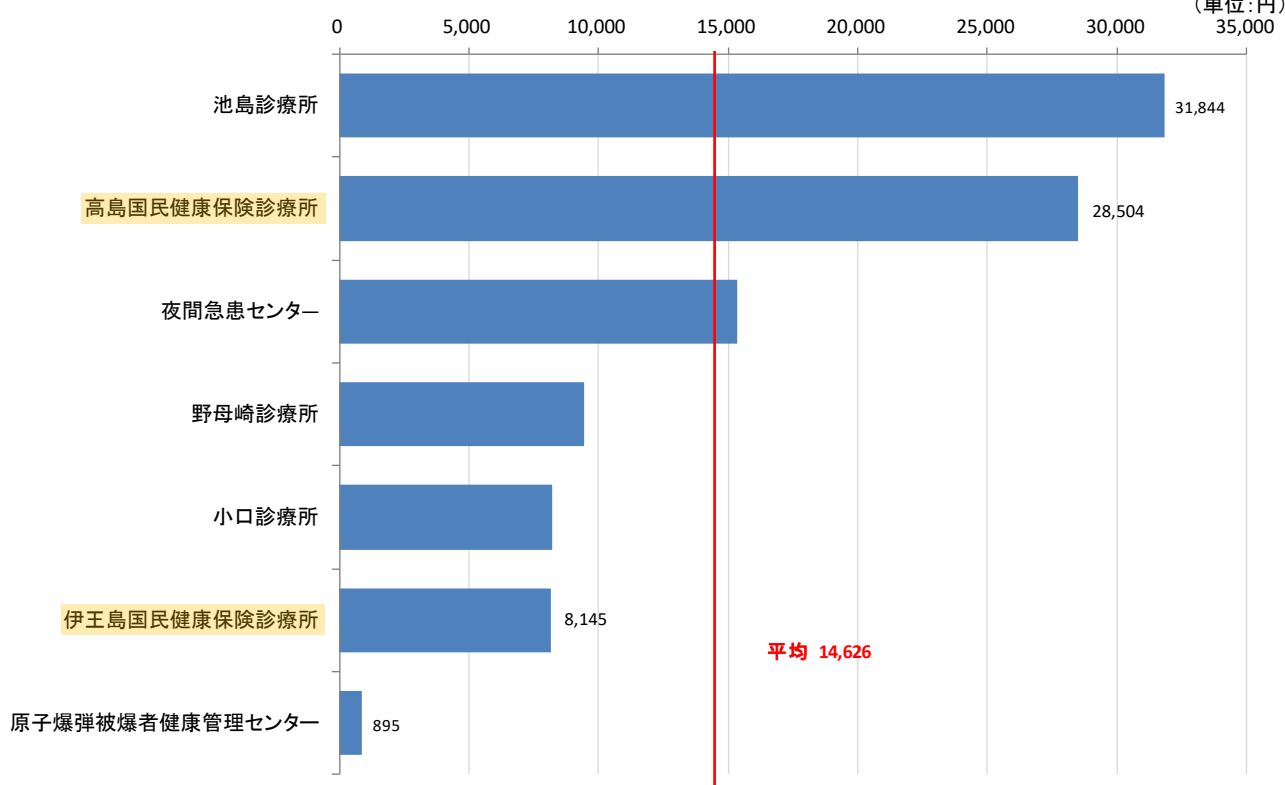
保健施設の開館1日当たりの利用者数(H29年度実績)

(単位:人)



保健施設の利用者1人当たりのコスト(H29年度実績)

(単位:円)



⑪健康増進・入浴施設（いやしの湯）

健康増進・入浴施設の施設配置の基本的な考え方

市民の健康増進及び公衆衛生の向上を図るため、風呂がない住宅が多く、民間参入が見込めない離島地区については、引き続き入浴サービスを提供することとしますが、利用者数の減少に伴い、必要な施設規模へ縮小し、既存施設を離島地区に1か所ずつ配置します。

ア 現状及び課題

いやしの湯



【建築年】2002年

【営業時間】9:30～21:30

【休館日】木曜日

【年間利用者数】27,474人

【1日当たりの利用者数】86人 ※利用者数は平成29年度実績

【概要】

- 健康増進のための海水を利用した温浴施設と、入浴設備がない市営住宅居住者などのための公衆浴場が併設されています。

【現状及び課題】

- 市民対話では、
「いやしの湯をもっと多くの人に利用してもらえるように工夫してほしい。」
「利用券の期間や料金の設定を工夫してはどうか。」
「今後も施設を継続していくため、五平太と併せて旅行商品を開発したり、福祉のリハビリで使うことで利用者も増やせるのでは。」
という意見が出されました。

イ 施設のあり方や見直しの方向性

入浴設備がない住宅が多く、民間の公衆浴場の参入が見込まれない高島島内においては、公衆衛生上の観点から引き続き入浴サービスは維持していきます。

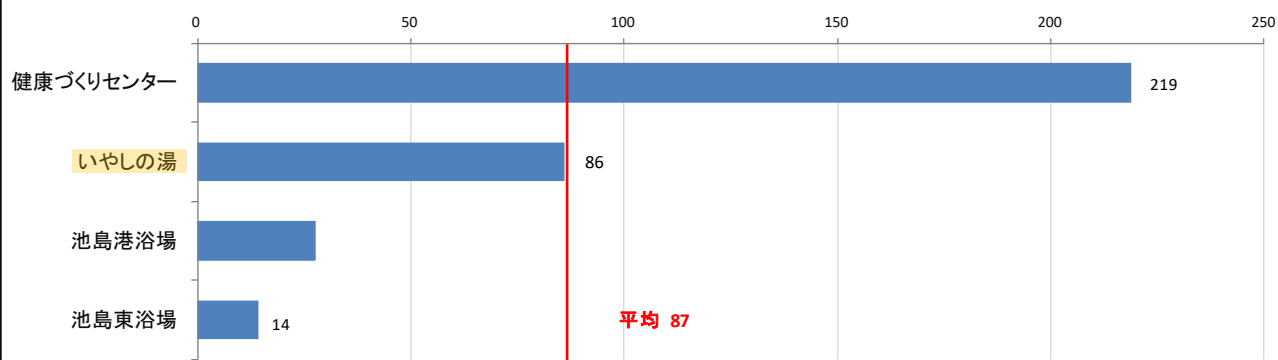
将来的には、人口・世帯数の減少や市営住宅の風呂の整備状況などにより、公衆浴場のバリアフリー化など、利用方法や施設の見直しを検討しながら、適正に管理していきます。

ウ ロードマップ

施設名称	前期	後期	次期計画	備考
	～2022	2023～2029	2030以降～	
いやしの湯				市営住宅の風呂の整備状況などにより見直しも検討しながら適正管理を行う

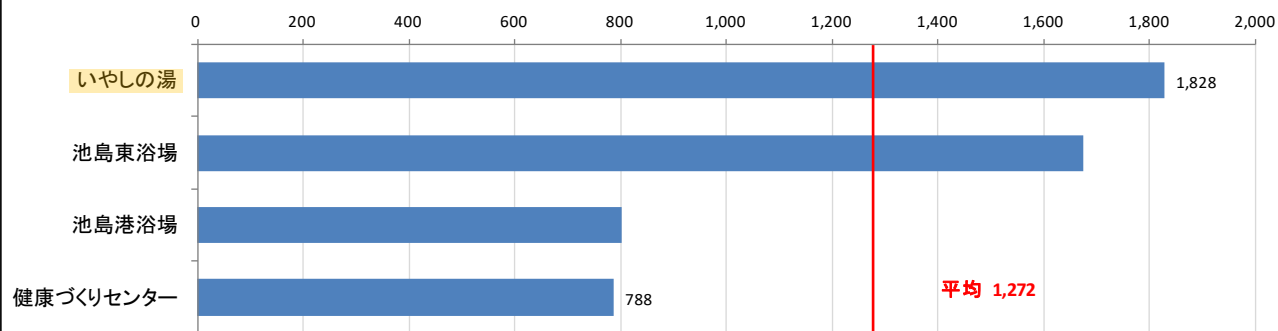
健康増進・入浴施設の開館1日当たりの利用者数(H29年度実績)

(単位:人)



健康増進・入浴施設の利用者1人当たりのコスト(H29年度実績)

(単位:円)



⑫商業振興施設（市設高島市場）

商業振興施設の 施設配置の 基本的な考え方	市設小売市場は、民間の流通機能の発達により、公設小売市場の必要性は低くなっているため、食料品等の生活必需品の安定供給機能の確保を前提に、市設置の小売市場は廃止します。
-----------------------------	---

ア 現状及び課題

市設高島市場（2023年3月_用途廃止済）



【建築年】1971年

【休場日】日曜日

【概要】

- 民間事業者が食料品や日用品を販売しています。

【現状及び課題】

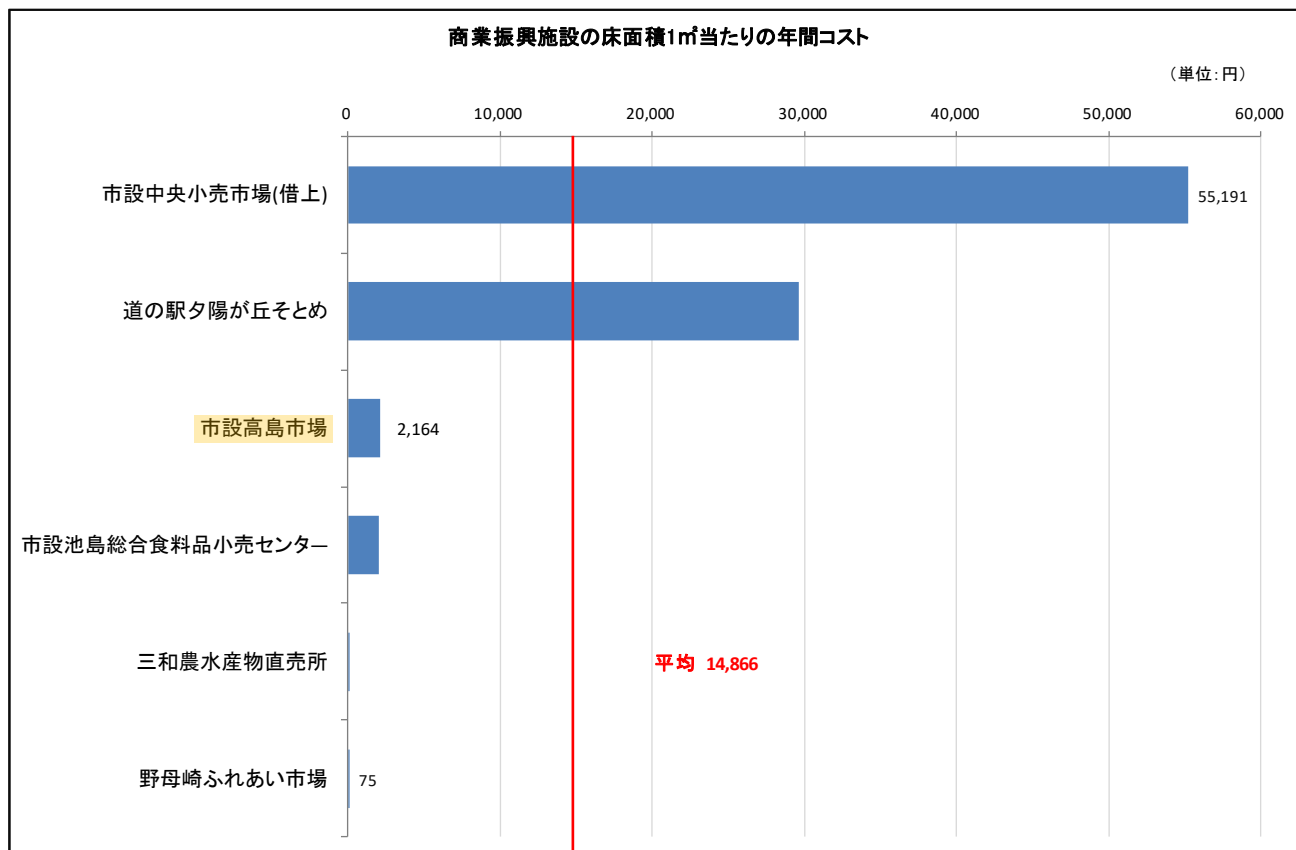
- 建築後47年を経過しており、老朽化が進行しています。
- 入居者は4店舗で、使用されていないスペースが多い状況です。
- 年々店舗数が減少し、島内での食料品や日用品等を安定的に供給する役割を担うことが難しくなっていくことが見込まれます。
- 市民対話では、
「料理を提供したくても火が使えない。市場という縛りをなくせば規制が外れていろいろな利用ができる。」
「空きスペースを、人が集まって利用できるようにしてはどうか。」
「規制を緩和して、いろいろな活用ができるようにしてはどうか。」
「市場の後ろには石炭資料館などもあり、多くの人を集めて動線をつくることで、市場にひとつ大きいコミュニティをつくるということを考える。」
「住民の皆さんにやりたいことを募集し、有効活用したいと思っている方々に安い家賃で貸して、今まで以上の家賃収入を得られるようにする。」
「『公設市場』の位置付けを外せばうまくいく。」
という意見が出されました。

イ 施設のあり方や見直しの方向性

高島市場については、食料品等の生活必需品の安定供給機能を維持していくために、民間での活用を促進できるよう、現在、行政による管理・運営となっている公設市場の位置付けを見直す方向で調整していきます。

ウ ロードマップ

施設名称	前期	後期	次期計画	備考
	～2022	2023～2029	2030以降～	
市設高島市場				公設市場の位置付けを見直す



⑬図書館（香焼図書館）

図書館の 施設配置の 基本的な考え方	将来は、現在より更に高度化した情報化社会、高齢化、生活の多様化などが見込まれており、市民に対して必要に応じた情報の提供を行うことは、ますます重要となるため、更なる資料の収集・保存を行い、適切な情報発信を行うなど積極的な行政サービスを提供します。 市立図書館と各地区のコミュニティ施設等の図書室は、ネットワークでつながれており、希望の場所で本の受取りや返却を可能とし、市民が身近な場所で図書館サービスを利用できる体制を確立できていることから、その中核となる市立図書館は市内に1か所の配置とします。
-----------------------------------	---

ア 現状及び課題

香焼図書館（2020年3月_香焼地域センター内へ移転済）



【建築年】1972年

【開館時間】10:00～18:00

【休館日】月曜日、祝日、毎月25日、年末年始

【年間利用者数】10,618人

【1日当たりの利用者数】38人 ※利用者数は平成29年度実績

【概要】

- 図書の閲覧、貸し出しのほか、子どもたちへの絵本の読み聞かせなども行われています。

【現状及び課題】

- 建築後46年を経過し、老朽化しており、バリアフリーにも未対応であるため、香焼地域センターの余剰スペースへ令和2年3月1日に移転しました。
- 市民対話では、
「香焼図書館が香焼地域センターへ移転した後は、建物を壊して地域センターに入る道をバスが入る広い道にしてもらえればありがたい。」
「行政が財産を抱えておくのは難しいので、売ってはどうか。」
「香焼図書館は利用率も高く、本もかなりの数がある。地域センターへ移転しても蔵書が減らないようにしてほしい。」
という意見が出されました。

イ 施設のあり方や見直しの方向性

香焼図書館は、老朽化しており、バリアフリー未対応であるため、香焼地域センター内の余剰スペースへ移転します。移転後の建物は解体し、跡地の有効活用を図ります。

ウ ロードマップ

施設名称	前期	後期	次期計画	備考
	～2022	2023～2029	2030以降～	
香焼図書館				香焼地域センターへ移転し、移転後は、解体し、跡地の有効活用を図る

⑭ながさき暮らし体験施設（高島地区中長期型滞在施設、伊王島交流滞在型宿泊施設）

ながさき暮らし体験施設の施設配置の基本的な考え方	移住定住促進対策については、住まいを求める方に対しての支援として、空き家・空き地情報バンクの充実をはじめ、宅建協会、地域住民との連携による受け入れ態勢の充実や、移住希望者等とのマッチングを図るなど、ソフト事業の推進を行います。 市が所有する体験施設（ながさき暮らし体験施設）は、施設の老朽化が進んでおり、今後の維持管理にも相当な費用が生じることから、民間による体験施設等の充実により、移住等希望者の様々なニーズに幅広く対応でき、公的施設の役割の代替に加え、より弾力的に運用が可能となることが見込まれるため、民間による体験施設等を確保した後に廃止します。 なお、受け入れ施設の整備状況やマッチングの状況などの変化に応じて、今後とも最善の策を模索していくこととし、民間による体験施設等の新たな移住定住促進対策については、長崎への移住定住のニーズを見極めながら、合併地区にかかわらず確保することとします。
---------------------------------	--

ア 現状及び課題

高島地区中長期型滞在施設（2021年3月_用途廃止済）

	【建築年】1961年 【年間利用者数】4人 ※利用者数は平成29年度実績 【概要】 高島地区をはじめとする長崎市への移住を支援するため、「ながさき暮らし」（1か月単位、1年まで）を体験できる宿泊施設として活用しています。
【現状及び課題】 建築後57年を経過し、老朽化が進行しています。	

伊王島交流滞在型宿泊施設（2023年2月_用途廃止済）

	【建築年】2006年 【年間利用者数】64人 ※利用者数は平成29年度実績 【概要】 伊王島地区をはじめとする長崎市への移住を支援するため、「ながさき暮らし」（1日単位、11日以内）を体験できる宿泊施設として活用しています。
【現状及び課題】	

- 市民対話では、「住宅用地を探している人も多いので、伊王島のながさき暮らし体験施設は、建物が新しいうちに、早く売却したほうがいい。」という意見が出されました。

イ 施設のあり方や見直しの方向性

ながさき暮らし体験は、民間の空き家の活用など、ソフト事業の推進を行うこととし、高島地区中長期型滞在施設及び伊王島地区交流型宿泊施設は廃止します。

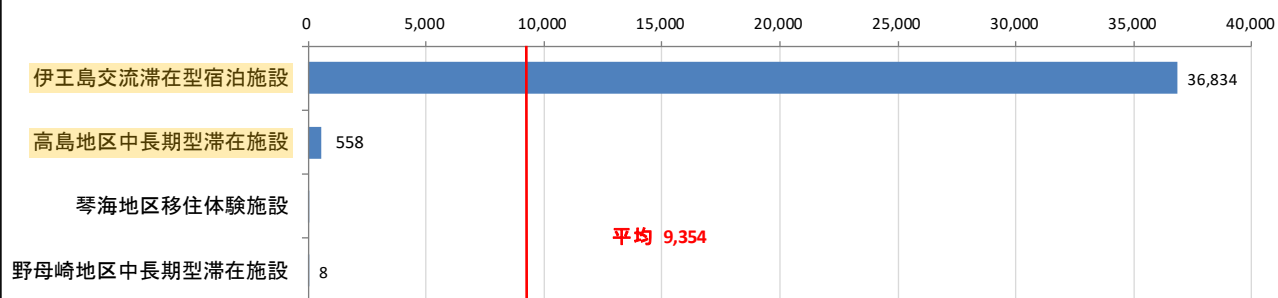
廃止後の施設については、売却等により資産の有効活用を図ります。

ウ ロードマップ

施設名称	前期	後期	次期計画	備考
	～2022	2023～2029	2030以降～	
高島地区中長期型滞在施設				ソフト事業へ転換し、施設は廃止する
伊王島地区交流型宿泊施設				

ながさき暮らし体験施設の宿泊1日当たりのコスト(H29年度実績)

(単位:円)



⑮その他（伊王島地区活性化交流拠点施設）

その他事務所の 施設配置の 基本的な考え方	施設の特異性や、サービスの機動性確保のため、本庁舎から分散して行政事務を行う施設を設置していますが、より効率的な行政運営を図るために必要な施設配置へ見直します。 また、余剰スペースが生じている施設や、施設の集約化が可能な施設があることから、施設の複合化や統廃合を行うことにより、用途全体の施設規模の縮小を図ります。
--------------------------------------	---

ア 現状及び課題

伊王島地区活性化交流拠点施設（伊王島ふれアイランド）

	【建築年】1990 年 【概要】 ● 地元産の水産物などを使用した土産物などを開発、製造する「加工所」があり、またペーロン船が保管されています。
【現状及び課題】 ● 市民対話では、「ペーロン体験の後に、シャワーを浴びられるよう、伊王島ふれアイランドの中にシャワーを設置してほしい。」という意見が出されました。	

イ 施設のあり方や見直しの方向性

伊王島地区活性化交流拠点施設については、現在の施設を引き続き適正に管理していきますが、今後、地域活性化のために、さらなる活用が図られるよう、使い方を工夫していく必要があります。

ウ ロードマップ

施設名称	前期	後期	次期計画	備考
	～2022	2023～2029	2030 以降～	
伊王島地区活性化交流拠点施設				適正管理を行う 2023 年度までに、さらなる活用のための使い方を検討する

(2) 都市基盤施設

①水産業振興施設（水産センター高島事業所、南風泊漁港水産会館）

水産業振興施設の 施設配置の 基本的な考え方	漁業者の高齢化、担い手不足及び水産資源の減少など水産業において克服すべき課題がある中で、安定した水産資源の管理・回復を図るためには、種苗生産により水産種苗を安定的に供給し、放流事業を持続的に行っていくことが不可欠です。 また、養殖業についても、その重要性が増しており優良な種苗を生産し、高品質な養殖魚の生産に寄与する必要があります。市の役割としては、民間種苗会社が生産していない地域ブランドとなる魚種について、良好な種苗を供給します。 あわせて、付加価値が高い魚種の種苗生産技術や低コスト養殖技術の開発、陸上養殖等新たな技術の検討、沿岸漁場の環境調査、赤潮、魚病対策等に係る施策を充実させ、沿岸漁業の振興を図ります。
---------------------------------------	---

ア 現状及び課題

水産センター高島事業所（2021年3月_用途廃止済）



【建築年】2000年

【概要】

- つくり育てる漁業の推進のため、放流のための稚魚の生産や、ヒラメ成魚の生産・販売などを行っています。

【現状及び課題】

- 高島ヒラメを生産し、伊王島や長崎市内の飲食店に提供しています。
- 種苗の将来需要、生産性の効率化などを考慮しながら、施設のあり方の見直しを進める必要があります。
- 市民対話では、「宿泊施設での食材確保と連携できるのではないか。」という意見が出されました。

南風泊漁港水産会館



【建築年】1997年

【概要】

- 高島地区の漁業振興のための施設です。

【現状及び課題】

- 西彼南部漁業協同組合の事務所として使用されています。

イ 施設のあり方や見直しの方向性

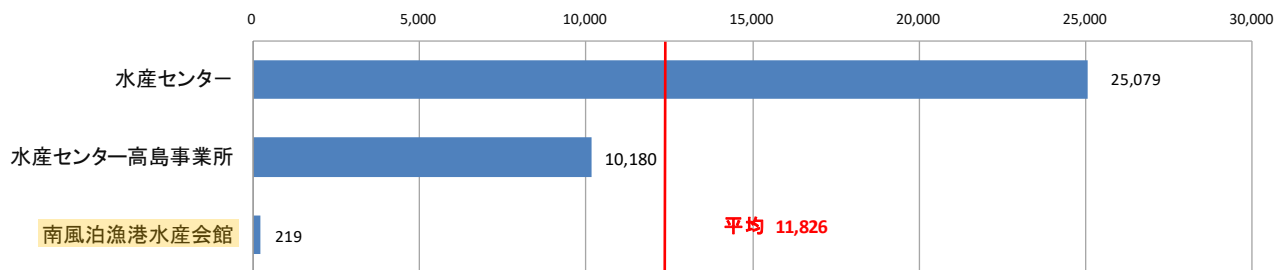
- 長崎市には水産センターが牧島と高島の2か所ありますが、現在の種苗の需要に対して1つの施設で生産することが可能であること、また高島事業所は施設の改修、燃料及び種苗の出荷運搬等のコストが高くなること等の理由から、水産センター高島事業所は令和2年度末をもって廃止することとします。
- 南風泊漁港水産会館は、高島地区の漁業振興のために設置されており、当面は現状を維持しますが、地区の漁業者数の状況などを踏まえ、施設の移譲等も含めて将来のあり方を検討していきます。

ウ ロードマップ

施設名称	前期	後期	次期計画	備考
	～2022	2023～2029	2030以降～	
水産センター高島事業所				2020年度末に廃止する
南風泊漁港水産会館				当面は現状を維持するが、施設の移譲等も含め、将来のあり方を検討する

水産業振興施設の床面積1㎡当たりの年間コスト(H29年度実績)

(単位:円)



②港湾施設（高島港ターミナル、伊王島港ターミナル）

港湾施設の 施設配置の 基本的な考え方	人口減少が進むなか、航路利用者数も減少するものと考えますが、港湾施設は、離島地区の住民や観光客などの航路利用者にとって、公共交通ネットワークの結節点として必要不可欠な施設であることから、航路が存続する限り継続して配置します。 配置場所は、栈橋に近接し、施設から船舶の運航状況が目視で確認できる、航路利用者にとって利便性が高い場所で、港湾施設の機能（切符売場、待合所及びトイレ等）の維持を図ります。 なお、施設規模は、建替え時に縮小に向けた見直しを行います。
------------------------------------	---

ア 現状及び課題

高島港ターミナル



【建築年】1972 年

【営業時間】始発 6 : 27、最終 21 : 42

【年間利用者数】304,337 人

【1 日当たりの利用者数】834 人 ※利用者数は平成 29 年度実績

【概要】

- 長崎－伊王島－高島を結ぶ高速船の発着所となっています。
- 売店、軽食喫茶を併設しています。

【現状及び課題】

- 長崎－伊王島－高島間に、高速船が往復 8 便就航しています。
- 高島地区の住民にとって必要不可欠な施設です。
- 建築後 47 年を経過しており、老朽化が進行しています。

伊王島港ターミナル



【建築年】1989 年

【営業時間】始発 6 : 11、最終 21 : 57

【年間利用者数】126,451 人

【1 日当たりの利用者数】346 人 ※利用者数は平成 29 年度実績

【概要】

- 長崎－伊王島－高島を結ぶ高速船の発着所となっています。
- 売店、軽食喫茶を併設しています。

【現状及び課題】

- 長崎－伊王島－高島間に、高速船が往復 8 便就航しています。

イ 施設のあり方や見直しの方向性

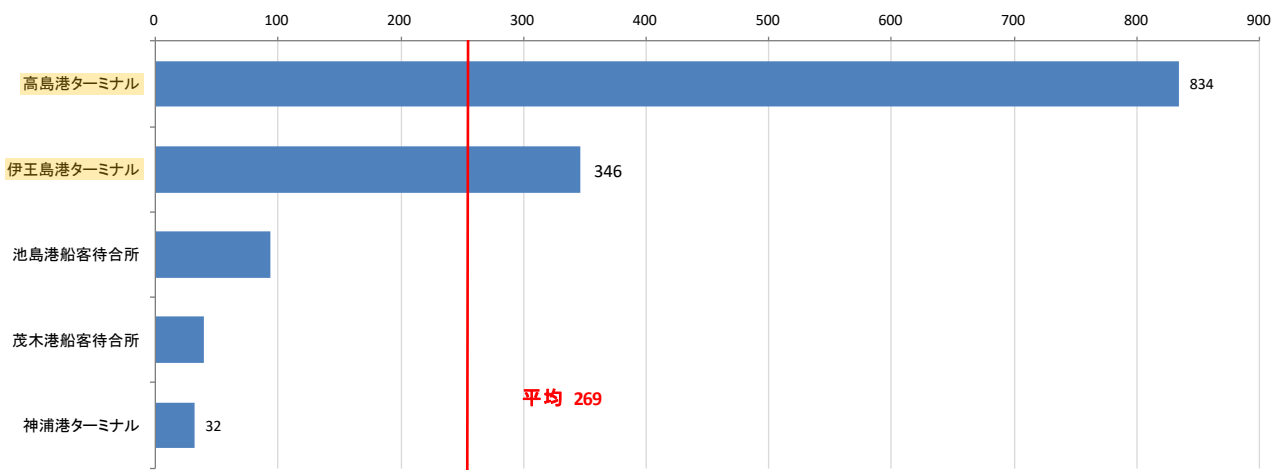
港湾施設は住民や観光客などの航路利用者に必要不可欠であるため、航路が存続する限り、現在の施設を適正に管理し維持します。

ウ ロードマップ

施設名称	前期	後期	次期計画	備考
	～2022	2023～2029	2030以降～	
高島港ターミナル				航路が存続する限り、現在の施設を適正に管理する
伊王島港ターミナル				

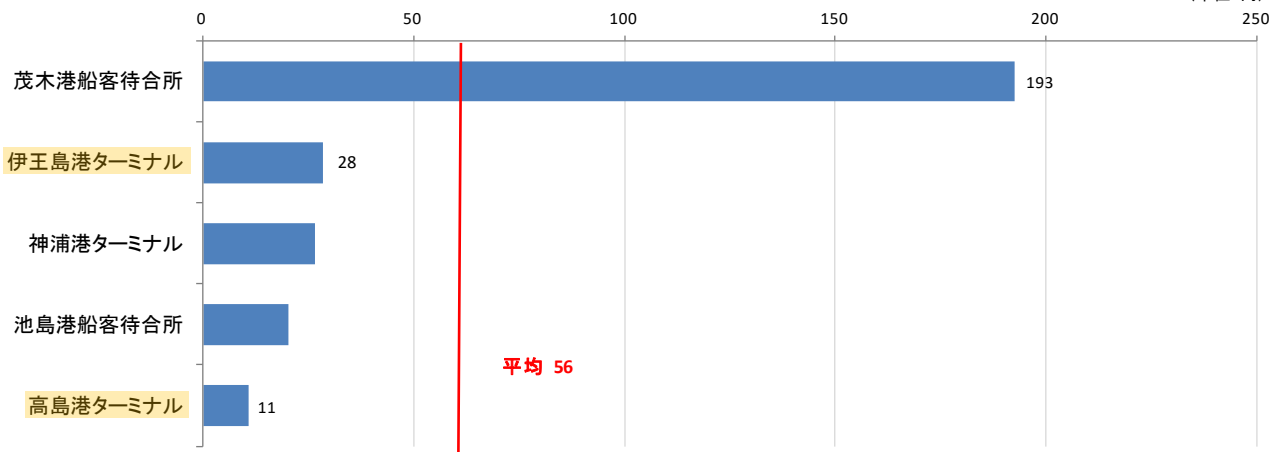
港湾施設の開館1日当たりの利用者数(H29年度実績)

(単位:人)



港湾施設の利用者1人当たりのコスト(H29年度実績)

(単位:円)



③市営住宅（本町第1住宅、本町第2住宅、百万住宅、高島光町住宅、西浜住宅、日吉岡住宅、先の谷住宅、尾浜住宅、仲山住宅、田ノ浦住宅、深浦住宅、恵里上住宅、本村住宅、多尾住宅、瀬戸屋敷住宅、塩町住宅）

市営住宅の
施設配置の
基本的な考え方

将来の人口及び世帯数の減少により、市営住宅の需要は低下することが予想されますが、少子高齢化の進展や社会的弱者の多様化等の社会情勢の変化を踏まえ、民間賃貸住宅市場において最低居住水準の住居を確保できない低額所得者や、入居制限を受ける可能性がある高齢者や障害者、子育て世帯等の住宅困窮度の高い世帯などの、真に救済すべき世帯の推計を行い、それらを救済するセーフティネットとしての役割を重点的に担えるよう、住宅の確保を支援することで、市民生活の安定を図ります。

配置については、立地適正化計画によるコンパクトなまちづくりを進めていくことを踏まえ、市内各エリアにおける将来人口や特性を十分に勘案し、県営住宅も含めた公営住宅について、需要と供給のバランスが図れるよう、都心周辺部及び地域拠点の市営住宅は、適正な管理戸数を維持します。

その他の地区については、地域コミュニティが維持できるよう住宅需要や民間の動向を踏まえたうえで管理戸数の縮減を行います。

また、島しょ部については、現在行っている集約や用途廃止、除却等を継続し、管理戸数の縮減を推進します。

ア 現状及び課題

※管理戸数は平成30年4月1日現在

本町第1住宅		本町第2住宅	
	【建築年】 1967 年 【管理戸数】 66 戸 【概要】 募集停止中		【建築年】 1969 年 【管理戸数】 12 戸
百万住宅（2021年3月_用途廃止済）		高島光町住宅	
	【建築年】 1965 年 【管理戸数】 112 戸 【概要】 募集停止中		【建築年】 1965 年 【管理戸数】 198 戸
西浜住宅		日吉岡住宅	
	【建築年】 1970 年 【管理戸数】 168 戸 【概要】 募集停止中		【建築年】 1971 年 【管理戸数】 39 戸

先の谷住宅		尾浜住宅	
	【建築年】 1978 年 【管理戸数】 3 戸 【概要】 募集停止中		【建築年】 2008 年 【管理戸数】 12 戸
仲山住宅		田ノ浦住宅	
	【建築年】 2008 年 【管理戸数】 10 戸		【建築年】 2005 年 【管理戸数】 54 戸
深浦住宅		恵里上住宅	
	【建築年】 1971 年 【管理戸数】 242 戸		【建築年】 1986 年 【管理戸数】 119 戸
本村住宅		多尾住宅	
	【建築年】 2012 年 【管理戸数】 60 戸		【建築年】 1965 年 【管理戸数】 13 戸
瀬戸屋敷住宅		塩町住宅	
	【建築年】 1995 年 【管理戸数】 6 戸		【建築年】 1974 年 【管理戸数】 218 戸 【概要】 2014～2017 年にかけて集約建替えを行っています。

共通

【現状及び課題】

高島エリア

- 老朽化が進んでいるものが多く、高島地区の公営住宅の約8割が建築後40年を経過しています。
- 本町第1住宅、高島光町住宅D棟、西浜住宅、先の谷住宅は、耐震性が低い住宅です。
- 市民対話では、
「市営住宅の空きがない。」
「エレベーターの設置には大変な費用がかかるので、エレベーターを設置するよりも、新しい住宅を造った方が良い。」
「2部屋を1部屋にして広く使い、民泊として釣り客に貸すなどして活用してはどうか。」
「高島光町住宅にエレベーターは設置されるのか。」
「百万住宅が廃止になった後、減築して耐震性を高くして、民間への貸出や譲渡ができないか。1、2階を宿泊施設にして、3階は住宅のままにするか、高島石炭資料館等を入れるような使い方はできないか。」
という意見が出されました。

伊王島・香焼エリア

- 塩町住宅4棟は耐震性が低い住宅です。
- 市民対話では、「深浦団地は、5階建てなのに、エレベーターがない。」という意見が出されました。

イ 施設のあり方や見直しの方向性

高島エリア

- 高島エリアの市営住宅については、現状の施設の中で耐震性が確保されている比較的状态の良い建物を、高齢化に対応した改修を行いながら、適切に維持管理し、併せて集約化を図っていきます。
- 百万住宅は、耐震性が低く、老朽化も著しいことから、集約後、解体することとしています。解体した後の土地については、有効活用を検討していきます。
- 高島光町住宅のA～C棟については、建設年度が比較的新しく、これからも長く使える建物であるため、エレベーター設置等の改善を図りながら使用していきます。D棟については、耐震性が低いいため、住み替えを進めます。

伊王島・香焼エリア

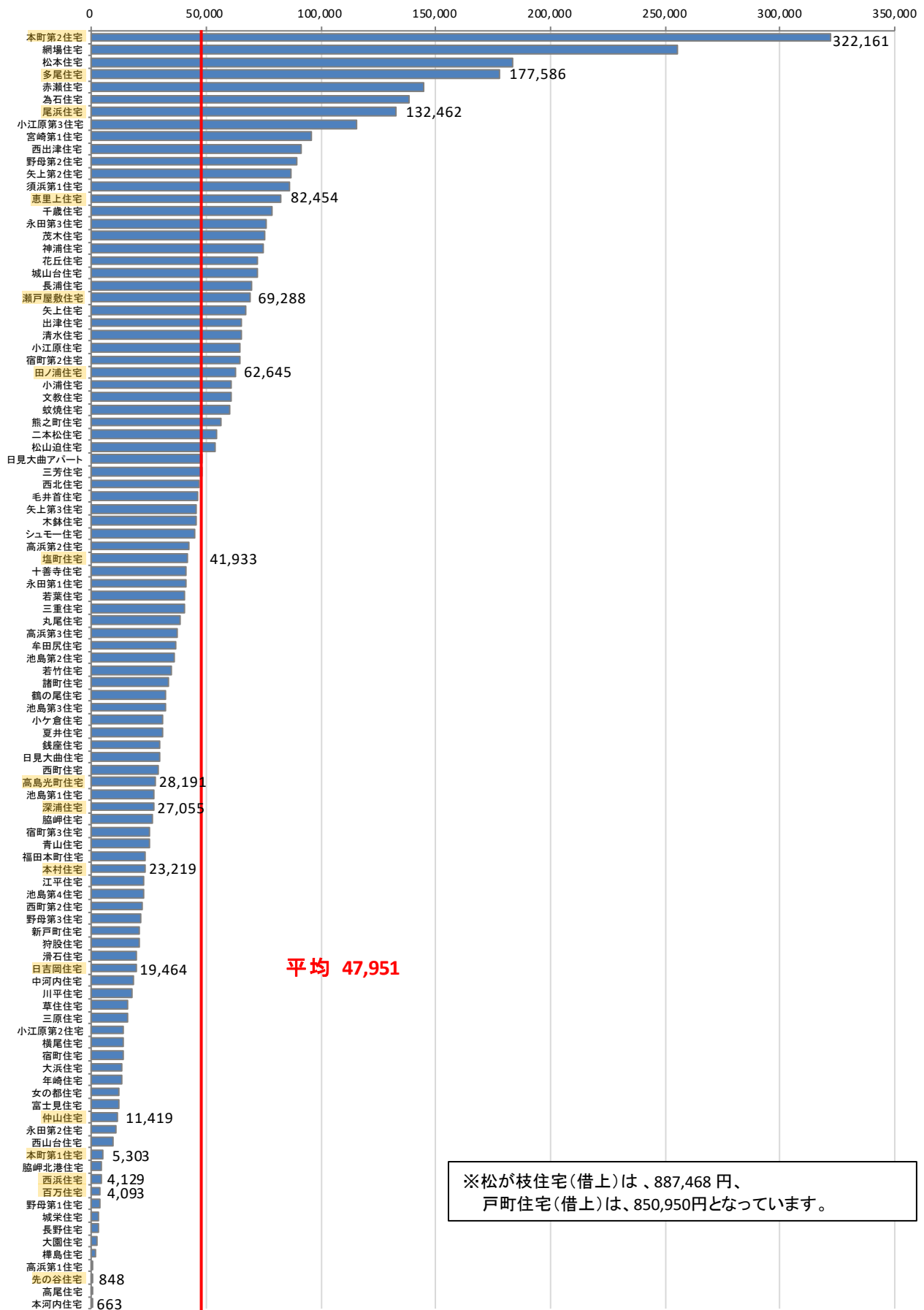
- 伊王島・香焼エリアの田ノ浦住宅、深浦住宅、恵里上住宅、本村住宅、多尾住宅、瀬戸屋敷住宅は、引き続き適正な維持管理に努めます。大規模な改修や建替えが必要となるタイミングで、人口などの状況を踏まえ、規模の検討を行います。
- 塩町住宅は、2014～2017年にかけて集約建替えが行われたので、現在の建物を適正に管理していきます。

ウ ロードマップ

施設名称	前期	後期	次期計画	備考
	～2022	2023～2029	2030以降～	
本町第1住宅				耐震性が確保されている比較的状态のよい建物を適正に管理し、併せて集約化を図る
本町第2住宅				
百万住宅				
高島光町住宅				
西浜住宅				
日吉岡住宅				
先の谷住宅				
尾浜住宅				
仲山住宅				
田ノ浦住宅				適正管理を行う 建替える場合は、集約化に努めるとともに、住宅需要や民間の動向を勘案し、配置を見直す
深浦住宅				
恵里上住宅				
本村住宅				
多尾住宅				
瀬戸屋敷住宅				
塩町住宅				適正管理を行う

管理戸数1戸当たりの年間コスト(H29年度実績)

(単位: 円)



(3) 公用施設

① 学校給食施設（香焼学校給食共同調理場、伊王島学校給食共同調理場）

学校給食施設の 施設配置の 基本的な考え方

将来にわたって安全で安心なおいしい給食を、安定的に提供できるよう新たに学校給食センターを建設し、バリエーションに富んだ献立の提供、代替食等アレルギー対応の充実、温かいものは温かいうちに、冷たいものは冷たい状態で提供する適温給食をすべての児童生徒に提供することを目指し、学校給食の充実を図ります。

長崎市の学校給食は、小学校において直営・自校方式で始まり、中学校給食は小学校との親子方式、保温食缶配送方式等で実施してきました。

また、学校給食の提供についての効率化を図るため、公設民営による民間委託を進めてきました。

調理器具の設置の有無により献立内容に学校間の違いがあること、現行の給食室に食物アレルギーへの対応が可能な専用室を設けることが困難であること、また、ドライシステムではなく、老朽化に伴う改築や整備の更新が必要となっています。

そこで、アレルギー専用室を整備することにより食物アレルギー対応の充実が図れること、学校間で献立内容の違いをなくし、適切な衛生管理が図れることなどから、学校給食センターを建設することにより、学校給食の充実を図ります。

また、学校給食は食育の生きた教材としての活用が期待されているため、学校給食センターには学習、食育機能の役割を果たす施設として、見学機能、食の学び、食の教育研修など食の学習の拠点となっていくことが求められます。

学校給食衛生管理基準に「調理後2時間以内の喫食」との規定があることから、配送時間をおおよそ40分以内とし、幹線道路へのアクセスの利便性を勘案したうえで、市内に3か所（北部地区、中部地区、南部地区）の学校給食センターを建設することとし、うち北部地区については、令和4年1月に北部学校給食センターの供用を開始しました。

今後も、順次、（仮称）南部学校給食センター及び（仮称）中部学校給食センターの建設を進めることとし、建設後は、段階的に離島地区を除く学校給食共同調理場を廃止します。

なお、食数が3か所で賄えない間は、三和学校給食共同調理場や一部の学校の給食室の活用を図ることとします。

ア 現状及び課題

香焼学校給食共同調理場



【建築年】1974 年

【延床面積】326 m²

【概要】

- 香焼小学校、香焼中学校、深堀中学校の学校給食を作っています。

【現状及び課題】

- 建築後 45 年を経過しており、老朽化が進行しています。
- 香焼小学校、香焼中学校、深堀中学校の学校給食を作っています。

伊王島学校給食共同調理場



【建築年】1998 年

【延床面積】242 m²

【概要】

- 伊王島小学校、伊王島中学校の学校給食を作っています。

【現状及び課題】

- 伊王島小学校、伊王島中学校の学校給食を作っています。

共通

【現状及び課題】

- 市民対話では、「香焼の給食共同調理場で深堀中学校の給食を作っているの、伊王島の給食共同調理場で作っている伊王島小学校、伊王島中学校の分も香焼と一緒に作ってはどうか。」という意見が出されました。

イ 施設のあり方や見直しの方向性

香焼学校給食共同調理場及び伊王島学校給食共同調理場については、当面、現在の施設を維持していきますが、将来的には市内 3 か所に学校給食センターを建設し、配送時間や幹線道路へのアクセスの利便性を勘案したうえで、既存の学校給食施設を集約化し、学校給食の充実を図ります。

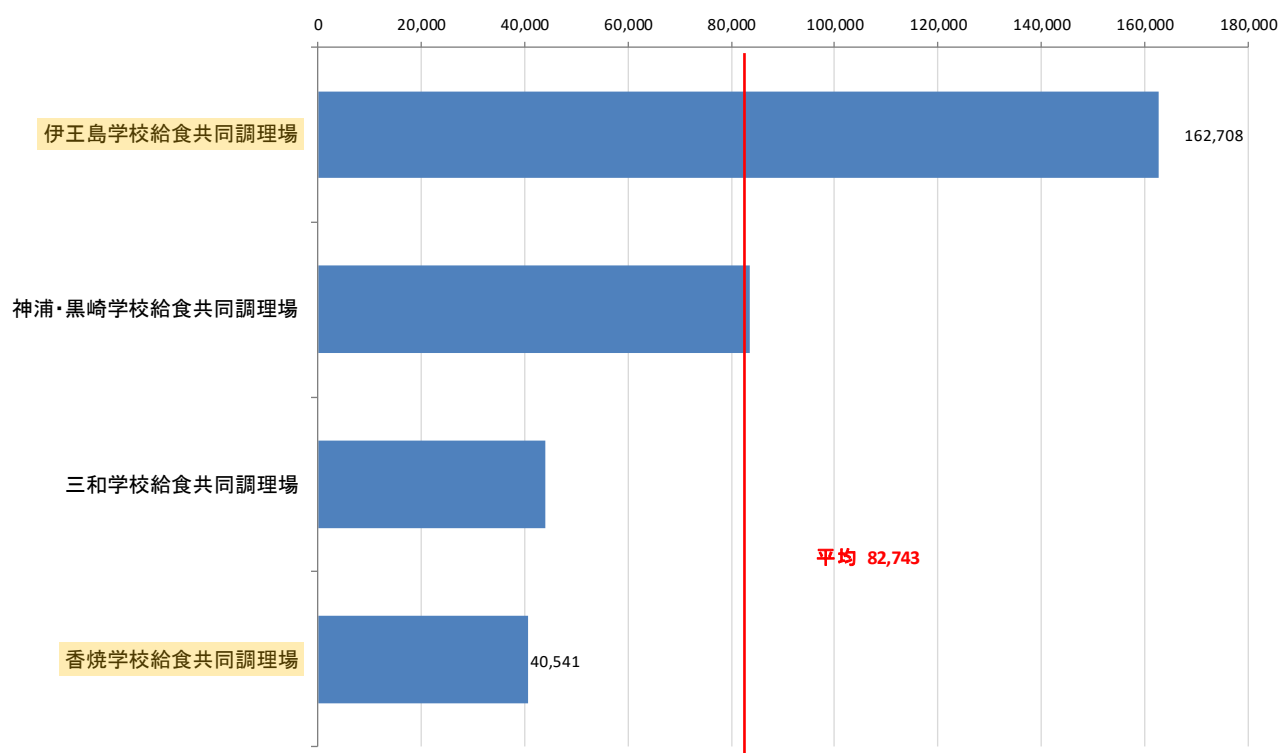
また、学校の適正化に併せ、今後の施設のあり方については児童・生徒数等の推移をみて検討します。

ウ ロードマップ

施設名称	前期	後期	次期計画	備考
	～2022	2023～2029	2030以降～	
香焼学校給食共同調理場				現在の施設を管理し、給食センターの設置に併せて、集約化する 今後の施設のあり方については、児童・生徒数等の推移をみて検討する
伊王島学校給食共同調理場				

学校給食施設の利用者1人当たりの年間コスト(H29年度実績)

(単位:円)



②庁舎等（高島地域センター、伊王島地域センター、香焼地域センター、深堀地域センター、高島地域センター第1別館）

庁舎等の 施設配置の 基本的な考え方

人口減少や少子高齢化が進み、地域を支える力が弱まりつつあるなか、地域をより暮らしやすい場所とするためには、本来、地域が持つ力を引き出して、行政と地域コミュニティが連携しながら地域の課題を解決していくことが必要だと考えています。

また、市民にとって身近な行政サービスは、市内一円、身近な場所で均一に提供しつつも、非効率とならないようにします。

平成29年10月から、市の組織のあり方を見直す取組みとして、行政サテライト機能の再編成を行い、地域センター及び総合事務所を設置しました。

2040年には、人口が更に減少していくとともに、集約連携型の都市構造となることや、マイナンバー制度の進展やその他手続きの電子化や簡素化が見込まれるため、次の考え方により配置を見直していきます。

(1) 身近な手続き（各種証明書の交付、届け出や申請）や相談ができる機能

この機能については、都市計画マスタープランの生活地区、地域拠点及び都心部に1か所ずつ配置します。

生活地区では既存施設の中で、当該地区内の人口のまとまりや交通の状況から、利便が良い場所に配置することとします。

また、現在、身近な手続きができるように配置している事務所及び地区事務所は、今後の人口及び取扱件数をもとに配置を見直していきます。

(2) 地域のまちづくりを支援する機能（地域からの相談、要望等への対応、各種団体のネットワーク化、情報発信）

この機能については、都市計画マスタープランの生活地区、地域拠点及び都心部に1か所ずつ配置します。

地域の情報が集まり、また、地域で活動する団体と連携しやすい状態をつくるために、コミュニティ活動施設との複合化や、商業施設の中に配置するなど、所管区域の住民が集まりやすい場所に配置することを検討しますが、地域の人口、地域コミュニティの状況、住民の交通の利便や移動の距離、職員配置の効率性などを考慮し、配置を見直していきます。

(3) 現場に出て事業等を実施する職員の拠点となる機能

この機能については、地域の課題を迅速に解決するために、人口や地域のまとまり、職員の移動に係る交通の利便や移動の距離、職員配置の効率性などを考慮し、中央・南部・北部・東部の既存の施設の中で、市民生活に密着した土木事業や保健事業などの職員の移動の効率が良い場所4か所に配置します。

市全体にわたる計画の作成や事業の実施、事業者の営業に係る許認可などを行う本庁の機能は、市内全域の住民の利便を考慮し、都市計画マスタープランの都心部に1か所配置します。

ア 現状及び課題

高島地域センター



【建築年】1997 年

【開館時間】8 : 45～17 : 30

【閉庁日】土日祝日、年末年始

【概要】

- 身近な手続きや相談ができる拠点として、市税収納、各種証明書の発行、福祉手続きなどのほか、高島地区のまちづくり活動の支援を行なっています。
- この建物には、高島ふれあいセンターが併設されています。

【現状及び課題】

- 旧議場などの空きスペースが多く、施設の一部のみを利用している状態です。
- 市民対話では、「空きスペースに幼稚園、消防署が入れるようにしたらどうか。また、空き部屋のテナント募集をしてはどうか。」という意見が出されました。

伊王島地域センター



【建築年】1981 年

【開館時間】8 : 45～17 : 30

【閉庁日】土日祝日、年末年始

【概要】

- 身近な手続きや相談ができる拠点として、市税収納、各種証明書の発行、福祉手続きなどのほか、伊王島地区のまちづくり活動の支援を行なっています。

【現状及び課題】

- 建築後 37 年を経過しており、老朽化が進行しています。
- エレベーターが設置されていません。
- 旧議場などの空きスペースが多く、施設の一部のみを利用している状態です。
- 市民対話では、2 階の空きスペースについて、
「図書室・観光案内所・放課後子ども教室などの、人が集まるような施設にしてはどうか。」
「カフェとして民間に貸付けたら、伊王島で開催するイベントの倉庫やロッカールームとして貸出すなど、地域センターにお金が落ちる仕組みを作ってはどうか。」

「エレベーターの設置など、バリアフリー化して、利用しやすくすると活用されるのではないかな。」

という意見が出されました。

香焼地域センター



【建築年】1978 年

【開館時間】8 : 45～17 : 30

【閉庁日】土日祝日、年末年始

【概要】

- 身近な手続きや相談ができる拠点として、市税収納、各種証明書の発行、福祉手続きなどのほか、香焼地区のまちづくり活動の支援を行なっています。

【現状及び課題】

- 建築後 41 年を経過しており、老朽化が進行しています。
- 建物の余剰スペースを活用して、老朽化している香焼図書館の機能を移転する予定です。
- 市民対話では、「2 階が空いているので、地元で知恵を出し合って、お金を生み出せるような機能を持ってきて、図書館が移転した跡を、道路を広げたり、駐車場にすることで、賑わせていったらどうか。」という意見が出されました。

深堀地域センター



【建築年】1980 年

【開館時間】8 : 45～17 : 30

【閉庁日】土日祝日、年末年始

【概要】

- 身近な手続きや相談ができる拠点として、市税収納、各種証明書の発行、福祉手続きなどのほか、深堀地区のまちづくり活動の支援を行なっています。
- この建物には、深堀地区ふれあいセンターが併設されています。

【現状及び課題】

- 大通りから入った細い道路に面しており、車でのアクセスがやや不便です。
- 建築後 39 年を経過しており、老朽化が進行しています。
- 市民対話では、「大通りから入ったところにあるので、多くの人が利用しやすいよう、表の大通りの方に移したほうがいいのではないかな。」という意見が出されました。

高島地域センター第1別館



【建築年】1969年

【概要】

- 保健事業や、文化協会グループの活動の場所として、使用されています。

【現状及び課題】

- 建築後50年を経過し、老朽化が進行しており、耐震性も確保されていません。
- 建物の2階は、現在使用されていません。

イ 施設のあり方や見直しの方向性

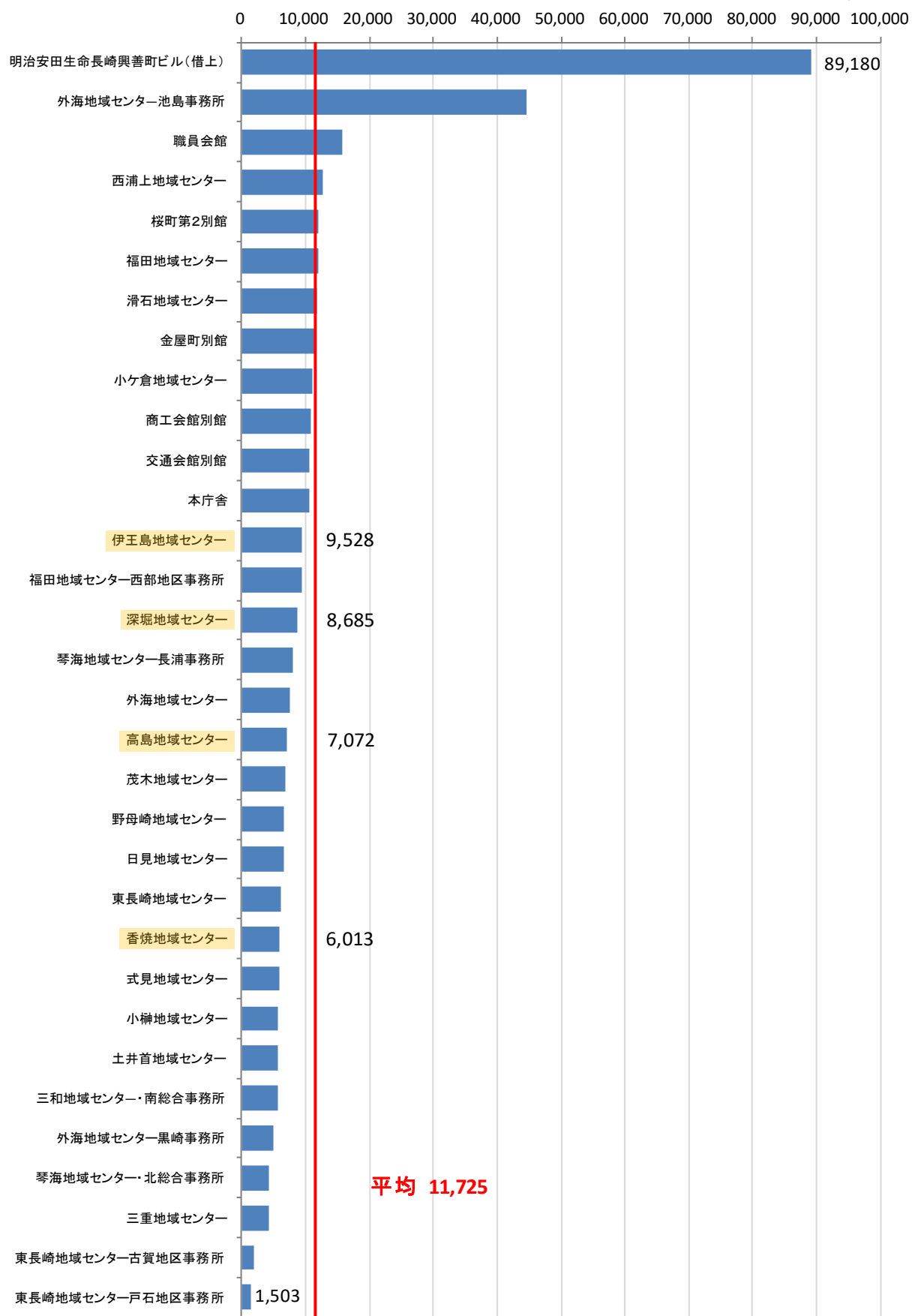
- 高島地域センター、伊王島地域センター及び香焼地域センターについては、現在の施設を引き続き適正に管理していきます。各地域センターの余剰スペースの活用については、市民対話で出されたご意見を参考にしながら、他の施設の機能の集約化も含めて検討します。
- 深堀地域センターについては、現在の施設が耐用年数を迎えるまでは引き続き適正に管理していきますが、将来的には、現在地の近くに配置されている公共施設を含めた再編整備についても検討していくこととします。
- 高島地域センター第1別館については、老朽化が進み、耐震性もないことから、ここで行われている活動を、地域センターなど他の施設へ集約したうえで廃止します。廃止後の跡地については、有効活用を検討します。

ウ ロードマップ

施設名称	前期	後期	次期計画	備考
	～2022	2023～2029	2030 以降～	
高島地域センター				適正管理を行う 余剰スペースの活用を 検討する
伊王島地域センター				
香焼地域センター				
深堀地域センター				適正管理を行うとともに、将来的に周辺施設との再編整備を検討する
高島地域センター第1別館				他の施設へ集約し、廃止する

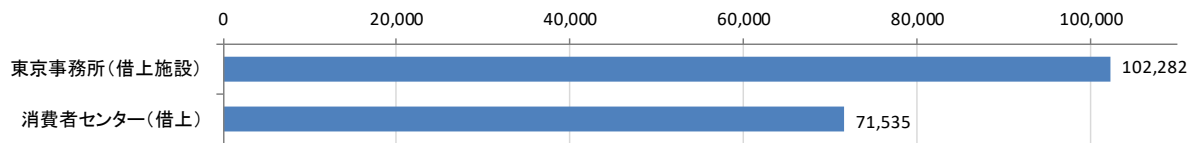
本庁舎・地域センター等の床面積1㎡当たりの年間コスト(H29年度実績)

(単位:円)

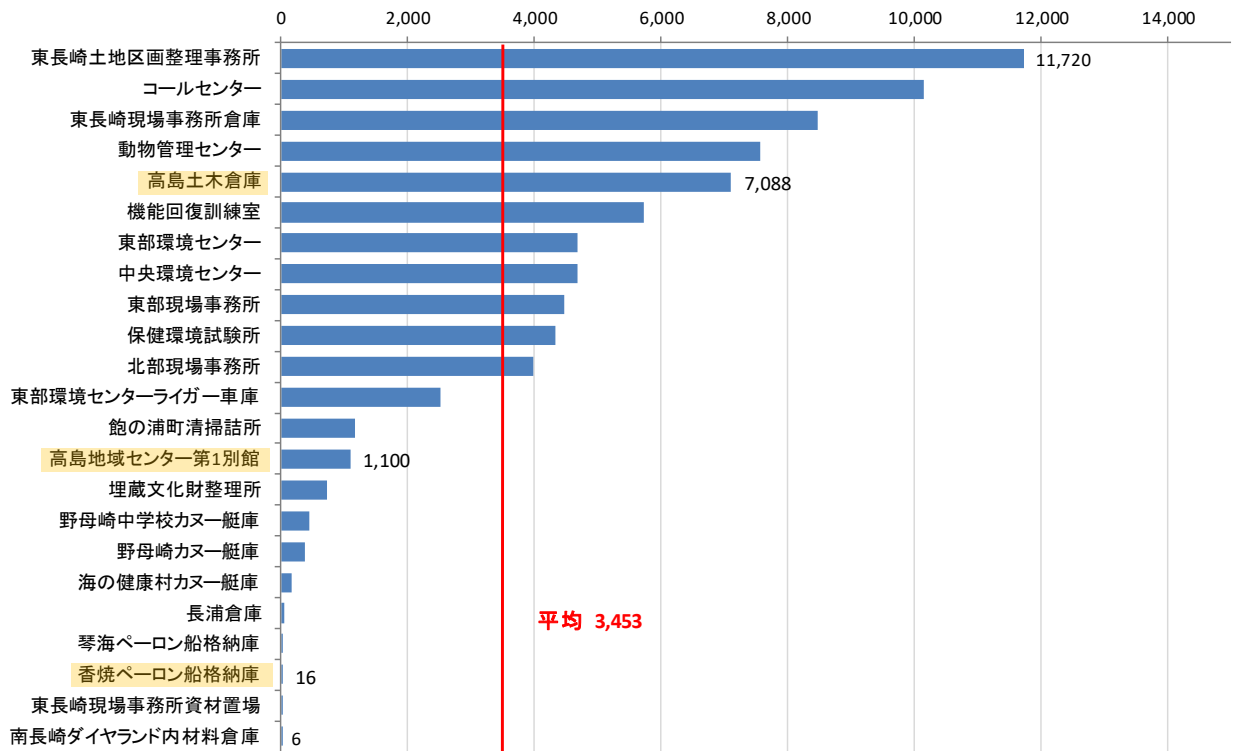


その他事務所の床面積1㎡当たりの年間コスト(H29年度実績)

(単位:円)



(単位:円)

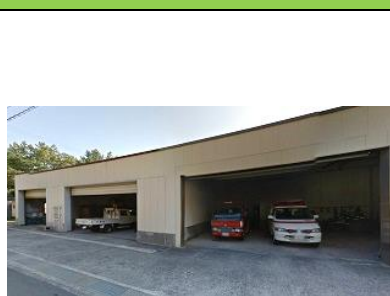


③消防施設（南消防署高島出張所）

消防施設の 施設配置の 基本的な考え方	人口減少が進むなか、消防体制の見直しを図りながら、効率的な適正配置に努め、将来にわたり市民が安全安心に暮らせる行政サービスの提供を行っていきます。 このためには、火災や自然災害等が発生した場合に、各地域での活動が効果的に行える活動拠点が必要となります。 消防施設のうち、常備消防庁舎については、人口分布、主要幹線道路の整備に伴う交通事情の改善や市街地の整備状況等を勘案しながら、市全域において火災・救急需要に適正な対応ができる位置に配置します。 中心市街地においては、木造住宅が密集する地域などに消防隊が迅速に到達できるよう、有効な場所へ拠点となる施設を配置します。その他の地域においては、人口分布や道路の状況を勘案して、当該地域の拠点となる場所に配置します。 また、離島地区については、当分の間は現行体制を維持することとしますが、将来的には消防艇など（救急の24時間対応を含む）の整備を検討し、並行して地域住民や各機関と連携を強化しながら、防火防災体制の充実に取り組みます。 配置数については、市全域において行政サービスを低下させることのないよう施設の移転及び統廃合を行い、重複している活動エリアの解消と、カバーが十分でなかった地域の充実に図ります。 消防団格納庫については、地域の実情に応じて消防団員の活動拠点となる位置に配置します。
---------------------------	--

ア 現状及び課題

南消防署高島出張所（2021年1月に高島地域センター車庫棟へ移転済）



【建築年】1975年
 【開庁時間】24時間
 【休庁日】なし

【概要】

- 消防ポンプ自動車と救急自動車を配備し、高島地域において消防、救急、救助活動などを行うための拠点となっています。

【現状及び課題】

- 建築後43年を経過しており、老朽化が進行しています。
- 市民対話では、「高島地域センターの空きスペースに移転してはどうか。」という意見が出されました。

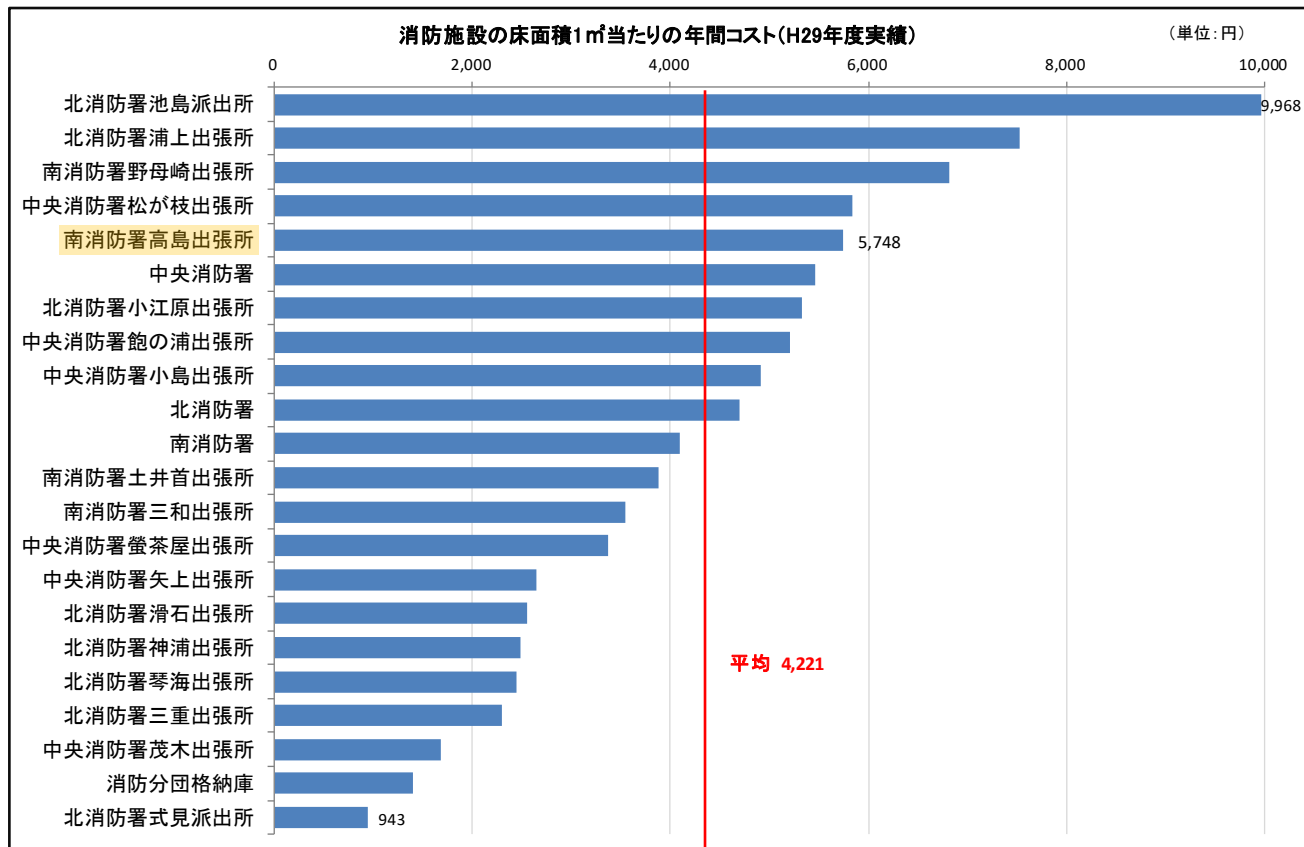
イ 施設のあり方や見直しの方向性

効率的な消防活動を行うための拠点については、道路状況や隣接する消防施設の位置などを考慮したうえで、全市的な観点で計画的に配置を行います。

南消防署高島出張所については、施設の老朽化が進んでいるため、島内における火災や救急需要に適正に対応できる場所へ移転します。

ウ ロードマップ

施設名称	前期	後期	次期計画	備考
	～2022	2023～2029	2030以降～	
南消防署高島出張所				移転を検討する



④職員住宅（本町教職員住宅、高島地域センター所長宿舎、高島国民健康保険診療所医師宿舎、伊王島国民健康保険診療所長宿舎、伊王島国民健康保険診療所看護師宿舎）

職員住宅の 施設配置の 基本的な考え方	行政サービスの円滑な遂行を図るため、長崎市内には危機管理上の観点及び人材確保の観点から、また、勤務地が市外である職員に対しては、職務上居住させる必要性から、職員住宅を配置します。 ただし、職員住宅機能の確保においては、既存施設の利用に限らず、民間施設の借り上げや、他の市有財産の活用も図ります。
---------------------------	---

ア 現状及び課題

本町教職員住宅（Mアパート）		本町教職員住宅（H棟）	
	【建築年】1969 年 【概要】 ● 管理戸数は8戸です。		【建築年】1969 年 【概要】 ● 管理戸数3戸です。
【現状及び課題】 ● 建築後 50 年を経過し、老朽化が進行しており、耐震性も確保されていません。 ● 市民対話では、 「教職員住宅は老朽化しているので、市営住宅に先生方も住むことはできないか。」 「子どもを大切にする視点から、島の先生方の住宅環境は大切である。」 という意見が出されました。			

高島地域センター所長宿舎

	【建築年】1983 年 【概要】 ● 離島地区において、危機管理所の観点から、緊急時の対応のため設置しています。
【現状及び課題】 ● 建築後 36 年を経過しており、老朽化が進行しています。	

高島国民健康保険診療所医師宿舎



【建築年】1980 年

【概要】

- 医師の人材確保のため配置しています。
- この建物には、高島国民健康保険診療所が併設されています。

【現状及び課題】

- 建築後 38 年を経過しており、老朽化が進行しています。

伊王島国民健康保険診療所長宿舎



【建築年】1998 年

【概要】

- 医師の人材確保のため配置しています。

【現状及び課題】

- 安心できる医療環境づくりや医師確保の観点から、診療所の近隣に配置しています。

伊王島国民健康保険診療所看護師宿舎（2023 年 3 月_用途廃止済）



【建築年】1997 年

【概要】

- この建物には、伊王島国民健康保険診療所が併設されています。

【現状及び課題】

- 伊王島国民健康保険診療所看護師の宿舎として整備されましたが、現在は使用されていません。
- 建築後 32 年を経過しており、老朽化が進行しています。

イ 施設のあり方や見直しの方向性

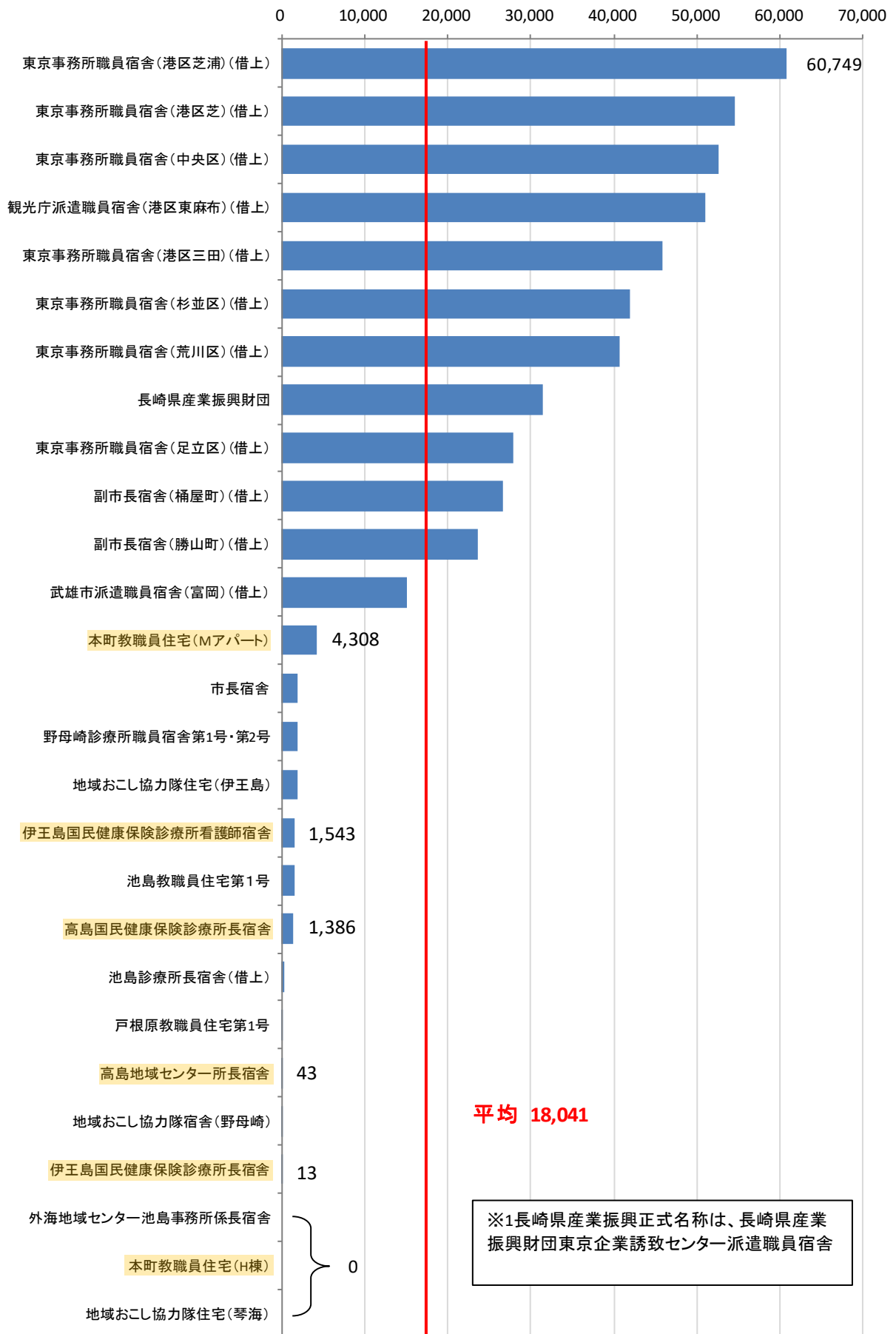
- 教職員住宅については、離島地区では交通手段が限られており、児童生徒に円滑な教育活動を提供するため、小中学校が存続する限り、小中学校の教員の配置に対応して宿舎を確保します。なお、既存施設の利用に限らず他の市の財産も活用するなど、機能の確保に努めます。
- 地域センター所長宿舎については、危機管理上の観点から、現在の施設を引き続き使用し、適切な維持管理を行います。
- 診療所職員宿舎（医師）は、地域住民が安心できる医療環境及び医師確保の観点から、現在の施設を引き続き使用し、適切な維持管理を行っていきます。
- 伊王島国民健康保険診療所看護師宿舎については、看護師は医師ほど採用が困難ではなく、島外からも通勤が可能であり、また10年以上利用されていないため廃止します。廃止後の施設については、他の用途への転用や、貸付により有効活用を行います。

ウ ロードマップ

施設名称	前期	後期	次期計画	備考
	～2022	2023～2029	2030以降～	
本町教職員住宅（Mアパート）				小中学校が存続する限り、他の施設も活用して、機能の確保に努める
本町教職員住宅（H棟）				
高島地域センター所長宿舎				適正管理を行う
高島国民健康保険診療所 医師宿舎				
伊王島国民健康保険診療 所長宿舎				
伊王島国民健康保険診療所 看護師宿舎				宿舎としては廃止し、 他用途への転用や貸付 による有効活用を行う

職員住宅の床面積1㎡当たりの年間コスト(H29年度実績)

(単位:円)



(4) 公園施設

①公園施設（総合公園、地区公園、近隣公園、街区公園）

公園施設の
施設配置の
基本的な考え方

公園については、防災・避難等災害に対応できる機能を確保し、バリアフリー化など機能の向上や、複合遊具等を活用した魅力的な子どもの遊び場の創出、地域イベント等の開催が可能な広場等の整備による地域コミュニティの空間の創出、スポーツ施設等の利用環境の充実、健康寿命を延ばす健康づくりのための機能の導入等、多様なニーズに対応した公園づくりを推進します。

また、市内における都市公園の市民1人当たりの標準の敷地面積及び、市街地の都市公園の当該市街地の市民1人当たりの標準の敷地面積はそれぞれ次のとおりとし、都市公園の種類や目的及び誘致距離を勘案し配置の均衡を図ります。

（1人当たりの敷地面積）

- ・本市内の都市公園の市民1人当たりの敷地面積の標準 10 m²以上
- ・市街地の都市公園の当該市街地の市民1人当たりの敷地面積の標準 5 m²以上

（公園種別と標準面積）

公園種別	標準面積
街区公園	0.1ha（1,000 m ² ）
近隣公園	2.0ha（20,000 m ² ）
地区公園	4.0ha（40,000 m ² ）
総合公園	利用目的に応じて適宜
運動公園	利用目的に応じて適宜

（1）総合公園

都市基幹公園として、都市住民全般の休息、観賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供するため必要な施設です。また、地区公園の配置を補完する役割も有しています。

（2）運動公園

都市基幹公園として、都市住民全般の主として運動の用に供するため必要な施設です。スポーツに特化したサービスの拠点として必要です。

（3）地区公園

住区基幹公園として、主として徒歩圏内に居住する者の利用に供するため必要な施設です。住民のレクリエーション等の拠点として配置します。

（4）近隣公園

住区基幹公園として、主として近隣に居住する者の利用に供するため必要な施設です。日常における憩いの場や避難場所等防災の拠点として配置します。

（5）街区公園（遊園を含む）

住区基幹公園として、主として街区内に居住する者の利用に供するため必

要な施設です。

将来人口の推移及び立地適正化計画における居住誘導区域を踏まえながら、整備面積・配置・機能が過大である地域においては廃止し、不足している地域においては、統廃合や新設により適切な公園整備を推進します。

ア 現状及び課題

香焼総合公園【総合公園】

市内南西部に位置する天神山を公園とし、中央芝生広場、グラウンド、テニスコートなどの施設を備えています。

香焼総合公園運動場

【敷地面積】13,500 m²

【年間利用者数】9,213 人

※利用者数は平成 29 年度実績

香焼総合公園庭球場

【敷地面積】2,100 m²

【年間利用者数】15,001 人

※利用者数は平成 29 年度実績

【現状及び課題】

● 市民対話では、

「グラウンドやナイター設備もあるので、香焼以外の方にも、大いに利用してもらいたい。」

「香焼はチューリップまつりも盛んで、自然豊かな香焼総合公園にも花があるので、花のまちとしてもっとPRして、多くの人に訪れてもらってはどうか。」

「公園の上の方にばかり駐車場があるので、下の海老瀬の方も活用して、上からも下からも行きやすくしてはどうか。」

という意見が出されました。

高島ふれあい多目的運動公園、権現山公園、中ノ島公園【地区公園】

住民のレクリエーション等の拠点として利用されています。

高島ふれあい多目的運動公園は、グラウンド、テニスコートなどの施設を備えています。

中ノ島公園は、高島本島からさらに沖合にある中ノ島にあり、アクセスが難しい状況です。

高島ふれあい多目的運動公園

【敷地面積】22,300 m²

【年間利用者数】79 人

※利用者数は平成 29 年度実績

高島ふれあい多目的運動公園庭球場

【敷地面積】4,700 m²

【年間利用者数】800 人

※利用者数は平成 29 年度実績

西海岸公園、高島公園、魚見岳公園、伊王島灯台公園【近隣公園】

近隣に居住する住民の日常における憩いの場や避難場所等、防災の拠点として利用されています。

【街区公園（24 か所）】

街区内に居住する住民の方に利用されています。

イ 施設のあり方や見直しの方向性

高島エリアの公園は、その配置や面積の状況から過分に配置されていますので、利用度が低かったり、利用が困難な状況にある公園については、将来的な廃止を含めてあり方を見直します。

伊王島・香焼・深堀エリアの公園は、配置や面積の状況等から、充足していますので、基本的には現状を維持することとし、公園再整備の際は、社会状況の変化を踏まえながら公園ごとの施設のあり方や機能分担、統廃合等の検討を行い、公園利用者のニーズに合った整備を進めていきます。

- 総合公園については、市内に10か所配置されており、それぞれの公園において地形や特性を活かし、各公園で機能分担を図りながら住民の総合的な利用に供していることから、この地区においても現状の1か所を維持します。
- 地区公園については、高島地区において3か所配置されています。高島ふれあい多目的運動公園は、地域振興の観点から引き続き配置しますが、大規模な修繕が必要となった場合は、利用の状況に応じた見直しも検討します。権現山公園及び中ノ島公園については、将来的な廃止を含めてあり方を見直します。
- 近隣公園については、この地区において4か所配置されています。西海岸公園については、利用度が低いいため、将来的な廃止を含めてあり方を見直します。その他の3か所については、近隣に居住する住民の日常における憩いの場や避難場所等防災の拠点として引き続き維持します。
- 街区公園については、将来人口の推移を踏まえながら、統廃合や新設により適切な公園整備を推進します。

ウ ロードマップ

施設名称	前期	後期	次期計画	備考
	～2022	2023～2029	2030以降～	
香焼総合公園				適正管理を行う
高島ふれあい多目的運動公園				適正管理を行う 大規模な修繕が必要になった場合は見直しを検討する
権現山公園				廃止を含め、あり方を見直す
中ノ島公園				2023年度までに、 廃止を含め、あり方を見直す
西海岸公園				
高島公園				適正管理を行う
魚見岳公園				
伊王島灯台公園				
街区公園 24 か所				整備面積・配置・機能の状況を見ながら、統廃合や新設を行う

(5) その他の施設

①倉庫（香焼パーロン船格納庫）

その他事務所の 施設配置の 基本的な考え方	施設の特異性や、サービスの機動性確保のため、分散して設置していますが、より効率的な行政運営を図るために必要な施設配置へ見直します。 また、余剰スペースが生じている施設や、施設の集約化が可能な施設があることから、施設の複合化や統廃合を行うことにより、全体の施設規模の縮小を図ります。
--------------------------------------	--

ア 現状及び課題

香焼パーロン船格納庫



【建築年】2004 年

【概要】

- 地元チーム所有のパーロン船を保管しています。

【現状及び課題】

- 市民対話では、
「市は、地元への移譲を考えているとのことだが、こういった形での移譲となるのか。早く話を進めてもらいたい。」
「地元に移譲されると、大規模修繕などの財政負担が厳しいのではないか。」
という意見が出されました。

イ 施設のあり方や見直しの方向性

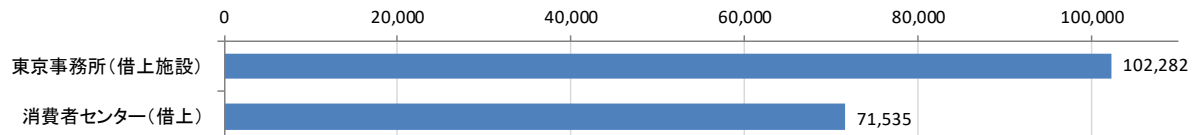
香焼パーロン船格納庫については、今後、地元への移譲も含めて、建物の維持管理の方法を見直していきます。具体的な移譲のあり方については、香焼のパーロン協会を中心に、今後協議を進めていきます。

ウ ロードマップ

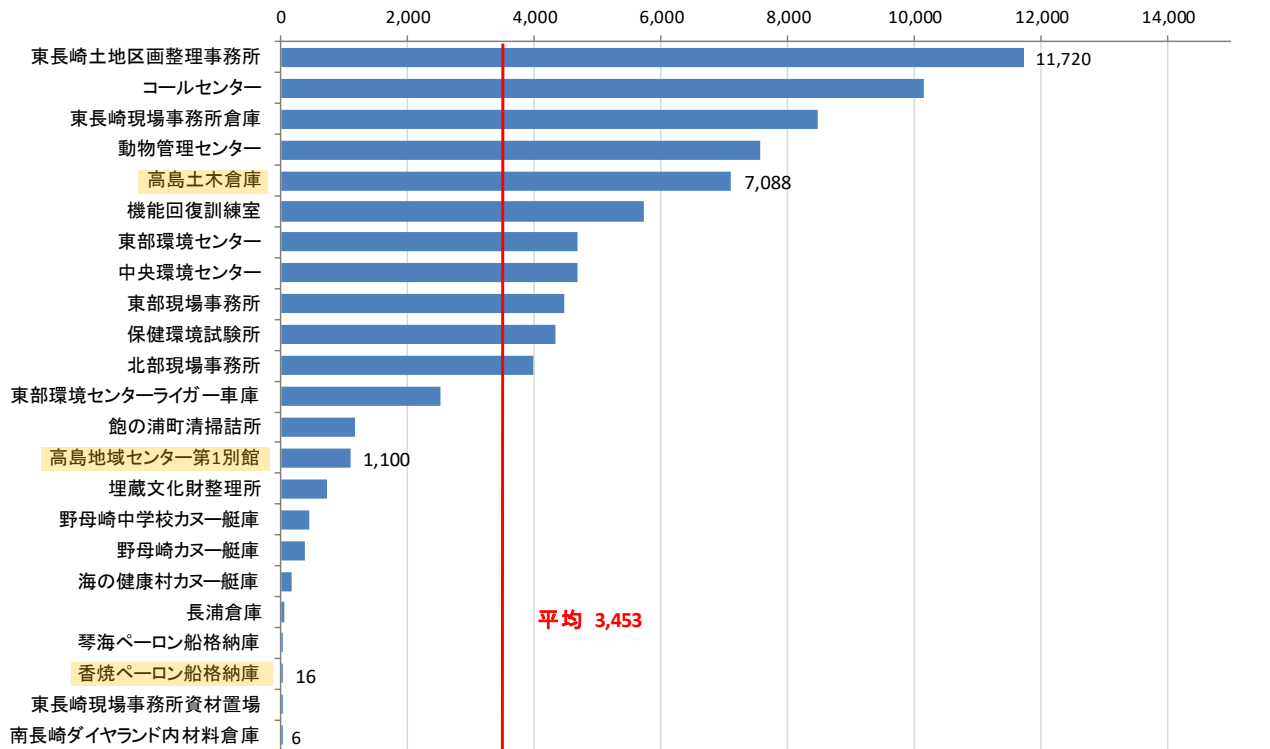
施設名称	前期	後期	次期計画	備考
	～2022	2023～2029	2030以降～	
香焼パーロン船格納庫	→			2025年度までに、地元への移譲を含めて維持管理の方法を見直す

その他事務所の床面積1㎡当たりの年間コスト(H29年度実績)

(単位:円)



(単位:円)



②遊休資産（旧伊王島生活支援ハウス、旧山中職員住宅、旧多尾教職員住宅1号、旧多尾教職員住宅2号、旧馬込教職員住宅、旧職員住宅（浦下1・2号））

遊休資産の 活用の考え方	行政目的を終えた遊休資産については、他の行政サービスでの活用を図るほか、積極的な売却や貸付けに取り組むなど、資産の有効活用に努めます。
-----------------	---

ア 現状及び課題

旧伊王島生活支援ハウス	
	【建築年】1992 年 【延床面積】1,199 m² 【耐震性】あり 【概要】 伊王島地区老人デイサービスセンターと伊王島生活支援ハウスとして利用されていました。
旧山中職員住宅	
	【建築年】1973 年 【延床面積】658 m² 【耐震性】なし 【概要】 職員住宅として活用されていましたが、現在は利用されていません。
旧多尾教職員住宅1号	
	【建築年】1995 年 【延床面積】126 m² 【耐震性】あり 【概要】 多尾教職員住宅として活用されていました。平成 31 年 3 月まで、2 戸のうち 1 戸は地域おこし協力隊宿舎として活用されていました。
旧多尾教職員住宅2号	
	【建築年】1982 年 【延床面積】149 m² 【耐震性】あり 【概要】 教職員住宅として活用されていましたが、現在は利用されていません。

旧馬込教職員住宅



【建築年】1984 年

【延床面積】75 m²

【耐震性】あり

【概要】

- 教職員住宅として活用されていましたが、現在は利用されていません。

旧職員住宅（浦下 1・2 号）（2021 年 12 月_建物解体済）



【建築年】1975 年

【延床面積】123 m²

【耐震性】なし

【概要】

- 職員住宅として活用されていましたが、現在は利用されていません。

共通

【現状及び課題】

- 遊休資産の有効活用を行う必要があります。
- 市民対話では、
「市が所有している高島の資産について、どのように活用していくのか。地域みんながひとつになってアイデアを出し合って、地域の活性化のために協力することが必要である。」
「伊王島の旧教職員住宅や旧伊王島生活支援ハウスなどの、使われていない施設を有効に活用すべきでは。」
「旧伊王島生活支援ハウスなどの遊休資産は、売れるうちに早く売った方がいいのではないか。」
「香焼の旧職員住宅は、景観上も治安上も良くないので、取り壊すなら早く取り壊してほしい。スピード感を持って進めてほしい。」
「遊休資産は、売却することをPRしたり、地域の人々の意見を聞いたり、利用価値がなければ廃止したりと、様々な検討をする必要があるのでは。」
という意見が出されました。

イ 施設のあり方や見直しの方向性

- 旧伊王島生活支援ハウス、旧山中職員住宅及び旧馬込教職員住宅については、売却により資産の有効活用を図ります。
- その他の職員住宅についても、売却や貸付など有効な活用方法の検討を行います。

ウ ロードマップ

施設名称	前期	後期	次期計画	備考
	～2022	2023～2029	2030以降～	
旧伊王島生活支援ハウス				売却を行う
旧山中職員住宅				
旧馬込教職員住宅				
旧多尾教職員住宅1号				売却・貸付を含め、有効活用を検討する
旧多尾教職員住宅2号				
旧職員住宅（浦下1・2号）				建物を解体し、売却・貸付を含め、有効活用を検討する

(6) 計画策定後に新設した施設

①子育て関連施設（深堀地区子育て支援センター「ふるさと」）

子育て関連施設の配置の基本的な考え方	少子化、核家族化、地域のつながりの希薄化など、家庭や地域の状況が変化してきたことにより、子育てに不安や負担を感じている保護者が増加しています。また、今後の人口減少により、更に状況が変化することが予想されますが、安心して子どもを生み育てることができ、地域や社会に見守られながら子どもたちが健やかに育つことができるよう、子育て支援機能を充実します。 そこで、子育ての不安感・負担感を軽減することを目的として、地域の身近な場所で保護者が気軽に相談、情報提供、交流ができる機能を持った子育て支援センターを設置します。当面の目標として、子ども・子育て支援事業計画に基づき、市内を16区域に区分し、利便性を勘案して、各1か所配置します。 設置にあたっては、市の既存施設の活用に加え、民間施設も活用しますが、活用できる施設がない場合には、新設について検討します。 また、発達障害のある子どもや発達が気になる子どもを育てる保護者の負担軽減を図るため、気軽に交流や相談等ができる発達障害支援に特化した子育て支援センターを市内に配置するとともに、利用者の実態やニーズを踏まえて、より良い施設のあり方及び場所についても検討します。
---------------------------	--

ア 現状及び課題

深堀地区子育て支援センター「ふるさと」



【建築年】2001年

【床面積】240㎡ ※令和3年12月開設

【概要】

- 概ね3歳未満の児童と保護者が気軽に集まって自由に遊ぶことができ、育児相談等を行うことができる場所です。
- 同じ建物には、深堀体育館が併設されています。

イ 施設のあり方や見直しの方向性

- 深堀地区子育て支援センター「ふるさと」は、安心して子どもを生み育てることができ、子どもたちが健やかに育つことができるよう、現在の施設を引き続き適正に管理します。

ウ ロードマップ

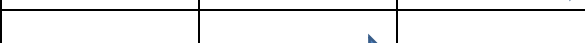
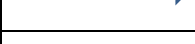
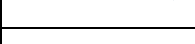
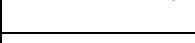
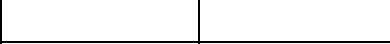
施設名称	前期	後期	次期計画	備考
	～2022	2023～2029	2030以降～	
深堀地区子育て支援センター「ふるさと」				適正管理を行う

6 地区計画のロードマップ（再掲）

地区計画を着実に実施していくため、施設ごとの将来のあり方について、今後の再配置の推進工程（ロードマップ）を示したものです。

再配置の実施時期については、建物の状況（建築年、安全性など）や施設の稼働率、提供している行政サービス、さらには施設が設置された経緯や市の施策との整合性などを考慮し、区分します。

施設名称	前期	後期	次期計画	備考
	～2022	2023～2029	2030以降～	
伊王島ふれあい広場				2026年度までに、民間移譲を検討する
伊王島海水浴場交流施設				2024年度までに、民間移譲を検討する
伊王島ゲートボール場				ゲートボール場としては廃止し、売却等による有効活用を検討する
高砂園				小規模多機能型居宅介護のサービス提供開始後、高砂園は廃止する
深堀貝塚遺跡資料館				適正管理を行うとともに、将来的に周辺施設との再編整備を検討する
しまの宿五平太				民間も含め、他の施設での代替を図れないか検討を行う
深堀体育館				適正管理を行う デイサービスセンターの貸付終了後の活用を検討する
高島ふれあいセンター				適正管理を行う 活用を検討する
香焼公民館				適正管理を行う 別館の活用を検討する
ヴィラ・オリンピカ伊王島				図書機能を近隣施設へ移設したうえで、売却等の有効活用を図る
高島幼稚園				認定こども園化を検討する
市設高島市場				公設市場の位置付けを見直す
香焼図書館				香焼地域センターへ移転し、移転後は、解体し、跡地の有効活用を図る
高島地区中長期型滞在施設 伊王島地区交流型宿泊施設				ソフト事業へ転換し、施設は廃止する
伊王島地区活性化交流拠点施設				適正管理を行う 2023年度までに、さらなる活用のための使い方を検討する

施設名称	前期	後期	次期計画	備考
	～2022	2023～2029	2030以降～	
水産センター高島事業所				2020年度末に廃止する
高島地域センター				適正管理を行う 余剰スペースの活用を検討する
伊王島地域センター 香焼地域センター				適正管理を行う 余剰スペースの活用を検討する
高島地域センター第1別館				他の施設へ集約し、廃止する
南消防署高島出張所				移転を検討する
伊王島国民健康保険診療所 看護師宿舎				宿舎としては廃止し、他用途への転用や貸付による有効活用を行う
権現山公園				廃止を含め、あり方を見直す
中ノ島公園 西海岸公園				2023年度までに、廃止を含め、あり方を見直す
香焼ペーロン船格納庫				2025年度までに、地元への移譲を含めて維持管理の方法を見直す
旧伊王島生活支援ハウス 旧山中職員住宅 旧馬込教職員住宅				売却を行う
旧多尾教職員住宅1号 旧多尾教職員住宅2号				売却・貸付を含め、有効活用を検討する
旧職員住宅（浦下1・2号）				建物を解体し、売却・貸付を含め、有効活用を検討する
飛島磯釣り公園				北側釣り台は、2027年度を目途に、用途を廃止する 釣り公園全体については、利用者の推移等をみながらあり方を検討する
高島石炭資料館				他の施設への移転等を検討する
南風泊漁港水産会館				当面は現状を維持するが、施設の移譲等も含め、将来のあり方を検討する
香焼学校給食共同調理場 伊王島学校給食共同調理場				現在の施設を管理し、給食センターの設置に併せて、集約化する 今後の施設のあり方については、児童・生徒数等の推移をみて検討する
老人憩の家 香焼ひまわり				高齢者専用施設としての使い方を見直し、施設のあり方を検討する

伊王島小学校 香焼小学校 深堀小学校 伊王島中学校 香焼中学校 深堀中学校				学校規模の適正化と適正配置の協議を行う
施設名称	前期	後期	次期計画	備考
	～2022	2023～2029	2030以降～	
本町第1住宅 本町第2住宅 百万住宅 高島光町住宅 西浜住宅 日吉岡住宅 先の谷住宅 尾浜住宅 仲山住宅				耐震性が確保されている比較的状态のよい建物を適正に管理し、併せて集約化を図る
本町教職員住宅（Mアパート） 本町教職員住宅（H棟）				小中学校が存続する限り、他の施設も活用して、機能の確保に努める
街区公園 24 か所				整備面積・配置・機能の状況を見ながら、統廃合や新設を行う
高島海水浴場及び 高島ふれあいキャンプ場				適正管理を行う
深堀地区ふれあいセンター 深堀地域センター				適正管理を行うとともに、将来的に周辺施設との再編整備を検討する
伊王島開発総合センター				伊王島地域センターへ機能を移転し、用途を廃止する
高島小学校 高島中学校				適正管理を行う
高島国民健康保険診療所 伊王島国民健康保険診療所				
塩町住宅				
高島地域センター所長宿舎 高島国民健康保険診療所 医師宿舎 伊王島国民健康保険診療所 所長宿舎				
香焼総合公園 高島公園 魚見岳公園 伊王島灯台公園				
ちびっ子ハウス 香焼学童きらりキッズ				適正管理を行うとともに、学校の適正配置に併せ、事業者にクラブの統合を働きかけていく
いやしの湯				市営住宅の風呂の整備状況などにより見直しも検討しながら適正管理を行う
高島港ターミナル 伊王島港ターミナル				航路が存続する限り、現在の施設を適正に管理する

6 地区計画のロードマップ（再掲）

高島ふれあい多目的運動公園				適正管理を行う 大規模な修繕が必要になった場合は見直しを検討する
深堀地区子育て支援センター 「ふるさと」				適正管理を行う

参考 市民対話の実施

人口が減少し少子高齢化が進んでも、長崎が暮らしやすいまちであり続けられるよう、公共施設のあり方・使い方について、地域住民と行政と一緒に考える場として、「市民対話」を実施しました。

将来の長崎市の姿を見据えた行政サービスのあり方と、それを提供する拠点となる公共施設のあり方について、市の基本的な考え方をお話しするとともに、地域に必要な機能（行政サービス）をこれからも維持しながら、地域の賑わいや活力あるまちづくりにつながる施設の集約化、多世代交流の促進を生み出す複合化・多機能化など、公共施設の見直しについてさまざまな意見をいただきました。

高島エリアでの市民対話の開催状況は、以下のとおりです。

<第1回>

- (1) 開催日 平成30年5月20日（日）15：30～17：30
- (2) 会場 高島地域センター
- (3) 内容
 - 公共施設の現状や見直しの必要性について
 - 見直した方がいいと思う施設について
- (4) 参加者数 20人

<第2回>

- (1) 開催日 平成30年6月24日（日）15：30～17：30
- (2) 会場 高島ふれあいセンター
- (3) 内容
 - 市全体と高島エリアにある施設の配置の考え方を説明
 - 市が提示した配置の考え方と「話し合っていたきたいこと」について意見交換
- (4) 参加者数 30人

<第3回>

- (1) 開催日 平成30年7月22日（日）18：30～20：30
- (2) 会場 高島ふれあいセンター
- (3) 内容
 - 第2回までにいただいたご意見等を踏まえ、市で検討した結果を説明
 - 意見交換
- (4) 参加者数 26人

<第4回>

- (1) 開催日 平成30年8月26日（日）15：30～17：30
- (2) 会場 高島ふれあいセンター
- (3) 内容
 - 第3回までにいただいたご意見等を踏まえ、市で検討した結果を説明
 - 意見交換
 - 対話全体のまとめ
- (4) 参加者数 25人

◆高島エリアの市民対話の詳細については、長崎市のホームページでご覧いただけます。

「高島エリアの公共施設の将来のあり方を考える市民対話」

(URL：<https://www.city.nagasaki.lg.jp/syokai/792000/792109/p031779.html>)

伊王島・香焼・深堀エリアでの市民対話の開催状況は、以下のとおりです。

<第1回>

- (1) 開催日 平成30年11月8日(木) 19:00~21:00
- (2) 会場 香焼公民館
- (3) 内容
 - 公共施設の現状や見直しの必要性について
 - 見直した方がいいと思う施設について
- (4) 参加者数 60人

<第2回>

- (1) 開催日 平成30年12月13日(木) 19:00~21:00
- (2) 会場 香焼公民館
- (3) 内容
 - 市全体と伊王島・深堀・香焼エリアにある施設の配置の考え方を説明
 - 市が提示した配置の考え方について意見交換
- (4) 参加者数 49人

<第3回>

- (1) 開催日 平成31年1月17日(木) 19:00~21:00
- (2) 会場 香焼公民館
- (3) 内容
 - 第3回までにいただいたご意見等を踏まえ、市で検討した結果を説明
 - 意見交換
 - 対話全体のまとめ
- (4) 参加者数 44人

◆伊王島・香焼・深堀エリアの市民対話の詳細については、長崎市のホームページでご覧いただけます。

「伊王島・香焼・深堀エリアの公共施設の将来のあり方を考える市民対話」

(URL: <https://www.city.nagasaki.lg.jp/syokai/792000/792109/p032518.html>)

長崎市公共施設マネジメント
高島・伊王島・香焼・深堀地区計画

令和3年(2021 年)8月
令和6年(2024 年)6月改訂
長崎市

【問い合わせ先】

長崎市財務部資産経営課

電話:095-829-1127

FAX:095-829-1248

Email:shisankeiei@city.nagasaki.lg.jp